magicolor® 4650DN
リファレンスガイド

第１章　Mac OS X での使い方 ································23
第２章　Windows Vista での使い方 ··························71
第３章　Linux での使い方 ··································83
第４章　NetWare での使い方 ································101
第５章　プリンタユーティリティのインストール ················111
第６章　イーサネット設定メニューについて ····················113
第７章　ネットワーク印刷 ··································125
第８章　PageScope Web Connection の使い方 ··················155

A00F-9562-00K

1800854-014A

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標および商標です。magicolor および Page-Scope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標および商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本プリンタに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響について、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやド

キュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。

5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全て KMBT 及びそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT 及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

Adobe 社カラープロファイルについて

Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）
カラープロファイル使用許諾契約書

ユーザー様への注意：本契約書をよくお読みください。本ソフトウェアの全部または一部を使用した場合、本ソフトウェアのすべての諸条件ならびに本契約書のすべての諸条件を受諾したものと見なされます。本契約書の条件に同意できない場合は本ソフトウェアの使用をおやめください。

第 1 条　定義

本契約書において「Adobe 社」とは、合衆国デラウェア州法人 Adobe Systems Incorporated（345 Park Avenue, San Jose, California 95110）を意味します。「本ソフトウェア」とは、本契約書が添付されたソフトウェアならびにその関連品目を意味します。

第 2 条　ライセンス

ユーザーが本契約書の諸条件に従うことを条件として、Adobe 社は本ソフトウェアの使用、複製、公での展示を行うライセンスを全世界的、非排他的、譲渡不能、ロイヤルティ不要のものとしてユーザーに許諾します。さらに Adobe 社は、（a）本ソフトウェアがデジタル画像ファイルに埋め込まれた状態であり、しかも（b）スタンドアローン・ベースである場合に限り、本ソフトウェアを配布する権利をユーザーに許諾します。それ以外の場合には本ソフトウェアを配布することはできません。たとえば、何らかのアプリケーションソフトウェアに組み込まれている状態やそうしたソフトウェアにバンドルされている状態では、本ソフトウェアを配布することはできません。個々のプロファイルは、いずれも ICC プロファイル記述文字列によって参照されている必要があります。ユーザーは本ソフトウェアを改変してはいけません。Adobe 社は本ソフトウェアまたはその他品目のアップグレードや将来のバージョンなど、本契約に基づいて何らかの支援を提供する義務を一切負いません。本ソフトウェアの知的所有権に関するいかなる権原も、本契約の条項に基づいてユーザーに移転することは一切ないものとします。ユーザーは本契約に明示的に定められている権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も取得しないものとします。

第 3 条　配布

ユーザーが本ソフトウェアを配布する場合、以下を了解した上で配布を行ったものと見なされます。すなわち、その配布（ユーザーによる本第 3 条の不履行を含み、かつそれに限定されない）に起因して何らかの賠償請求、訴訟、その他の法的措置が行われ損失、損害、費用が発生した場合、それに対してはユーザーが抗弁を行い、損失を補填し、Adobe 社を完全に保護することにユーザーが同意したと見なされることになります。またユーザーが本ソフトウェアをスタンドアローン・ベースで配布する場合、ユーザーは本契約またはユーザー自身の使用許諾契約の諸条件に基づいて配布を行うものとし、この場合におけるユーザー自身の使用許諾契約は、（a）本契約の諸条件を遵守している、（b）明示的にせよ黙示的にせよ、すべての保証および条件付与を有効に排除している、（c）損害に対するすべての責任を Adobe 社に代わって有効に排除している、（d）本契約と異なるすべての規定は、Adobe 社ではなくユーザーが単独で提供するものであることを明記している、（e）本ソフトウェアがユーザーまたは Adobe 社から入手可能であることと、ソフトウェアの交換に一般に用いられている媒体で本ソフトウェアを入手する妥当な方法とを記述している、ものでなければなりません。配布する本ソフトウェアには、Adobe 社の著作権表示を、Adobe 社がユーザーに提供した本ソフトウェアにおけるのと同様に行う必要があります。

第 4 条　保証の排除

Adobe 社は本ソフトウェアを「現状のまま」ユーザーに使用許諾しています。したがって本ソフトウェアが特定目的に適合しているかどうか、あるいは特定の結果を生み出すことができるかどうかについて、Adobe 社は一切の表明を行いません。また Adobe 社は、本契約に起因する損失または損害、あるいは本ソフトウェアまたはその他資料の配布または使用に起因する損失または損害について、一切の責任を負わないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、ユーザーが本ソフトウェアを使用した場合のパフォーマンスまたは結果について一切保証しません。ただしその居住地域においてユーザーに適用される法律が排除または制限を禁じている保証、条件付与、表明、約定については、その限りではないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、制定法、普通法、慣習法、慣行その他いかなる法的根拠に基づくかを問わず、また明示的であるか黙示的であるかを問わず、第三者の権利の不侵害、完全性、品質に対する満足、特定目的への適合性などを含みかつそれに限定されず、一切の保証、条件付与、表明、約定を行いません。ただしユーザーは、法域によって異なるその他の権利を保有する場合もあります。第 4 条、第 5 条、第 6 条の規定は、いかなる原因で本契約が終了したにせよ、その終了後も効力が継続するものとします。ただしこの規定は、本契約の終了後も本ソフトウェアを継続使用する権利を黙示するものではなく、またそうした権利を設定するものでもありません。

第 5 条　責任の制限

Adobe 社またはそのサプライヤは、ユーザーがこうむった損害、請求、費用、派生的損害、間接的損害、付随的損害、利益の喪失、貯蓄の喪失に対して、いかなる場合もその責任を負わないものとし、たとえ Adobe 社の代表者がそうした損失、損害、請求が発生する可能性や第三者による請求の事実を助言されていた場合であっても、責任を負わないものとします。以上の制限および排除の規定は、ユーザー居住地の法律上許容される限度で適用されるものとします。本契約に起因または関連して Adobe 社またはそのサプライヤが負う賠償責任の総額は、本ソフトウェアに対し支払いが行われた金額を上限とします。ただし Adobe 社の過失または不法行為（詐欺）によって生じた死亡または傷害については、本契約のいかなる規定によっても、Adobe 社がユーザーに対して負う責任は制限されません。Adobe 社がサプライヤに代わって行為するのは、本契約の規定のとおりに義務、保証、責任を排除、除外、制限することが目的である場合に限られており、それ以外の場合または目的でサプライヤのために行為することはありません。

第 6 条　商標

Adobe および Adobe のロゴは、合衆国およびその他の国における Adobe 社の商標または登録商標です。参照のために使用する場合を除き、Adobe 社による別個の書面による許可を事前に得ていない場合には、ユーザーは上記の商標あるいは Adobe 社のその他の商標またはロゴを使用することはできません。

第 7 条　期間

本契約はその終了まで効力が存続するものとします。ユーザーが本契約の規定遵守を怠った場合、Adobe 社はただちに本契約を終了させる権利を有します。そうした契約終了時には、ユーザーはその占有下または管理下にある本ソフトウェアの全体コピーおよび部分的コピーのすべてを、Adobe 社に返却しなければなりません。

第 8 条　政府規制

本ソフトウェアの一部が合衆国輸出管理規則その他の輸出に関する法律、制限、規制（以下「輸出法」という）において輸出規制品目と認められた場合、ユーザーは自身が輸出規制対象国（イラン、イラク、シリア、スーダン、リビア、キューバ、北朝鮮、セルビアなど）の国民ではなく、しかもそれらの国に居住していないこと、さらに、ユーザーが本ソフトウェアを受領することが輸出法に基づく何らかの理由で禁止されているのではないことを、表明および保証する必要があります。本ソフトウェアを使用する一切の権利は、本契約の諸条件の遵守を怠るとただちに失われるという条件に基づき提供されています。

第 9 条　準拠法

本契約は、カリフォルニア州内でその住民同士が締結、履行する契約に適用される法律など、カリフォルニア州で施行されている実体法に準拠し、それに基づいて解釈されるものとします。本契約には、いかなる法域の抵触法の原則も、あるいは「国際物品売買契約に関する国連条約」も適用されないものとし、それらの適用を明示的に排除します。本契約に由来、起因、関連して発生したすべての紛争は、合衆国カリフォルニア州サンタクララ郡において解決を図るものとします。

第 10 条　一般条項

Adobe 社による事前の書面による同意がある場合を除き、ユーザーは本契約に基づいて得た権利または義務を譲渡することはできません。本契約のいかなる規定も、Adobe 社、その代理人、その被用者の側のいかなる行為または黙認によっても放棄されたと見なされることはないものとしますが、正当な権限を有する Adobe 社社員が署名を行った法律的文書による場合にはその限りではないものとします。本ソフトウェアに含まれるその他の合意と本契約とで異なる言語が用いられている場合、その他の合意における条項を適用します。ユーザーまたは Adobe 社が弁護士を雇用し、本契約に依拠または関連する権利の実現を図った場合、勝訴当事者は妥当な弁護士費用を回収する権利を有するものとします。ユーザーは、本契約を読み了解したこと、さらに本契約がユーザーと Adobe 社との完全で排他的な合意であり、ユーザーに対する本ソフトウェアの使用許諾に関し、口頭または書面によって以前に両者間で成立したあらゆる合意に優先するものであることを認めるものとします。正当な権限を有する Adobe 社社員が書面に署名を行い、Adobe 社が明示的な同意を示している場合を除き、本契約における条項のいかなる改変も Adobe 社に対して効力を持たないものとします。

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.1）

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.1）は、ICC プロファイル規格に準拠したデバイスプロファイルで、東洋インキ製造株式会社が作成した標準オフセット印刷のプロファイルです。

「東洋インキ標準色コート紙」とは

東洋インキ製造株式会社の枚葉インキを用い、東洋インキ製造株式会社が標準と考えるオフセット枚葉印刷の再現色を、コート紙への実機印刷により定めたものです。「東洋インキ標準色コート紙」は日本国内におけるプロセスカラー印刷の色標準である「Japan Color」に準拠しています。

必要システム構成

ICC プロファイルを使用するカラーマネージメントシステムを持つシステムまたはアプリケーションが必要です。

東洋インキ標準色コート紙プロファイルの使用条件および注意事項

1. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用して再現されたコンピュータビデオシミュレーションの色やカラープリンター等により出力された色は、「東洋インキ標準色コート紙」と必ずしも一致するものではありません。
2. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用し、または使用できなかったことにより生じた一切の損害に関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる責任も負いかねます。
3. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルの一切の著作権は東洋インキ製造株式会社が所有しており、東洋インキ製造株式会社の事前の書面による許可無く、本データを譲渡、提供、転貸、頒布、公開せず、第三者に使用させることもできません。
4. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルに関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる問い合わせも受けかねます。
5. ドキュメント中に記載されている会社名、製品名は、関係各社の商標または登録商標です。

本プロファイルは、東洋インキ製造株式会社が GretagMacbeth 社製ソフトウエア ProfileMaker を使用して作成し、頒布に関して GretagMacbeth 社の許諾を得ています。

OpenSSL Statement

OpenSSL License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.
The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

NetSNMP License

Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD)

Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD)

Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD)

Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD)

もくじ

1 Mac OS X での使い方 23
プリンタドライバの動作環境 24
プリンタドライバのインストール 25
プリンタドライバのインストール 25
プリンタ設定ユーティリティ 30
USB 接続の場合 30
ネットワーク接続の場合 32
Bonjour 設定 32
AppleTalk 設定 35
IP プリント設定（IPP 設定 / ポート 9100 設定 /LPD 設定）........ 37
オプションの設定 41
ページ設定画面の設定 43
ページ属性メニュー 44
カスタム用紙サイズの設定 45
プリント画面の設定 46
プリント設定のメニュー 46
共通のボタン 47
印刷部数と印刷ページメニュー 48
レイアウトメニュー 49
スケジューラメニュー 50

用紙処理メニュー 51
ColorSync メニュー 52
表紙メニュー 52
エラー処理メニュー 53
給紙メニュー 53
カラーオプションメニュー 54
カラー詳細設定 / イメージ 55
カラー詳細設定 / テキスト 56
カラー詳細設定 / グラフィックス 57
カラー詳細設定 / シミュレーション 59
プリンタの機能メニュー 60
サプライのレベルメニュー 61
一覧メニュー 61
カラープロファイルの設定方法 62
事前準備 62
ダウンロードマネージャーの使用方法 62
プリンタドライバの設定 64
トラブルシューティング 68

2 Windows Vista での使い方 71
XPS ドライバのインストール 72
プリンタの初期設定 77
プリンタドライバのアンインストール 79
プリンタドライバの設定 80
各タブで共通のボタン 80
レイアウト 80
詳細設定 81
用紙 / 品質 82

3 Linux での使い方 83
プリンタドライバの動作環境 84
PPD ファイルをコマンドラインからインストールする 85
プリンタの追加 86
プリンタドライバの設定 88
設定ページの表示 88
設定項目 89
Extra 89
General 90
Options Installed 91
イメージ設定 91
グラフィックス設定 92
シミュレーション 92
テキスト設定 93
Banners 93

文書を印刷する **94**
LPR コマンドを使用する場合 94
OpenOffice の場合 95
印刷ジョブの確認 **99**
トラブルシューティング **100**

4 NetWare での使い方 **101**
NetWare による利用 **102**
NetWare 環境でのネットワーク印刷方法 102
NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでの
リモートプリンタモードの場合 102
NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでの
プリントサーバモードの場合 103
NetWare 4.x リモートプリンタモード（NDS）の場合 105
NetWare 4.x/5.x/6 プリントサーバモード（NDS）の場合 106
NetWare 5.x/6 Novell Distributed Print Service（NDPS）の場合 108
NetWare サーバを使用するときのクライアント（Windows）の設定 109

5 プリンタユーティリティのインストール **111**
プリンタユーティリティのインストール **112**

6 イーサネット設定メニューについて **113**
イーサネットメニュー **114**
設定メニューの構成 114
イーサネットメニューの表示 115
イーサネットメニューの設定項目 116
TCP/IP 116
NETWARE 123
APPLETALK 123
SPEED/DUPLEX 123
IEEE802.1X 124

7 ネットワーク印刷 **125**
ネットワーク接続 **126**
概念図 126
接続方法 127
イーサネット接続の場合 127
DHCP を使用する場合 127
アドレスを手動設定する場合 128
ネットワーク印刷 **132**
ネットワーク印刷に関する用語 132
AppleTalk 132
Bonjour 132
BOOTP 133
DDNS（Dynamic DNS） 133
DHCP 133

FTP 133
HTTP 134
IEEE802.1x 134
IPP 134
IPsec 134
IPv6 134
IPX/SPX 134
LPD/LPR 135
Port 9100 135
SLP 135
ユニキャスト、マルチキャスト、ブロードキャスト 135
SMTP 136
SNMP 136
WSD プリント 136
IPP（Internet Printing Protocol）印刷 137
インストーラからの IPP ポートの追加 137
「プリンタの追加」ウィザードからの IPP ポートの追加
（Windows XP/Server 2003/2000 の場合）..139
「プリンタの追加」ウィザードからの IPP ポートの追加
（Windows Vista の場合）..141
Web サービスプリント 144
ネットワークウィンドウからのインストール 144
「プリンタの追加」ウィザードからのインストール 148
トラブルシューティング 154

8 PageScope Web Connection の使い方 155
PageScope Web Connection について 156
表示言語 156
動作環境 157
プリンタ内蔵 Web ページの設定 158
プリンタ名の設定 158
Web ブラウザの設定 158
Internet Explorer（Windows 版バージョン 6.0）..................................159
Netscape Navigator（バージョン 7.1）..160
PageScope Web Connection ウィンドウについて 161
操作方法 161
ステータス表示 162
ログインの方法 163
ログイン画面 163
言語設定 164
パブリックユーザモード 164
レジスタユーザモード 165
ユーザ認証モード 165
部門認証モード 166
管理者モード 167

プリンタのステータスの表示 168
システム画面 168
デバイス情報 169
カウンタ 178
オンラインヘルプ 179
ユーザ認証 180
ジョブ画面 182
処理中ジョブリスト（上記画面） 182
処理済ジョブリスト 183
処理済ジョブリスト（詳細） 184
プリント画面 185
デフォルト設定 185
フォント / フォーム 200
レポート印刷 204
ダイレクトプリント 205
プリンタの設定 206
システム画面 206
デバイス情報 207
カウンタ 216
オンラインヘルプ 217
インポート / エクスポート 219
認証 221
日付 / 時刻 229
管理者パスワード 232
マシン設定 234
ROM バージョン 237
メンテナンス 238
状態通知設定 240
ジョブ画面 244
処理中ジョブリスト（上記画面） 244
処理済ジョブリスト 245
処理済ジョブリスト（詳細） 246
プリント画面 247
ローカルインターフェイス 247
デフォルト設定 248
フォント / フォームのダウンロード 270
ネットワーク画面 274
TCP/IP 274
Bonjour 292
WSD 294
NetWare 296
IPP 300
FTP 303
SNMP 304
AppleTalk 308
電子メール 309

SSL/TLS 311
SSL/TLS 情報 311
SSL/TLS 設定（証明書がインストールされていない場合）....312
SSL/TLS 設定（証明書がインストールされている場合）....313
自己作成証明書の設定 314
証明書の要求 316
証明書の要求 318
証明書のインストール 319
暗号化の強度の設定 320
証明書の破棄 321
SSL/TLS で通信するモード 322
認証 323
CA 証明書 329

1

Mac OS X での使い方

プリンタドライバの動作環境

プリンタドライバのインストールを行う前に、以下の動作環境を確認してください。

コンピュータ	以下の CPU を搭載した Apple Macintosh : - PowerPC G3 以上（PowerPC G4 以上を推奨） - Intel プロセッサ
コンピュータと プリンタの接続方法	USB 接続、 ネットワーク接続（10Base-T/100Base-TX/ 1000Base-T）
オペレーティング システム	Mac OS X 10.2 以降（最新のパッチの適応を推奨） Mac OS X Server 10.2 以降
メモリ	OS が推奨する以上（128 MB 以上を推奨）
ハードディスク 空き容量	256 MB 以上（イメージ展開用）

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバのインストールを行うには、コンピュータの管理者権限が必要です。

プリンタドライバのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

プリンタドライバのインストール

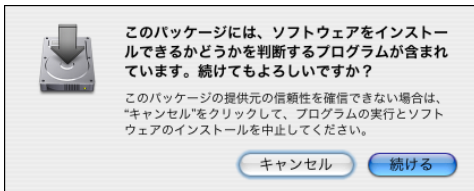
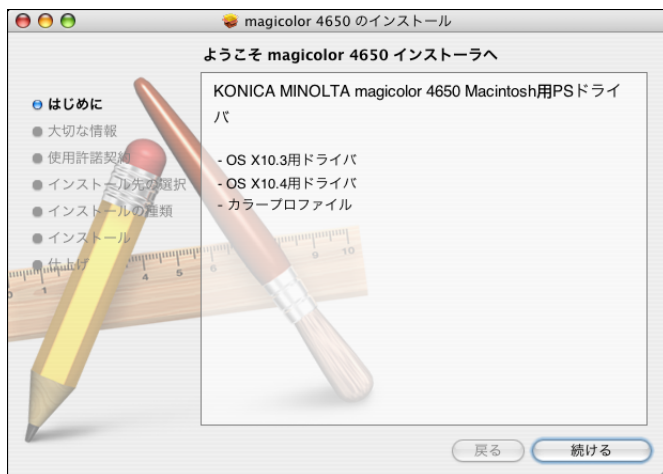
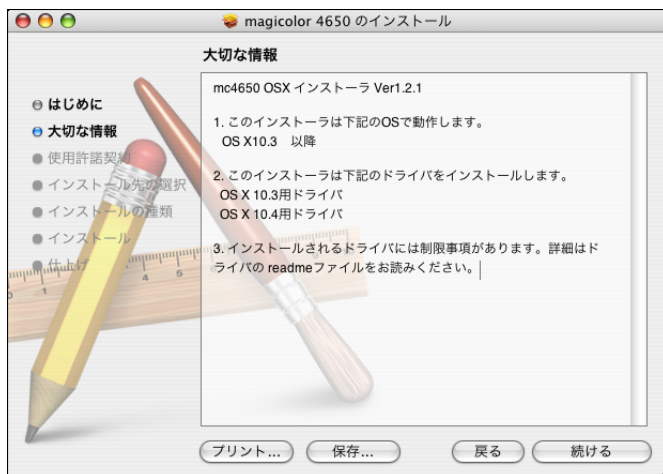
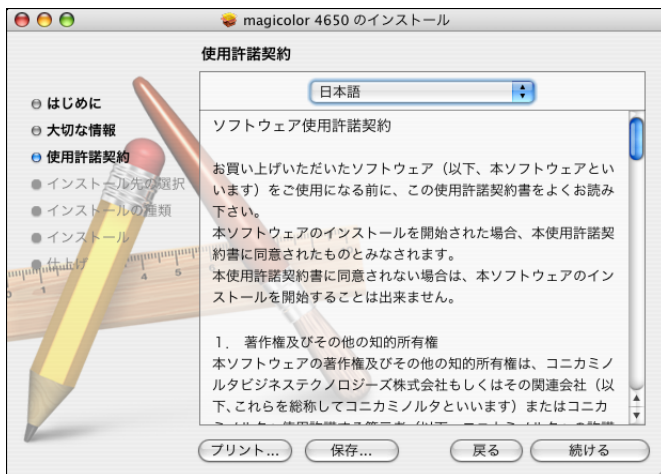
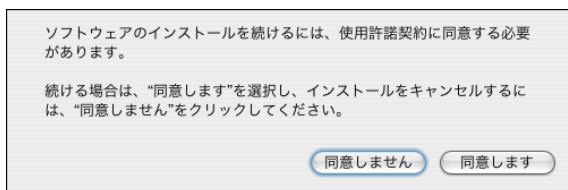
下記は、Mac OS X v10.4 を使用した場合の手順です。お使いの OS のバージョンによっては下記の手順と操作が異なる場合があります。実際の画面の指示にしたがって操作してください。

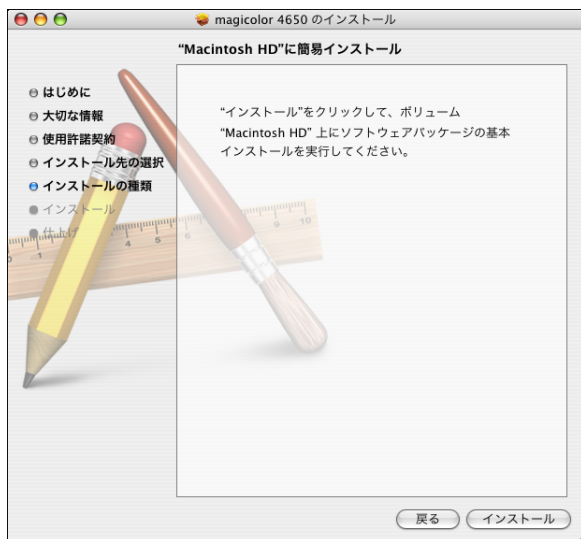
1 Printer Driver CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブに入れます。

2 デスクトップに表示される CD アイコンをダブルクリックし、パッケージファイル「mc4650 OSX Installer_103104.pkg」をダブルクリックします。

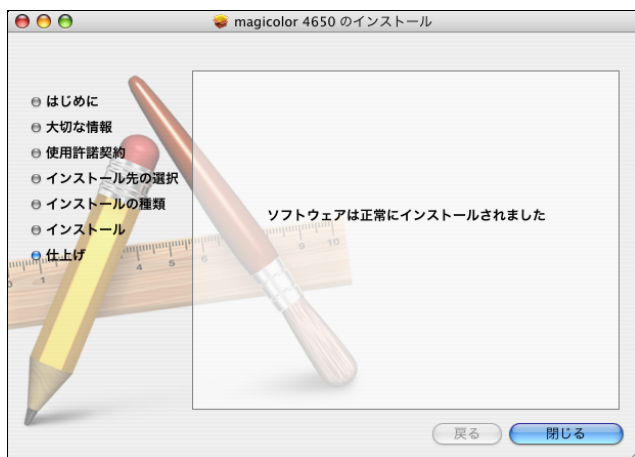
プリンタドライバのインストーラが起動します。

Mac OS X 10.2 をお使いの場合、「mc4650 OSX Installer_102.pkg」をダブルクリックしてください。

3 ［続ける］をクリックします。

4 ［続ける］をクリックします。

5 大切な情報画面で、内容を確認し、［続ける］をクリックします。

6 使用許諾契約画面で、内容を確認し、［続ける］をクリックします。

7 ［同意します］をクリックします。

8 インストール先の選択画面で、インストールを行うディスクを選択し、［続ける］をクリックします。

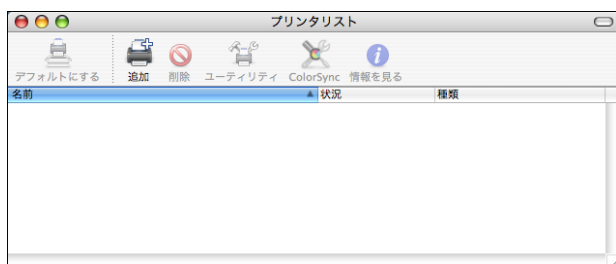
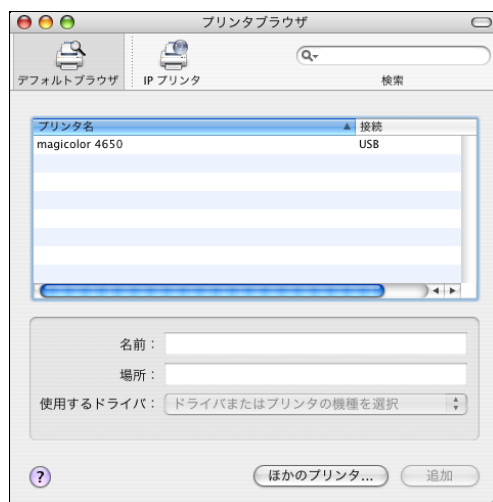
9 ［インストール］をクリックします。

10 認証画面で、管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

インストールが始まります。

11 インストールが完了したら［閉じる］をクリックします。

これで、プリンタドライバのインストールが完了しました。

プリンタ設定ユーティリティ

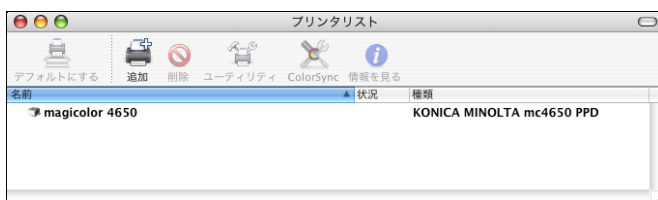
USB 接続の場合

1 USB ケーブルで、プリンタとコンピュータを接続します。
2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。
3 プリンタリスト画面で、［追加］をクリックします。

プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンタが表示されます。

4 プリンタブラウザ画面の「プリンタ名」リストから、「magicolor 4650」を選択します。

「magicolor 4650」が表示されないときは、プリンタの電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピュータを再起動してください。

5 「KONICA MINOLTA mc4650 PPD」が、「使用するドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認します。

6 ［追加］をクリックします。

プリンタリスト画面に新しいプリンタが表示されます。

オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳細は「オプションの設定」（p.41）を参照してください。

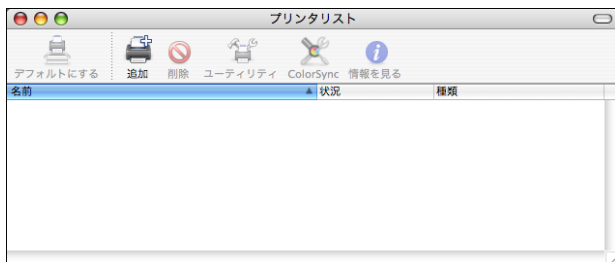
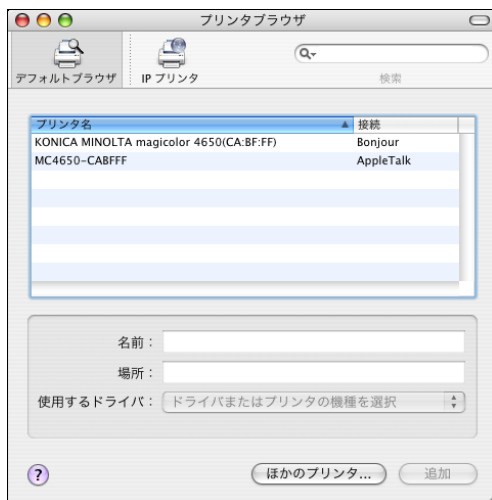
ネットワーク接続の場合

ネットワーク接続の設定方法には、Bonjour 設定と AppleTalk 設定、IP プリント設定（IPP 設定、ポート 9100 設定、LPD 設定）があります。

Bonjour 設定

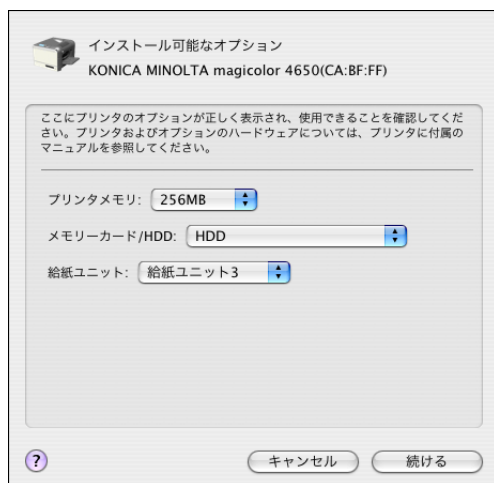
1 プリンタを Ethernet ネットワークに接続します。

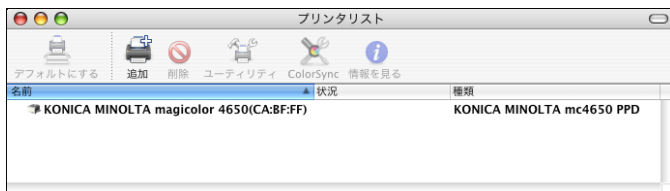
2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で、［追加］をクリックします。

プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンタが表示されます。

4 プリンタブラウザ画面の「プリンタ名」リストから、
「KONICA MINOLTA magicolor 4650（xx:xx:xx）」を選択します。

xx:xx:xx は MAC アドレスの後半 6 桁です。

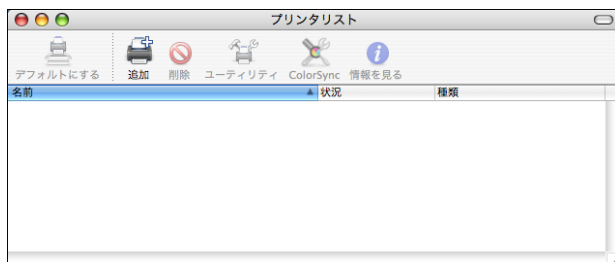
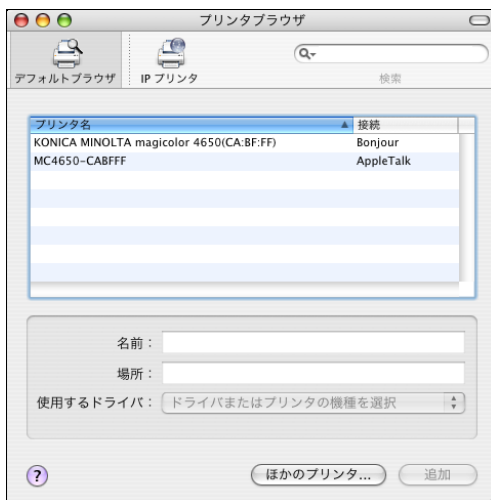
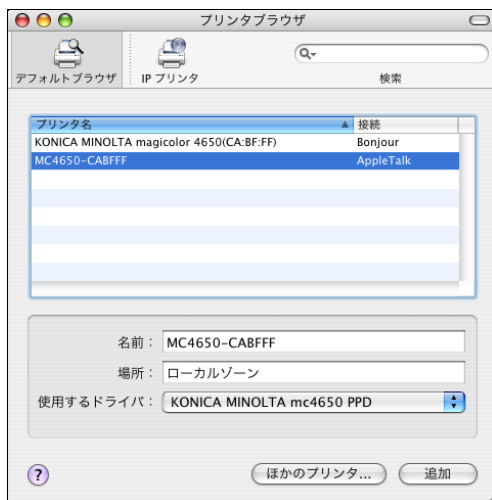
5 「KONICA MINOLTA mc4650 PPD」が、「使用するドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認し、［追加］をクリックします。

6 お使いの環境に合わせて、プリンタメモリ、メモリーカード /HDD、給紙ユニットを設定します。

7 ［続ける］をクリックします。

プリンタリスト画面に、新しいプリンタが表示されます。

AppleTalk 設定

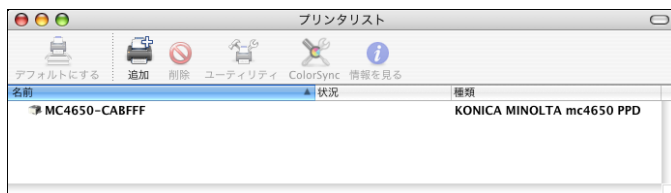
1 プリンタを Ethernet ネットワークに接続します。

2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で、[追加] をクリックします。

プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンタが表示されます。

4 プリンタブラウザ画面の「プリンタ名」リストから、「MC4650-xxxxxx」を選択します。

xxxxxx は MAC アドレスの後半 6 桁です。

5 「KONICA MINOLTA mc4650 PPD」が、「使用するドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認します。

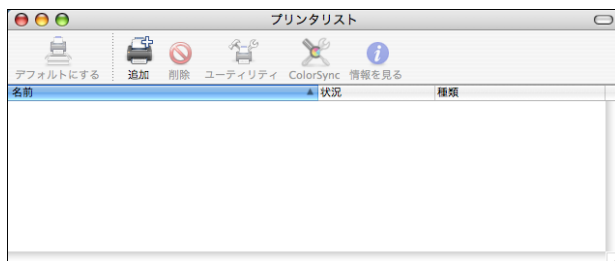
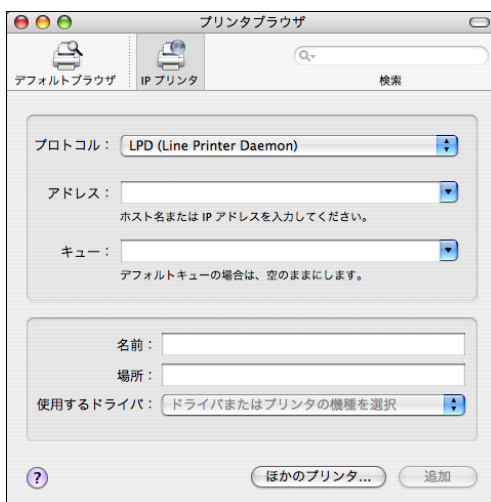
6 ［追加］をクリックします。

プリンタリスト画面に、新しいプリンタが表示されます。

オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳細は「オプションの設定」（p.41）を参照してください。

IP プリント設定（IPP 設定 / ポート 9100 設定 /LPD 設定）

1 プリンタを Ethernet ネットワークに接続します。

2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で［追加］をクリックします。

4 ［IP プリンタ］をクリックします。

5 「プロトコル」ポップアップメニューから、プロトコルを選択します。

IPP 設定の場合、「IPP（Internet Printing Protocol）」を選択します。

LPD 設定の場合、「LPD（Line Printer Daemon）」を選択します。

ポート 9100 設定の場合、「Socket/HP Jet Direct」を選択します。

6 「アドレス」ボックスにプリンタの IP アドレスを入力します。

LPD 設定の場合、「キュー」テキストボックスに「lp」と入力します。

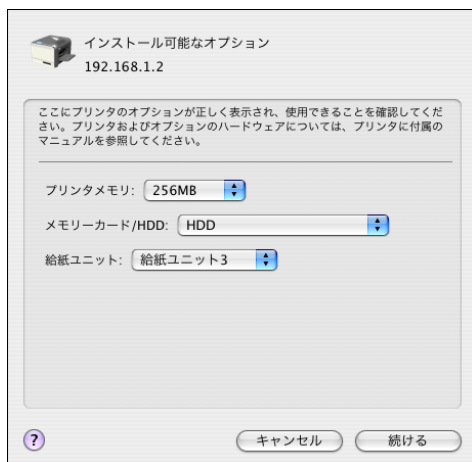
IPP 設定の場合、「キュー」テキストボックスに「ipp」と入力します。

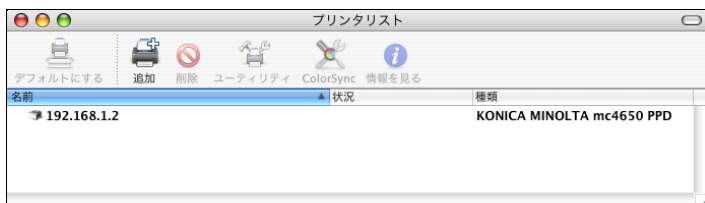
7 必要に応じて、「名前」ボックスにプリンタの名前を入力します。

8 必要に応じて、「場所」ボックスにプリンタの設置場所を入力します。

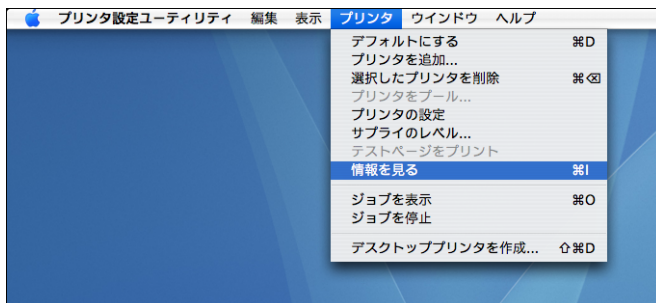
9 「KONICA MINOLTA mc4650 PPD」が、「使用するドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認します。

10 ［追加］をクリックします。

11 お使いの環境に合わせて、プリンタメモリ、メモリーカード /HDD、給紙ユニットを設定します。

12 ［続ける］をクリックします。

プリンタリスト画面に新しいプリンタが表示されます。

オプションの設定

1 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

2 プリンタリスト画面で本機を選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。

3 ポップアップメニューから「インストール可能なオプション」を選択します。

4 お使いの環境に合わせてプリンタメモリ、メモリーカード /HDD、給紙ユニットを設定し、［変更を適用］をクリックします。

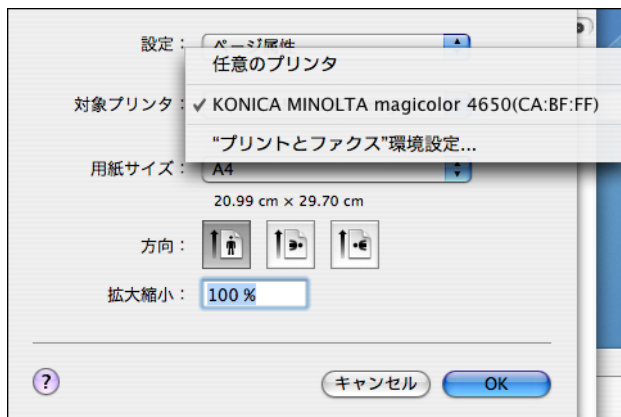
5 プリンタ情報画面を閉じます。

ページ設定画面の設定

アプリケーションソフトウェアで「ファイル」メニューから「用紙設定 ...」または「ページ設定 ...」を選択したときに表示されます。

1 「ファイル」メニューから「用紙設定 ...」または「ページ設定 ...」を選択します。

ページ設定画面が表示されます。

2 「対象プリンタ」ポップアップメニューから本機を選択します。

ページ設定画面の「設定」ポップアップメニューで表示される各メニューでは、以下のような設定を行うことができます。

設定	設定内容
ページ属性	用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小の設定を行います。
デフォルトとして保存	変更した設定を初期値として保存します。

ページ属性メニュー

ページ属性画面では、用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小の設定を行うことができます。

■ 用紙サイズ

用紙サイズをポップアップメニューから選択します。

■ 方向

印刷方向を選択します。

■ 拡大縮小

拡大縮小して印刷する場合は、拡大縮小の比率を入力します（25 ～ 400%）。

どの用紙サイズの場合も、用紙の端から内 4.2 mm までの範囲は印刷できません。

カスタム用紙サイズの設定

ページ属性画面（前ページ）の「用紙サイズ」ポップアップメニューから「カスタムサイズを管理」を選択すると、カスタム・ページ・サイズ画面が表示されます。

カスタム・ページ・サイズ画面では、カスタム用紙サイズの設定を行うことができます。

■ ＋

新しくカスタム用紙サイズを作成するときにクリックします。

■ 複製

すでにあるカスタム用紙サイズを複製して新しくカスタム用紙サイズを作成するときにクリックします。

■ −

選択しているカスタム用紙サイズを削除するときにクリックします。

■ ページサイズ

縦と横のサイズを入力して、カスタム用紙サイズを設定します。

本プリンタで設定できる数値は、以下のとおりです。

高さ： 14.8 cm ～ 35.6 cm　　幅： 9.2 cm ～ 21.6 cm

■ プリンタの余白

ページの上下左右の余白（マージン）の値を設定します。

プリント画面の設定

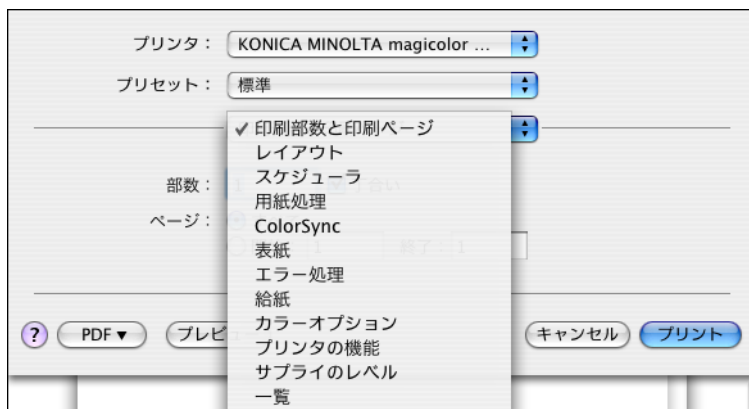
ここでは、アプリケーションソフトウェアで「ファイル」メニューから「プリント ...」または「印刷 ...」を選択したときに表示されるプリント画面について説明します。

1 「ファイル」メニューから「プリント ...」または「印刷 ...」を選択します。

プリント画面が表示されます。

2 「プリンタ」ポップアップメニューから本機を選択します。

プリント画面のポップアップメニューでは、以下のような設定を行うことができます。

プリント設定のメニュー

メニュー	設定内容
印刷部数と印刷ページ	印刷するページや部数を設定します。
レイアウト	印刷時のページレイアウトや、両面印刷の設定をします。
スケジューラ	ジョブを印刷するタイミングや優先順位を設定します。
用紙処理	印刷するページの順番や、印刷するページを設定します。
ColorSync	ColorSync の設定をします。
表紙	表紙の設定を行います。
エラー処理	エラーの出力方法を指定します。

メニュー	設定内容
給紙	給紙方法を設定します。
カラーオプション	カラー印刷の設定を行います。
プリンタの機能	原稿サイズの用紙がトレイに無いときに、近いサイズの用紙を自動的に検出するかどうかの設定と、用紙の裏面に印刷する時の設定を行います。
サプライのレベル	消耗品の状態を表示します。
一覧	現在の印刷設定を確認することができます。

同時に設定できない機能などを指定しても、警告メッセージは表示されません。

共通のボタン

- ?（ヘルプボタン）

  プリント画面のヘルプを表示します。

- PDF

  PDF メニューを表示したいときに、このボタンをクリックします。ページ出力を PDF ファイルとして保存したり、PDF をファクス送信したりできます。

- プレビュー

  印刷を行う前に印刷イメージを確認したいときに、このボタンをクリックします。

- キャンセル

  変更した設定を無効（キャンセル）にして、画面を閉じます。

- プリント

  変更した設定を有効にして、印刷を行います。

印刷部数と印刷ページメニュー

印刷部数と印刷ページ画面では、印刷するページや部数の設定を行います。

■ 部数

印刷部数を設定します。「丁合い」をチェックすると、丁合い機能が働き、文書全体が 1 部ずつまとまって印刷されます。

例えば部数を「5」にして「丁合い」をチェックすると、文書の最初のページから最後のページまでが 5 回印刷されます。

丁合い機能を使用する場合は、プリンタにオプションのハードディスクキットまたは 1GB 以上のコンパクトフラッシュが装着されている必要があります。
アプリケーションが独自に丁合い機能を提供している場合は、アプリケーション側の機能が優先され、プリンタドライバ側の機能は無視されます。

■ ページ

すべて：　全ページを印刷します。

開始、終了：　印刷するページを指定します。

レイアウトメニュー

レイアウト画面では、印刷時のページレイアウトや、両面印刷に関する設定を行います。

■ ページ数／枚

1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。例えば「2」を選択すると、1 枚の用紙に 2 ページ分が印刷されます。

■ レイアウト方向

1 枚の用紙に複数ページを印刷する場合に、ページをどのような方向、順番で印刷するかをクリックして選択します。

■ 境界線

1 枚の用紙に複数ページ印刷する際、各ページの周りに境界線を印刷する場合は、ポップアップメニューから境界線の種類を選択します。

■ 両面

両面印刷に関する設定を行います。

切：	両面印刷を行いません。
長辺とじ：	長辺とじで両面印刷を行います。
短辺とじ：	短辺とじで両面印刷を行います。

スケジューラメニュー

スケジューラ画面では、ジョブを印刷するタイミングと優先順位の設定を行います。

■ 書類をプリント

今すぐプリント：すぐに印刷を開始します。

後でプリント：　印刷を開始する時刻を指定します。

保留：　　　　　プリントジョブを保留します。

■ 優先順位

保留しているジョブを印刷する時の優先順位を設定します。

用紙処理メニュー

用紙処理画面では、印刷するページの順番や、印刷するページの設定を行います。

■ ページの順序

自動：文書のページ順序で印刷するときに選択します。

通常：通常のページ順序で印刷するときに選択します。

逆送り：印刷するページの順番を逆にして印刷するときに選択します。

■ プリント

すべてのページ：全てのページを印刷します。

奇数ページ：奇数ページのみ印刷します。

偶数ページ：偶数ページのみ印刷します。

■ 出力用紙サイズ

使用する出力用紙サイズ：ソフトウェアが作成した書類のサイズを使用するときに選択します。

用紙サイズに合わせる：書類の用紙サイズを、プリンタで使用されている用紙サイズに合わせるときに選択します。プリンタで使用されている用紙サイズを指定します。

ColorSync メニュー

■ カラー変換

コンピュータでカラーマッチングを行うか、プリンタでカラーマッチングを行うかを選択します。

■ Quartz フィルタ

Quartz フィルタを選択し、色調を変更できます。

表紙メニュー

■ 表紙をプリント

書類の前か、書類の後に表紙を印刷できます。

■ 表紙のタイプ

表紙の種類を選択します。

■ 課金情報

表紙に印刷される課金情報を設定します。

エラー処理メニュー

■ PostScript エラー

PostScript エラーを出力するかどうかを選択します。

■ トレイの切り替え

このプリンタドライバでは使用しません。

給紙メニュー

給紙画面では、給紙方法の設定を行います。

■ 全体

すべてのページで使用する給紙トレイを選択します。

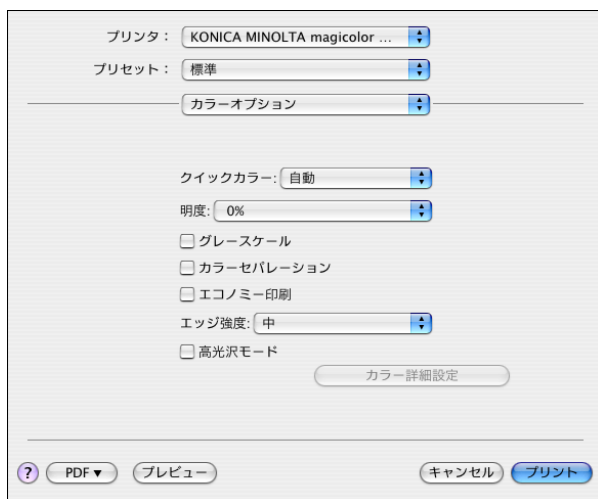
■ 先頭ページのみ

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページで使用する給紙トレイを選択します。

■ 残りのページ

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に、最初のページ以外で使用する給紙トレイを選択します。

オプションの給紙ユニットを装着している場合は、あらかじめ「オプションの設定」（p.41）で「給紙ユニット 3」を選択しておいてください。

カラーオプションメニュー

■ クイックカラー

クイックカラーを選択します。

■ 明度

明るさを選択します。

■ グレースケール

この項目をチェックすると、カラー部分をグレースケールで印刷します。

■ カラーセパレーション

この項目をチェックすると、色分解を行って印刷します。

■ エコノミー印刷

エコノミー印刷を行うかどうかを選択します。

■ エッジ強度

エッジ強度を選択します。

■ 高光沢モード

高光沢モードで印刷を行うかどうかを選択します。

■ カラー詳細設定

クリックすると、カラー詳細設定ページを表示します。

クイックカラーを「カスタム」に設定している場合に有効です。

カラー詳細設定 / イメージ

■ RGB カラー

イメージの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ RGB 色変換

イメージの RGB カラー特性を選択します。

■ RGB グレー再現

RGB イメージの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ 出力プロファイル

印刷に使用する出力プロファイルを選択します。

■ スクリーン

イメージの中間色の再現性を選択します。

■ エッジ強調

エッジ強調を行うかどうかを選択します。

■ プロファイルの管理

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルに カラープロファイルを追加、削除することができます。

■ ダウンロードマネージャー

ダウンロードマネージャーを起動します。

ダウンロードマネージャーを起動するには、アプリケーションフォルダに「Download Manager mc4650」フォルダを新規作成し、Utilities & Documentation CD-ROM の Utilities フォルダに収録される Download Manager プログラムを「Download Manager mc4650」フォルダにコピーします。

■ 詳細設定を隠す

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

カラー詳細設定 / テキスト

■ RGB カラー

テキストの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ RGB 色変換

テキストの RGB カラー特性を選択します。

■ RGB グレー再現

RGB のテキストデータの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ 出力プロファイル

印刷に使用する出力プロファイルを選択します。

■ スクリーン

テキストの中間色の再現性を選択します。

■ エッジ強調

エッジ強調を行うかどうかを選択します。

■ プロファイルの管理

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルに カラープロファイルを追加、削除することができます。

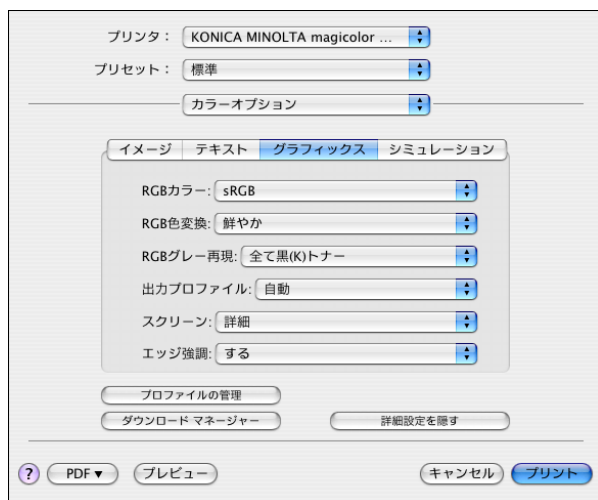
■ ダウンロードマネージャー

ダウンロードマネージャーを起動します。

ダウンロードマネージャーを起動するには、アプリケーションフォルダに「Download Manager mc4650」フォルダを新規作成し、Utilities & Documentation CD-ROM の Utilities フォルダに収録される Download Manager プログラムを「Download Manager mc4650」フォルダにコピーします。

■ 詳細設定を隠す

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

カラー詳細設定 / グラフィックス

- RGB カラー

  グラフィックスの RGB ソースプロファイルを選択します。

- RGB 色変換

  グラフィックスの RGB カラー特性を選択します。

- RGB グレー再現

  RGB のグラフィックスの黒色とグレーの再現方法を選択します。

- 出力プロファイル

  印刷に使用する出力プロファイルを選択します。

- スクリーン

  グラフィックスの中間色の再現性を選択します。

- エッジ強調

  エッジ強調を行うかどうかを選択します。

- プロファイルの管理

  カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルに カラープロファイルを追加、削除することができます。

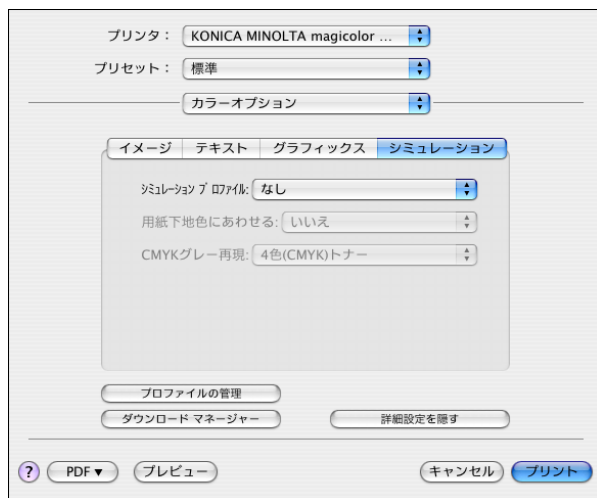
- ダウンロードマネージャー

  ダウンロードマネージャーを起動します。

  ダウンロードマネージャーを起動するには、アプリケーションフォルダに「Download Manager mc4650」フォルダを新規作成し、Utilities & Documentation CD-ROM の Utilities フォルダに収録される Download Manager プログラムを「Download Manager mc4650」フォルダにコピーします。

- 詳細設定を隠す

  カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

カラー詳細設定 / シミュレーション

■ シミュレーションプロファイル

RGB カラープロファイルを選択します。

■ 用紙下地色にあわせる

下地色を印刷するかどうかを選択します。

■ CMYK グレー再現

プリントジョブ内の中間色を印刷する方法を選択します。

■ プロファイルの管理

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルに カラープロファイルを追加、削除することができます。

■ ダウンロードマネージャー

ダウンロードマネージャーを起動します。

ダウンロードマネージャーを起動するには、アプリケーションフォルダに「Download Manager mc4650」フォルダを新規作成し、Utilities & Documentation CD-ROM の Utilities フォルダに収録される Download Manager プログラムを「Download Manager mc4650」フォルダにコピーします。

■ 詳細設定を隠す

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

プリンタの機能メニュー

■ 近似サイズに拡大縮小

トレイにある用紙サイズがページサイズに合わない場合、自動的にページを縮小もしくは拡大して、適切な用紙を選択します。

■ 印刷済み用紙の裏に印刷

用紙の裏面に印刷するときは、この項目を設定します。

■ 用紙種類

用紙の種類を選択します。

■ 排紙トレイ

排紙トレイを選択します。

■ ソート

部単位で印刷を行うかどうかを選択します。

サプライのレベルメニュー

サプライのレベル画面では、現在の消耗品の状態を確認することができます。

サプライのレベルメニューは、Mac OS X v10.4 で Bonjour 接続、IPP 接続、LPD 接続された場合に表示されます。

サプライのレベルメニューは、お使いのアプリケーションによっては表示されない場合があります。

一覧メニュー

一覧画面では、現在のプリント設定を確認することができます。

カラープロファイルの設定方法

事前準備

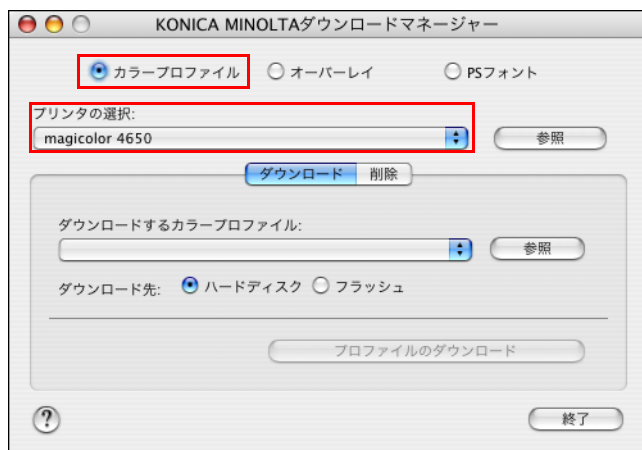
1 プリンタドライバをインストールし、プリンタ設定ユーティリティよりプリンタを追加します。
プリンタの追加のしかたの詳細については、「プリンタ設定ユーティリティ」（p.30）をごらんください。

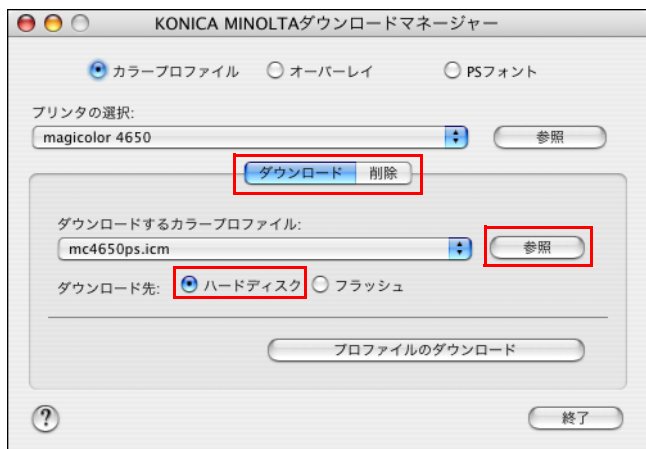
2 Utilities & Documentation CD-ROM の Utilities フォルダに収録されている Download Manager を使用し、カラープロファイルをプリンタのハードディスクに保存します。

ダウンロードマネージャーの使用方法

ダウンロードマネージャは、IP、USB、AppleTalk 接続の場合に使用できます。Bonjour 接続では使用できません。

1 Utilities & Documentation CD-ROM の Utilities フォルダに収録されている Download Manager をダブルクリックし、プログラムを起動します。

2 ダウンロードマネージャー画面より、カラープロファイルを選択します。
続いて事前準備で追加したプリンタをプリンタの選択リストより選択します。

3 ［ダウンロード］をクリックし、ダウンロード先としてハードディスクを選択します。［参照］をクリックし、ダウンロードするカラープロファイルを指定します。

カラープロファイルのファイル名称は「ファイル名 =ASCII8 文字以下＋拡張子 ASCII3 文字以下」の形式をご使用ください。

4 ［プロファイルのダウンロード］をクリックします。

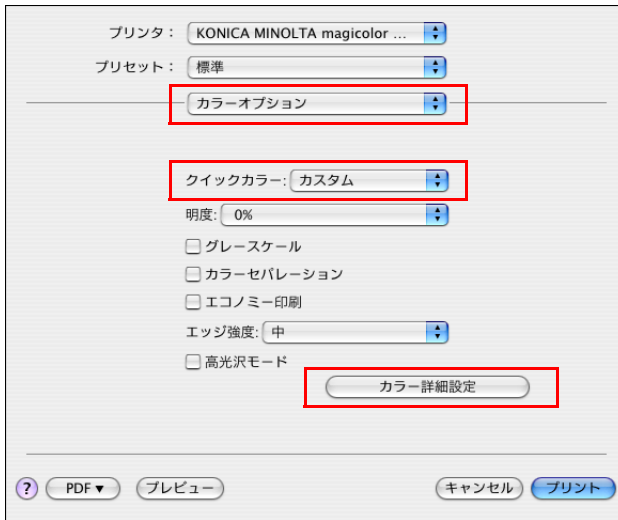
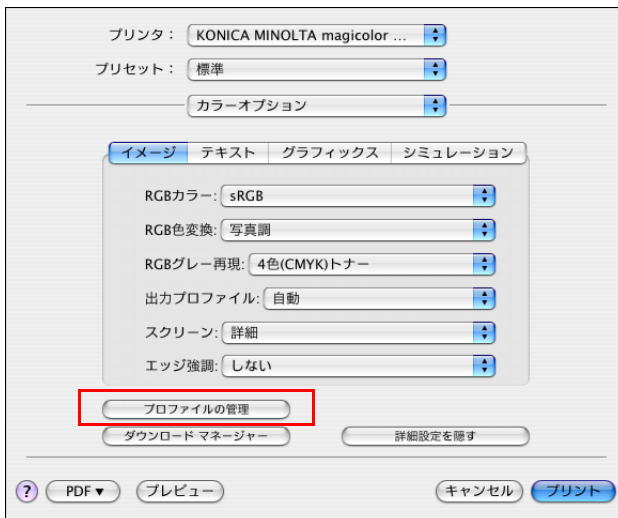
5 ［OK］をクリックします。

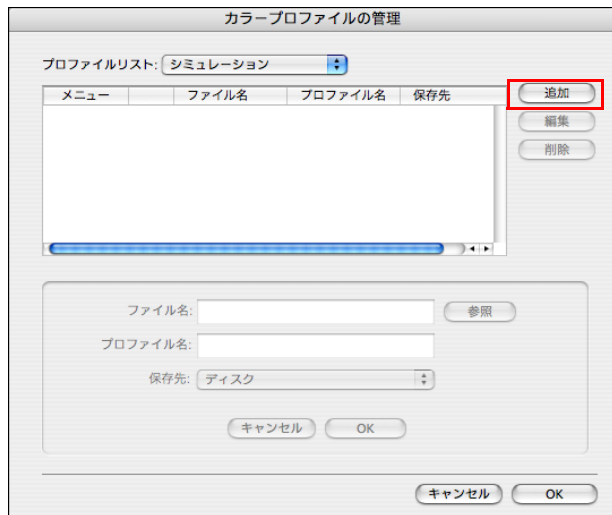
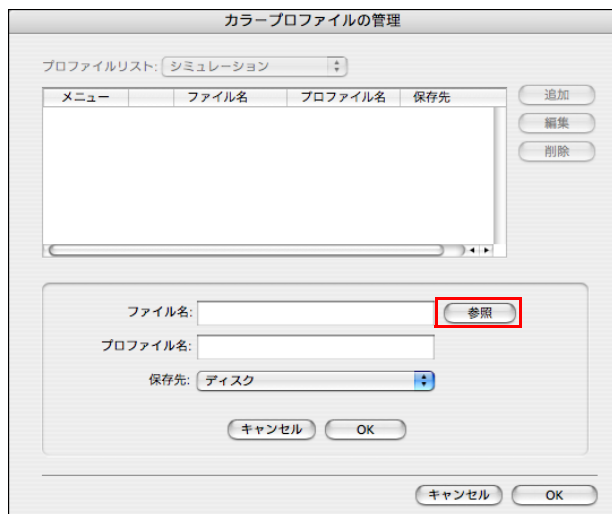
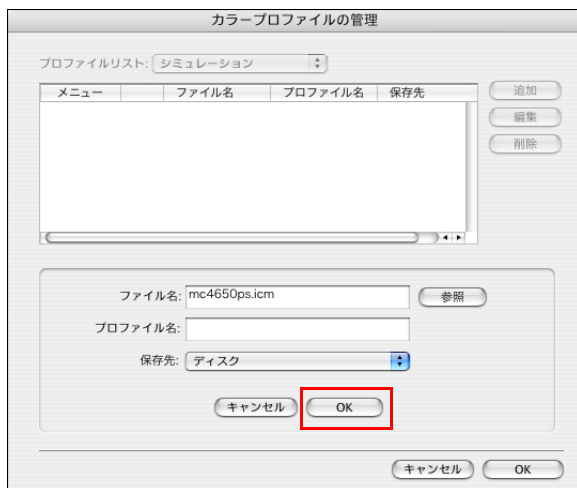
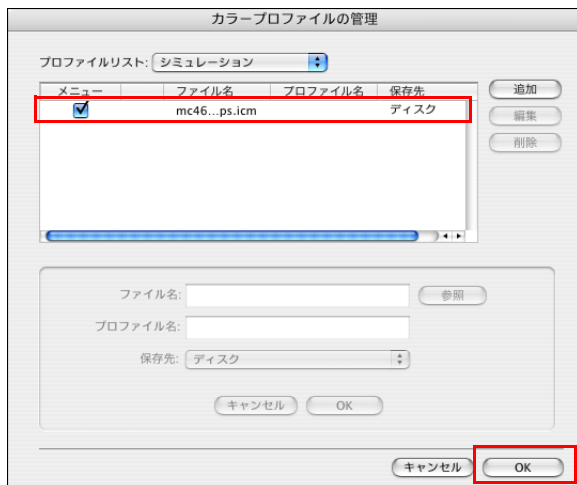
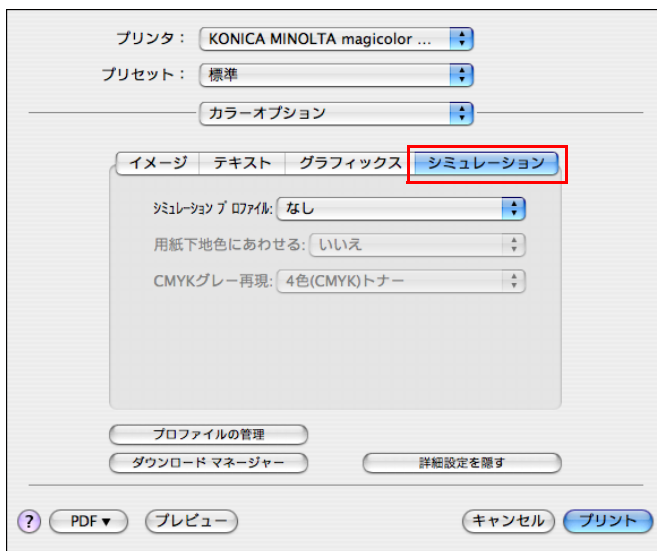
6 ［終了］をクリックします。

7 ハードディスクにダウンロードしたカラープロファイルをコンピュータの任意の場所にコピーします。

プリンタドライバの設定

1 アプリケーションのプリント画面を開きます。

2 「カラーオプション」メニューを選択します。「クイックカラー」で「カスタム」を選択し、［カラー詳細設定］をクリックします。

3 ［プロファイルの管理］をクリックします。

4 ［追加］をクリックします。

IPP（Internet Printing Protocol），LPD（Line Printer Daemon），Socket/HP JetDirect（ポート 9100）接続の場合は手順 6 に進んでください。

5 ［参照］をクリックし、コンピュータに保存したカラープロファイルを指定します。

6 ［OK］をクリックします。

7 リストにカラープロファイルが追加され、ファイル名横のメニューにチェックが入っていることを確認し、［OK］をクリックします。

8 「シミュレーション」タブをクリックします。

9 シミュレーションプロファイルよりカラープロファイルを選択し、[プリント] をクリックします。

トラブルシューティング

症状	対応・処置
プリンタの設定項目が英語表記になっている	– Mac OS X 10.3/10.4 の場合： 「プリンタ設定ユーティリティ」よりプリンタを選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。プリンタ情報画面のプルダウンメニューから「プリンタの機種」を選択します。プルダウンメニューから「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名から「KONICA MINOLTA mc4650 PPD」を選択後、［変更を適用］ボタンをクリックします。 – Mac OS X 10.2 の場合： 「プリントセンター」よりプリンタを選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。プリンタ情報画面のプルダウンメニューから「プリンタの機種」を選択します。プルダウンメニューから「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名から「KONICA MINOLTA mc4650 PPD」を選択後、［変更を適用］ボタンをクリックします。
プリセットで保存した機能が反映されない。	プリンタの機能によっては、プリセットでは保存されません。
プリンタがハングアップする。	OS の不具合により、用紙サイズと用紙種類の組合せが禁止できません。正しくない組合せで印刷したとき、プリンタがハングアップします。用紙サイズと用紙種類は、正しい組合せで印刷してください。
プリンタドライバおよび PPD ファイルのバージョンを確認したい。	– Mac OS X 10.4 の場合 「プリンタ設定ユーティリティ」よりプリンタを選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。プリンタ情報画面のポップアップメニューから「名前と場所」を選択します。
他社製のプリンタから切り替えたとき、画面の表示がおかしい。	一旦プリント画面を閉じ、開き直してください。
カスタム用紙サイズが、設定した値と違う。	OS の不具合により、カスタム用紙サイズで設定した値が、微妙に変わってしまうことがあります。（例：14.70 cm → 14.69 cm）

症状	対応・処置
2-up 印刷時に用紙の中央に印刷されない。	OS の不具合により、以下のサイズで 2-up 印刷を行ったときは、用紙の中央に印刷されません。Legal, Letter Plus, Foolscap, Government Legal, Statement, Folio
N-up 印刷を複数部行ったとき、「丁合い」を指定していると、連続して印刷される。	N-up 印刷を複数部行うときは、「丁合い」を指定しないでください。
Acrobat Reader からの印刷時、「丁合い」が正しく機能しなかったり、印刷途中でジョブがキャンセルされたりする。	Acrobat Reader で印刷に不具合が出る場合は、OS に付属の「プレビュー」で印刷してください。
カスタム用紙サイズの名前として使えないものがある。	Mac OS X の制限により、以下の名前をカスタム用紙サイズの名前として使用することはできません。他の名前を使用して下さい。 –「Custom」 –「A4」や「B4」など、PDF ファイルで定義されている一般的な用紙サイズの名前

Windows Vista での使い方

2

XPS ドライバのインストール

プリンタドライバの動作環境については、ユーザーズガイドをごらんください。

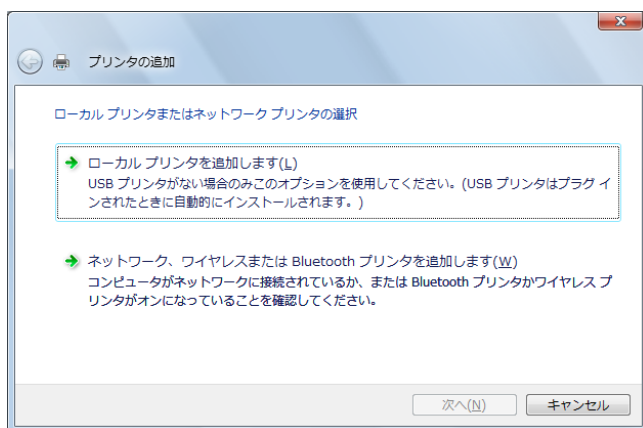
プリンタドライバのインストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

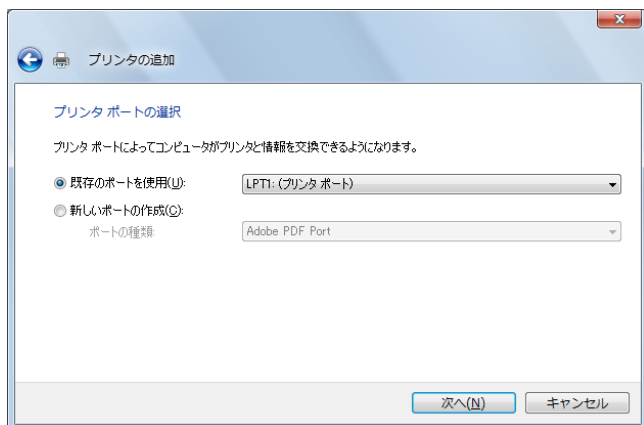
プリンタドライバのインストールを行う前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

1 Printer Driver CD-ROM を CD-ROM/DVD ドライブに入れます。

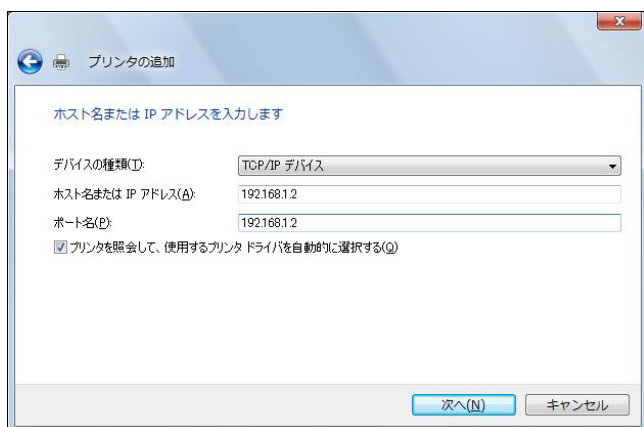
2 「スタート」メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタ」を選びます。

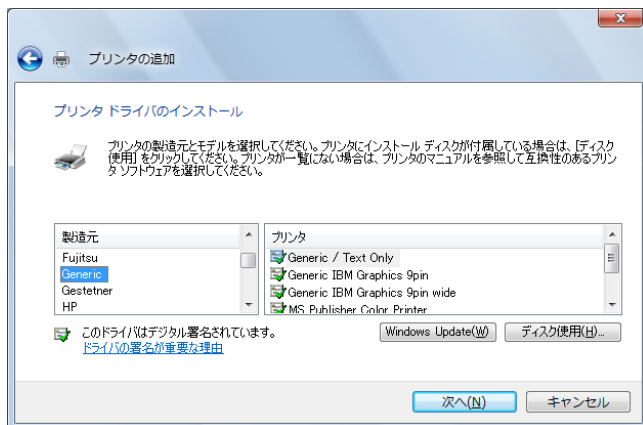
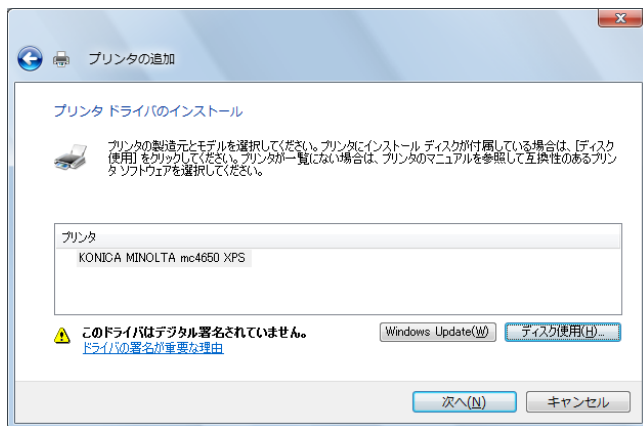
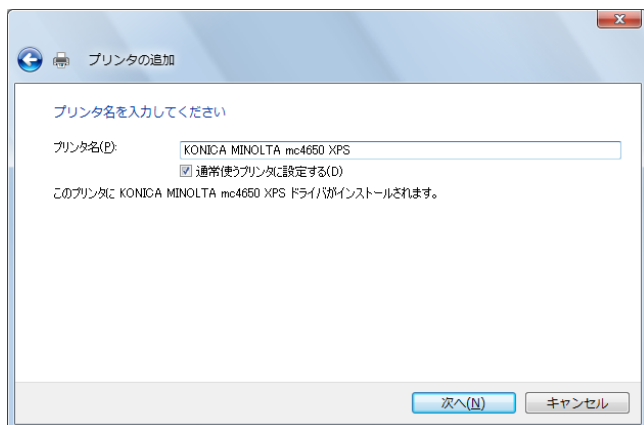
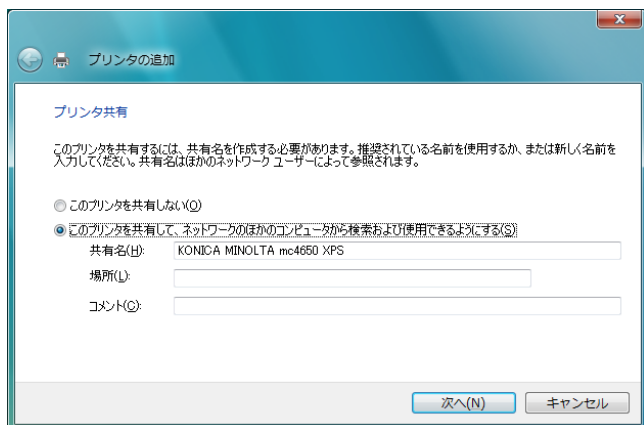
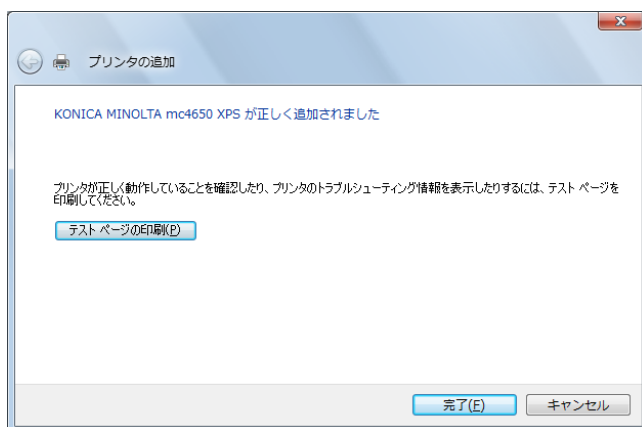
3 「プリンタの追加」をダブルクリックします。

4 「ローカルプリンタを追加します」をクリックします。

5 使用環境に合わせて、接続方法を選択します。

- ローカル接続の場合：「既存のポートを使用」にチェックを付けて、「LPTT1:（プリンタポート）」または、「USB001」を選択します。
- ネットワーク接続の場合：「新しいポートの作成」にチェックを付けて、「Standard TCP/IP Port」を選択します。

6 ［次へ］をクリックします。

ネットワーク接続を選択した場合は、手順 7 に進みます。ローカル接続を選択した場合は、手順 8 に進んでください。

7 「デバイスの種類」より「TCP/IP デバイス」を選択し、「ホスト名または IP アドレス」ボックスにプリンタの IP アドレスを入力して、［次へ］をクリックします。

8 「ディスク使用」をクリックし、CD-ROM 内のプリンタドライバのあるフォルダを指定して、［OK］をクリックします。

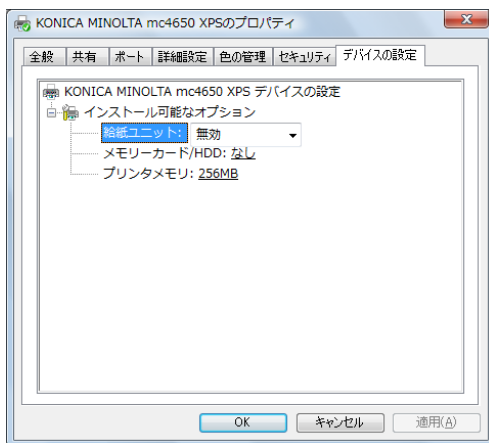
XPS プリンタドライバは CD-ROM 内の以下のフォルダにあります。
Drivers\XPS\<language>
使用言語に合わせてドライバを選択してください。

9 ［次へ］をクリックします。

10 ［次へ］をクリックします。

11 プリンタを共有するかどうかを設定し、［次へ］をクリックします。

12 ［完了］をクリックします。

これでプリンタドライバのインストールが完了しました。

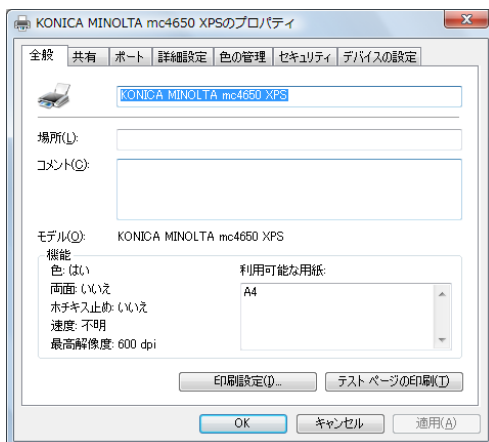
プリンタの初期設定

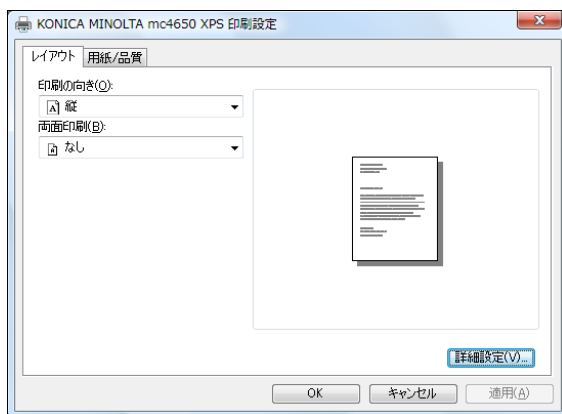
1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc4650 XPS」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

3 「デバイスの設定」タブをクリックします。

4 お使いの環境に合わせて、給紙ユニット、ストレージ、プリンタメモリを設定します。

5 ［適用］をクリックします。

6 「全般」タブをクリックします。

7 「印刷設定」をクリックします。

8 印刷の向きなど、印刷の初期設定を行います。

9 [適用] をクリックします。

10 [OK] をクリックすると、印刷設定画面が閉じます。

11 もう一度 [OK] をクリックすると、プロパティ画面が閉じます。

プリンタドライバのアンインストール

1 すべてのアプリケーションを終了します。
2 「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。
3 「KONICA MINOLTA mc4650 XPS」プリンタアイコンを右クリックし、［削除］をクリックします。
4 プリンタドライバを削除する場合は、［はい］をクリックします。
5 プリンタ画面で右クリックし、「サーバーのプロパティ」をクリックします。
6 「ドライバ」タブをクリックします。
7 「インストールされたプリンタドライバ」一覧から、「KONICA MINOLTA mc4650 XPS」を選択し、［削除］をクリックします。
8 削除する方法を選択し、［OK］をクリックします。
9 ［はい］をクリックします。
10 ［削除］をクリックします。
11 ［閉じる］をクリックします。
12 コンピューターを再起動します。

プリンタドライバがコンピューターからアンインストールされます。

プリンタドライバの設定

1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc4650 XPS」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

各タブで共通のボタン

■ OK

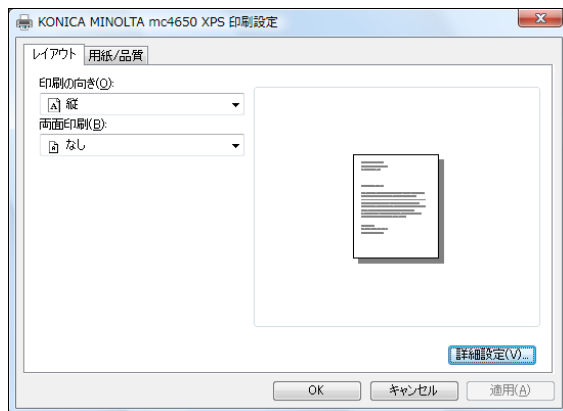
このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

■ キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

■ 適用

このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

レイアウト

■ 印刷の向き

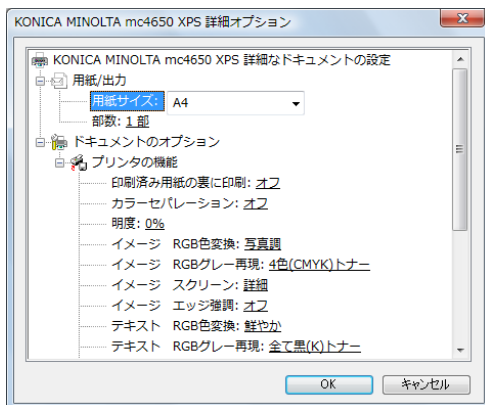
用紙の向きを設定します。

■ 両面印刷

両面印刷時の綴じ位置を選択します。

■ 詳細設定

クリックすると、詳細設定画面が表示されます。

詳細設定

■ 用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。

■ 部数

印刷する部数を設定します。

■ 印刷済み用紙の裏に印刷

一度印刷した用紙の裏面に印刷するかどうかを設定します。

■ カラーセパレーション

CMYK ごとに分割して印刷するかどうかを設定します。「カラーセパレーション」チェックボックスにチェックすると、CMYK ごとに色分解し、それぞれをモノクロで印刷します。

■ 明度

印刷する画像の明るさ（明度）を設定します。

■ RGB 色変換

イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトの色変換処理に関して指定します。プリンタで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。

■ RGB グレー再現

プリンタで処理するイメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトのグレーの再現に関して指定します。

■ スクリーン

イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトのハーフトーン処理に関して指定します。

■ エッジ強調

イメージ / テキスト / グラフィックスのエッジの強調を指定します。

■ エッジ強度

エッジを強調する場合、付加するエッジ強調ドットの強さを設定します。「オフ」を選択するとエッジ強調ドットを付加しません。「弱」を選択するとエッジ強調ドットを弱めに付加します。「中」を選択するとエッジ強調ドットを付加します。「強」を選択するとエッジ強調ドットを強めに付加します。

■ エコノミー印刷

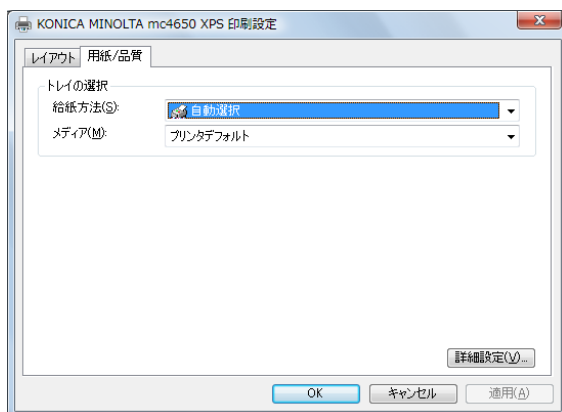
トナー消費量を抑えた印刷を行うかどうかを設定します。「オフ」に設定すると消費量を抑えた印刷を行いません。「オン」に設定すると消費量を抑えた印刷を行います。

■ シミュレーションプロファイル

インクシミュレーション、デバイスシミュレーション等に使用する、シミュレーションプロファイルを指定することができます。

■ 用紙下地色にあわせる

シミュレーション実施時の色変換特性を指定します。

用紙 / 品質

■ 給紙方法

印刷に使用する給紙トレイを選択します。

■ メディア

印刷に使用する用紙種類を選択します。

Linux での使い方

3

プリンタドライバの動作環境

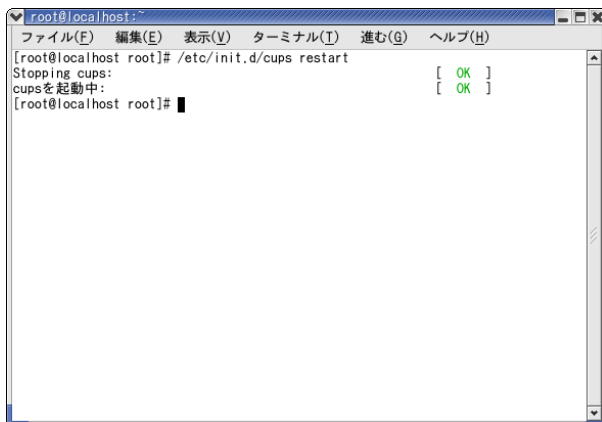
プリンタドライバのインストールを行う前に、以下の動作環境を確認してください。

CPU	Intel IA-32
OS	Red Hat Linux 9.0 、SuSE Linux 8.2
コンピュータと プリンタの接続方法	USB 接続、パラレル接続、 ネットワーク接続（10Base-T/100Base-TX/1000 Base-T）
メモリ	OS が推奨する環境以上（128 MB 以上を推奨）
ネットワーク	LPR（queue: lp, LP, default, DEFAULT）
	AppSocket/HP JetDirect
	IPP
ハードディスク 空き容量	256 MB 以上

この章では、Red Hat 9.0 での操作を例に説明しています。

PPD ファイルをコマンドラインからインストールする

プリンタドライバのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

PPD ファイルのインストールにはルート権限が必要です。

1 Printer Driver CD-ROM から PPD ファイルを“/usr/share/cups/model”にコピーします。

OpenOffice から印刷するときは、「M4650opn.ppd」を使用してください。それ以外の場合は、「M4650PX.ppd」を使用してください。
OpenOffice から印刷する方法については、「OpenOffice の場合」（p.95）をごらんください。

2 メインメニューから「システムツール」→「ターミナル」を選択します。

3 “/etc/init.d/cups restart”と入力します。

4 ターミナルを終了します。

プリンタの追加

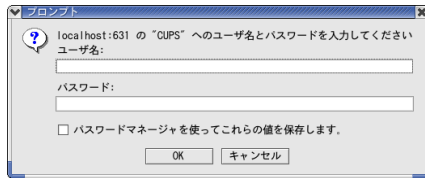
PPD をコピーしたあとは、必ず cups を再起動してください。

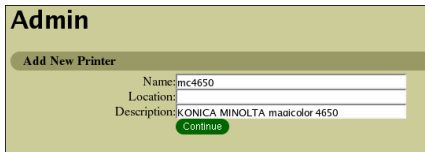
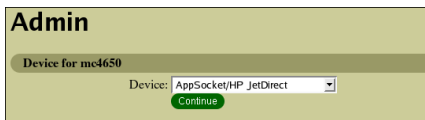
1 ブラウザを起動します。

2 URL に“http://localhost:631”と入力し、［Manage Printers］をクリックします。

CUPS Administration Web Page が表示されます。

3 ［Add Printer］をクリックします。

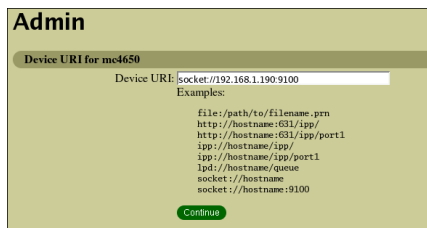
ポップアップウィンドウが表示されます。

4 ルート権限のユーザ名とパスワードを入力して、［OK］をクリックします。

5 プリンターの名称、設置場所、説明を入力して、［Continue］をクリックします。

6 「Device」リストからデバイスポートを選択して、［Continue］をクリックします。

– TCP/IP の場合：「AppSocket/HP JetDirect」、「Internet Printing Protocol（http）」または「LPD/LPR Host or Printer」を選択

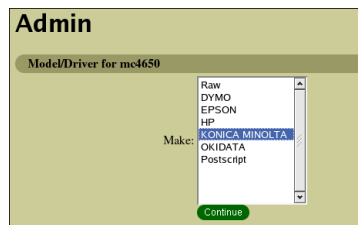
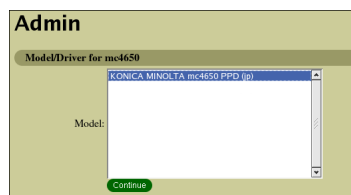
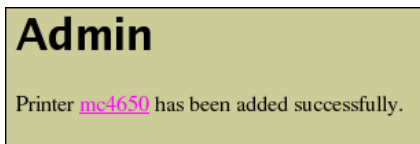
– USB 接続の場合：「USB Printer #1」を選択

– パラレル接続の場合：「Parallel Port #1」を選択

7 USB 接続またはパラレル接続の場合、手順 8 へすすみます。

デバイスの URI を以下の形式で入力します。socket://＜プリンタ名もしくはプリンタの IP アドレス＞［ポート番号］

入力例：
プリンタの IP アドレスの場合：socket://192.168.1.190:9100
プリンタ名の場合：socket://Hostname:9100
プリンタ名は IP アドレスで代用できます。また、ポート番号は省略することができます。

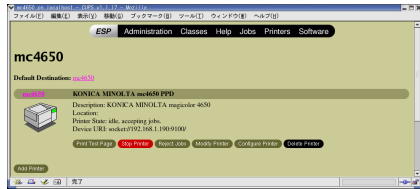
8 ［Continue］をクリックします。

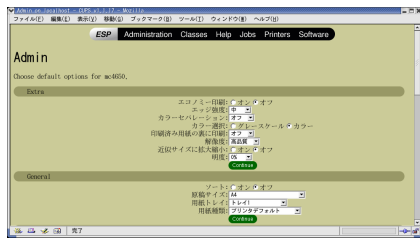
9 「KONICA MINOLTA」を選択して、［Continue］をクリックします。

10 「KONICA MINOLTA mc4650 PPD (jp)」を選択して、［Continue］をクリックします。

以下のメッセージが表示されます。

プリンタドライバの設定

設定ページの表示

1 ブラウザを起動します。

2 URL に“http://localhost:631”と入力し、［Manage Printers］をクリックします。

設定ツールのプリンタ管理用 Web ページが表示されます。

3 ［Configure Printer］をクリックします。

プリンタドライバの設定ページが表示されます。

設定項目

Extra

項目	設定内容
エコノミー印刷	エコノミー印刷を行うかどうかを選択します。 ・デフォルトの設定は**オフ**です。
エッジ強度	エッジ強度を設定します。 ・デフォルトの設定は**中**です。
カラーセパレーション	色分解の設定を**オン**、**オフ**から選択します。 ・デフォルトの設定は**オフ**です。
カラー選択	印刷する時の色を**カラー**、**グレースケール**から指定します。 ・デフォルトの設定は**カラー**です。
印刷済み用紙の裏に印刷	すでに印刷されている用紙の裏面に印刷する時に、**オン**を選択します。 ・デフォルトの設定は**オフ**です。
解像度	印刷時の画像解像度（高品質）が表示されます。
近似サイズに拡大縮小	トレイにある用紙サイズがページサイズに合わない場合、自動的にページを縮小もしくは拡大して、適切な用紙を選択します。 ・デフォルトの設定は**オフ**です。
明度	イメージの明るさを **-15%**、**-10%**、**-5%**、**0%**、**5%**、**10%**、**15%** から選択します。 ・デフォルトの設定は **0%** です。

General

項目	設定内容
ソート	**オン**が選択されている場合、文書が丁合いされて印刷されます。 ・デフォルトの設定は**オフ**です。
原稿サイズ	用紙のサイズを指定します。
用紙トレイ	給紙元を**トレイ 1**、**トレイ 2**、**トレイ 3**、**トレイ 1（手差し）**、**Auto** から選択します。 ・デフォルトの設定は**トレイ 1** です。
用紙種類	用紙タイプを**プリンタデフォルト**、**普通紙**、**再生紙**、**OHP フィルム**、**光沢紙 1（100-128g/m²）**、**光沢紙 2（129-158g/m²）**、**ラベル紙**、**厚紙 1（91-150g/m²）**、**厚紙 2（151-210g/m²）**、**レターヘッド付き用紙**、**封筒**、**はがき**から選択します。 ・デフォルトの設定は**プリンタデフォルト**です。

Options Installed

項目	設定内容
プリンタメモリ	プリンタに装着されているオプションの増設メモリを **256 MB**、**512 MB**、**768 MB** から選択します。 ・デフォルトの設定は **256 MB** です。
メモリーカード /HDD	プリンタにオプションのメモリーカードまたはハードディスクキットが装着されている場合に選択します。 ・デフォルトの設定は**なし**です。
給紙ユニット	プリンタにオプションの増設トレイが装着されている場合は、給紙ユニット 3 を選択します。 ・デフォルトの設定は**なし**です。

イメージ設定

項目	設定内容
イメージ エッジ強調	イメージのエッジ強調を行うかどうかを選択します。 ・デフォルトの設定は**オフ**です。
イメージ RGB カラー	イメージの RGB カラープロファイルを**デバイス色**、**sRGB**、**Adobe RGB（1998）**、**Apple RGB**、**ColorMatch RGB**、**Blue Adjust RGB** から選択します。 ・デフォルトの設定は **sRGB** です。
イメージ RGB グレー再現	RGB のイメージの黒色とグレーの再現方法を **4 色（CMYK）トナー**、**全て黒（K）トナー**、**黒のみ黒トナー**から選択します。 ・デフォルトの設定は **4 色（CMYK）トナー**です。
イメージ RGB 色変換	イメージの RGB 特性を**鮮やか**、**写真調**、**色の一致**、**完全一致**から選択します。 ・デフォルトの設定は**写真調**です。
イメージ スクリーン	イメージの中間色の再現方法を**高精細**、**精細**、**スムーズ**から選択します。 ・デフォルトの設定は**精細**です。

グラフィックス設定

項目	設定内容
グラフィックスエッジ強調	グラフィックスのエッジ強調を行うかどうかを選択します。 ・デフォルトの設定は**オン**です。
グラフィックスRGB カラー	グラフィックスの RGB カラープロファイルを**デバイス色**、**sRGB** 、**Adobe RGB（1998）**、**Apple RGB** 、**ColorMatch RGB** 、**Blue Adjust RGB** から選択します。 ・デフォルトの設定は **sRGB** です。
グラフィックスRGB グレー再現	RGB のグラフィックスの黒色とグレーの再現方法を **4 色（CMYK）トナー**、**全て黒（K）トナー**、**黒のみ黒トナー**から選択します。 ・デフォルトの設定は**全て黒（K）トナー**です。
グラフィックスRGB 色変換	グラフィックスの RGB 特性を**鮮やか**、**写真調**、**色の一致**、**完全一致**から選択します。 ・デフォルトの設定は**鮮やか**です。
グラフィックススクリーン	グラフィックスの中間色の再現方法を**高精細**、**精細**、**スムーズ**から選択します。 ・デフォルトの設定は**精細**です。

シミュレーション

項目	設定内容
CMYK グレー再現	黒色とグレーの再現方法を **4 色（CMYK）トナー**、**全て黒（K）トナー**、**黒のみ黒トナー**から選択します。 ・デフォルトの設定は **4 色（CMYK）トナー**です。
シミュレーションプロファイル	RGB カラープロファイルを**なし**、**SWOP**、**Euroscale**、**Commercial Press**、**DIC**、**TOYO** から選択します。 ・デフォルトの設定は**なし**です。
用紙下地色にあわせる	**オン** が選択されている場合、下地色を印刷します。 ・デフォルトの設定は**オフ**です。

テキスト設定

項目	設定内容
テキスト エッジ強調	テキストのエッジ強調を行うかどうかを選択します。 ・デフォルトの設定は**オン**です。
テキスト RGB カラー	テキストの RGB カラープロファイルを**デバイス色**、**sRGB**、**Adobe RGB（1998）**、**Apple RGB**、**ColorMatch RGB**、**Blue Adjust RGB** から選択します。 ・デフォルトの設定は **sRGB** です。
テキスト RGB グレー再現	RGB のテキストデータの黒色とグレーの再現方法を **4 色（CMYK）トナー**、**全て黒（K）トナー**、**黒のみ黒トナー**から選択します。 ・デフォルトの設定は**全て黒（K）トナー**です。
テキスト RGB 色変換	テキストの RGB 特性を**鮮やか**、**写真調**、**色の一致**、**完全一致**から選択します。 ・デフォルトの設定は**鮮やか**です。
テキスト スクリーン	テキストの中間色の再現方法を**高精細**、**精細**、**スムーズ** から選択します。 ・デフォルトの設定は**高精細**です。

Banners

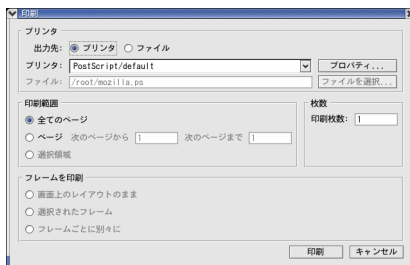
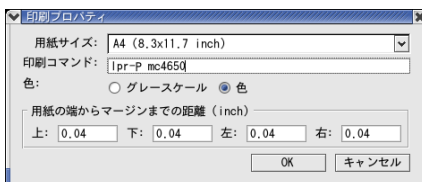
項目	設定内容
Starting Banner	開始バナーを **none**、**classified**、**confidential**、**secret**、**standard**、**topsecret**、**unclassified** から選択します。 ・デフォルトの設定は **none** です。
Ending Banner	終了バナーを **none**、**classified**、**confidential**、**secret**、**standard**、**topsecret**、**unclassified** から選択します。 ・デフォルトの設定は **none** です。

文書を印刷する

アプリケーションによって、印刷ダイアログおよび印刷設定ダイアログの内容が異なります。

LPR コマンドを使用する場合

OpenOffice 以外の場合、下記の印刷ダイアログが表示されます。

1 印刷ダイアログの［プロパティ］をクリックします。

2 印刷プロパティダイアログが表示されます。

3 印刷コマンドの入力欄に“lpr -P”と入力して、プリンタ名を追加し、［OK］をクリックします。
印刷ダイアログに戻ります。

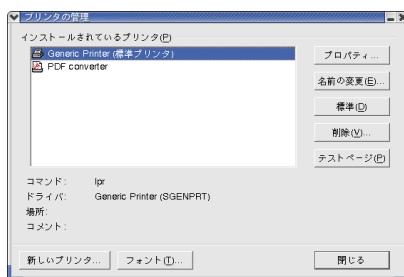
4 印刷ダイアログで［印刷］をクリックして、文書を印刷します。

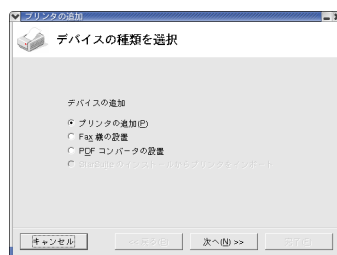
OpenOffice の場合

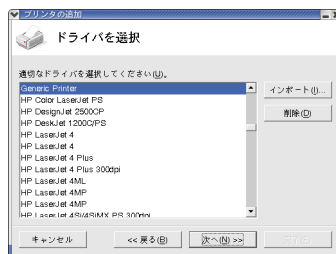
下記は、Red Hat 9 上で OpenOffice 1.0.2 を使用した場合の手順です。お使いの OS のバージョンによっては下記の手順と操作が異なる場合があります。

あらかじめ M4650PX.ppd を使用して、システムにプリンタを追加しておいて下さい。プリンタをシステムに追加する方法については、「プリンタの追加」（p.86）をごらんください。

1 メインメニューから「オフィス」→「OpenOffice .org のプリンター設定」を選択します。

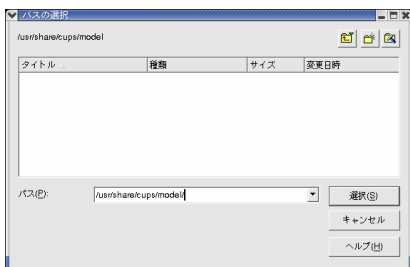
プリンタの管理ダイアログが表示されます。

2 ［新しいプリンタ］をクリックします。

プリンタの追加ダイアログが表示されます。

3 ［プリンタの追加］が選択されていることを確認して、［次へ］をクリックします。

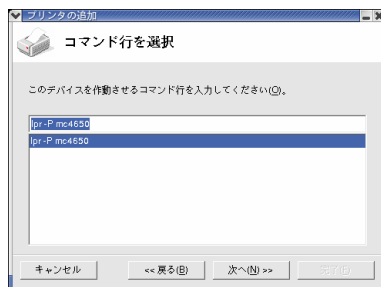
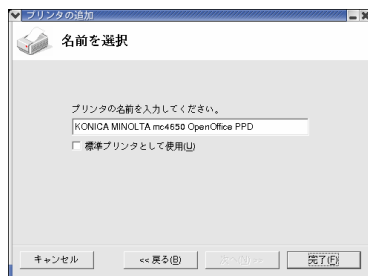
ドライバの選択ダイアログが表示されます。

4 ［インポート］をクリックします。

ドライバのインストールダイアログが表示されます。

5 ［検索 ...］をクリックします。

6 ドライバのディレクトリに“usr/share/cups/model/”と入力し、［選択］をクリックします。

7 「ドライバの選択」リストから、「KONICA MINOLTA mc4650 OpenOffice PPD」を選択し、［OK］をクリックします。

8 KONICA MINOLTA mc4650 OpenOffice PPD を選択して、［次へ］をクリックします。

9 リストに表示されるコマンドを選択し、［次へ］をクリックします。

10 プリンタ名を変更します。

11 ［完了］をクリックします。
プリンタの管理ダイアログに戻ります。

12 ［閉じる］をクリックします。

13 メインメニューから「オフィス」→「OpenOffice.org Writer」を選択します。

14 OpenOffice のメニューから［印刷］をクリックします。

印刷ダイアログが表示されます。

15 OpenOffice.orgのプリンター設定で登録したプリンタの名前を選択します。

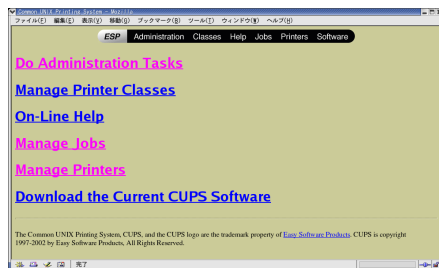
16［OK］をクリックします。

印刷ジョブの確認

ブラウザからプリントジョブを確認することができます。

1 ブラウザを起動します。

2 URL に“http://localhost:631”と入力します。

CUPS Administration Web Page が表示されます。

3 ［Manage Jobs］をクリックします。

現在の有効なジョブが表示されます。

印刷を終了したジョブを確認するときは、［Show Complete Jobs］をクリックします。

トラブルシューティング

症状	対応・処置
プリンタがサイズエラーもしくはタイプエラーで止まってしまう。	ペーパーサイズとメディアタイプなどが禁止されている組み合わせで送信されている可能性があります。はがきや OHP は普通紙モードでは印字できません。
カスタムペーパーサイズで印字できない。	カスタムペーパーサイズはドライバから直接印字できません。コマンドラインからのみの印字をサポートしています。以下の様に指定することによりデータを印字できます。lpr -P［プリンタ名］-o media=Custom.［WIDTH × LENGTH］［ファイル名］ 1. Custom.［WIDTH × LENGTH ］のフォーマット：Custom.150 × 200 mm、Custom.8 × 11 in、Custom.15 × 20 cm、Custom.612 × 782（postscript ポイント） 2. データのファイル形式は PS、PDF、JPEG が対応
OpenOffice やその他オフィス系アプリケーション（Kword など）で正しく印字できないことがある。	Linux 上のアプリケーションはアプリケーション自体が印字に関する設定を独自に持っています。これらの中には本プリンタでサポートされていない機能もあります。以下のように設定場所を使い分けてください。 ■ アプリケーションから設定する項目：用紙サイズ、オリエンテーション ■ プリンタドライバ GUI（kprinter）から設定する項目：用紙タイプ、トレイ、解像度指定など上記以外
Kword で Watermark が印字できない。	Kword のバグです。オーバーレイをご使用ください。

4

NetWare での使い方

NetWare による利用

プリンタコントローラは、以下の環境をサポートしています。

NetWare 環境でのネットワーク印刷方法

NetWare バージョン	使用するプロトコル	エミュレーション	サービスモード
NetWare 4.x	IPX	バインダリ /NDS	Pserver/Nprinter
NetWare 5.x/6	IPX	NDS	Pserver
	TCP/IP	NDPS（lpr）	

NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのリモートプリンタモードの場合

バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。

1 クライアントよりSupervisor権限でPserverを登録するNetWareサーバにログインします。

2 Pconsole を起動します。

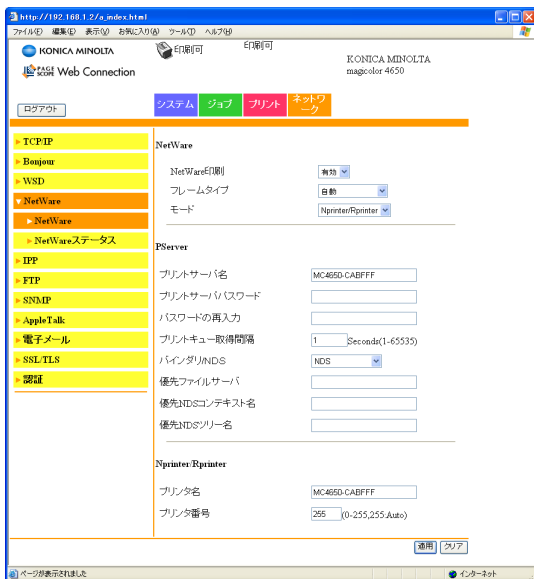
3 「利用可能な項目」から「クイックセットアップ」を選択し、［Enter］キーを押します。

4 「プリントサーバ名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。

5 ［Esc］キーを押し、Pconsole を終了します。

6 NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。

キューを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

7 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare」メニューを選択し、各項目を設定します。

– NetWare 印刷：　有効

– フレームタイプ：　自動（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）

– モード：　Nprinter/Rprinter

– プリンタ名：　プリンタ名を設定します。（初期値：MC4650-XXXXXX）

– プリンタ番号：　プリンタ番号（0 ～ 255）を設定します。255 を設定すると「自動」になります

8 プリンタの電源の再投入（オフ／オン）を行います。

9 NetWare Server のコンソールで、プリントサーバ画面を表示し、接続しているプリンタ 0 に、作成したプリンタが「ジョブの待機中」になっていることを確認してください。

NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのプリントサーバモードの場合

バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。

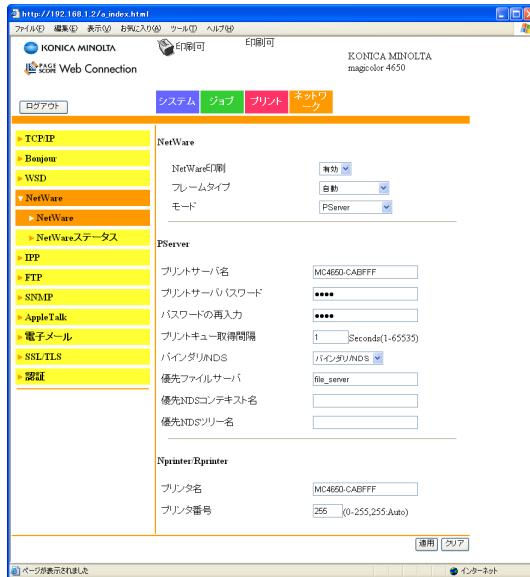
1 クライアントよりSupervisor権限でPserverを登録するNetWareサーバにログインします。

2 Pconsole を起動します。

3 「利用可能な項目」から「クイックセットアップ」を選択し、［Enter］キーを押します。

4 「プリントサーバ名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。

5 ［Esc］キーを押し、Pconsole を終了します。

6 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare」メニューを選択し、各項目を設定します。

- NetWare 印刷：　有効
- フレームタイプ：　自動（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
- モード：　PServer
- プリントサーバ名：　手順 4 で作成したプリントサーバ名
- プリントサーバパスワード：　NetWare Server 側で設定している場合のみ設定してください。
- プリントキュー取得間隔：　1（必要に応じて変更してください）
- バインダリ /NDS：　バインダリ /NDS
- 優先ファイルサーバ：　Pserver を接続するファイルサーバ名

7 プリンタの電源の再投入（オフ／オン）を行います。

8 NetWare Server のコンソールで、MONITOR.NLM をロードしてください。

9 接続情報を選択し、アクティブな接続欄で、作成した Pserver が接続されていることを確認してください。

NetWare 4.x リモートプリンタモード（NDS）の場合

1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。

2 NWadmin を起動します。

3 プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから「プリントサービスクイックセットアップ」を選択します。

4 「プリントサーバ名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。

キューを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

5 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare」メニューを選択し、各項目を設定します。

– NetWare 印刷：　有効
– フレームタイプ：　自動（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
– モード：　Nprinter/Rprinter
– プリンタ名：　プリンタ名を設定します。（初期値：MC4650-XXXXXX）
– プリンタ番号：　プリンタ番号（0 〜 255）を設定します。255 を設定すると「自動」になります。

6 プリンタの電源の再投入（オフ／オン）を行います。

7 NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。

8 NetWare Server のコンソールで、プリントサーバ画面を表示し、接続しているプリンタ 0 に、作成したプリンタが「ジョブの待機中」になっていることを確認してください。

NetWare 4.x/5.x/6 プリントサーバモード（NDS）の場合

プリントサーバモードを使用する場合は、NetWare サーバに IPX プロトコルがロードされている必要があります。

1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。

2 NWadmin を起動します。

3 プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから「プリントサービスクイックセットアップ（非 NDPS）」を選択します。

4 「プリントサーバ名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、［作成］をクリックします。

キューを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

5 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare」メニューを選択し、各項目を設定します。

- NetWare 印刷： 有効
- フレームタイプ： 自動（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
- モード： PServer
- プリントサーバ名： 手順 4 で作成したプリントサーバ名
- プリントサーバパスワード： NetWare Server 側で設定している場合のみ設定してください。
- プリントキュー取得間隔： 1（必要に応じて変更してください）
- バインダリ /NDS： NDS
- 優先 NDS コンテキスト名： Pserver を接続するコンテキスト名
- 優先 NDS ツリー名： Pserver がログインするツリー名

6 プリンタの電源の再投入（オフ／オン）を行います。

7 NetWare サーバのコンソールで、MONITOR.NLM をロードしてください。

8 接続情報を選択し、アクティブな接続欄で、作成した Pserver が接続していることを確認してください。

NetWare 5.x/6 Novell Distributed Print Service（NDPS）の場合

NDPS に関する設定を行う前に、NDPS ブローカと NDPS マネージャが作成、ロードされていることを確認してください。

NetWare サーバで TCP/IP プロトコルが設定されていることを確認し、本機に IP アドレスが設定され、本機が起動していることを確認して、作業を行ってください。

1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。

2 NWAdmin を起動します。

3 プリンタエージェントを作成する「組織」、「部門」コンテナを右クリックし、作成より、「NDPS プリンタ」を選択します。

4 「NDPS プリンタ名」欄に、「プリンタ名」を入力します。

5 「プリンタエージェントのソース」欄で「新規プリンタエージェントを作成する」を選択し、「作成」をクリックします。

6 プリンタエージェント名を確認し、「NDPS マネージャ名」欄で、NDPS マネージャをブラウズし、登録します。

7 「ゲートウェイタイプ」で、「Novell プリンタゲートウェイ」を選択し、登録します。

8 「Novell NDPS の設定」ウインドウで、プリンタ「(なし)」、ポートハンドラ「Novell ポートハンドラ」を選択し、登録します。

9 「接続タイプ」で、「リモート（IP 上で LPR)」を選択し、登録します。

10 本機に設定した IP アドレスをホストアドレスに、プリンタ名に「Print」と入力して「完了」を押して登録します。

11 プリンタドライバの登録画面が現れますが、各 OS とも「なし」を選択して登録を終了してください。

プリンタを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、キューの割当ては、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

NetWare サーバを使用するときのクライアント（Windows）の設定

1 Windows 2000 の場合は、「スタート」をクリックし、「設定」—「プリンタ」をクリックします。
Windows Vista の場合は、「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。
Windows XP/Server 2003 の場合は、「スタート」をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。

「スタート」メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「プリンタとその他のハードウェア」－「プリンタと FAX」をクリックします。

2 Windows 2000/Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。
Windows Vista の場合は、ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。
Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

3 印刷先ポートの設定で、ネットワークを参照し、作成したキュー名（または NDPS プリンタ名）を指定します。

4 プリンタモデルの一覧で、使用する OS やプリンタドライバに応じて、CD-ROM 内のプリンタドライバのあるフォルダ
（例：Drivers¥Windows¥color¥Drivers¥Win_x86¥PS¥Japanese）を指定します。

5 画面の指示にしたがってインストールを完了します。

5 プリンタユーティリティのインストール

プリンタユーティリティのインストール

インストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

インストールを行う前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

プリンタユーティリティをインストールする手順を説明します。

ユーザツール

- Status Monitor
- PageScope Direct Print

設定・管理ツール

- PageScope Plug and Print
- PageScope Net Care
- PageScope Network Setup

運用ツール

- Download Manager

1 Utilities and Documentation CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブに入れます。

2 ツールフォルダを選択します。

3 インストールしたい種類のツールをクリックします。

4 ［インストール］をクリックします。

前のページに戻るには、［戻る］ボタンをクリックします。

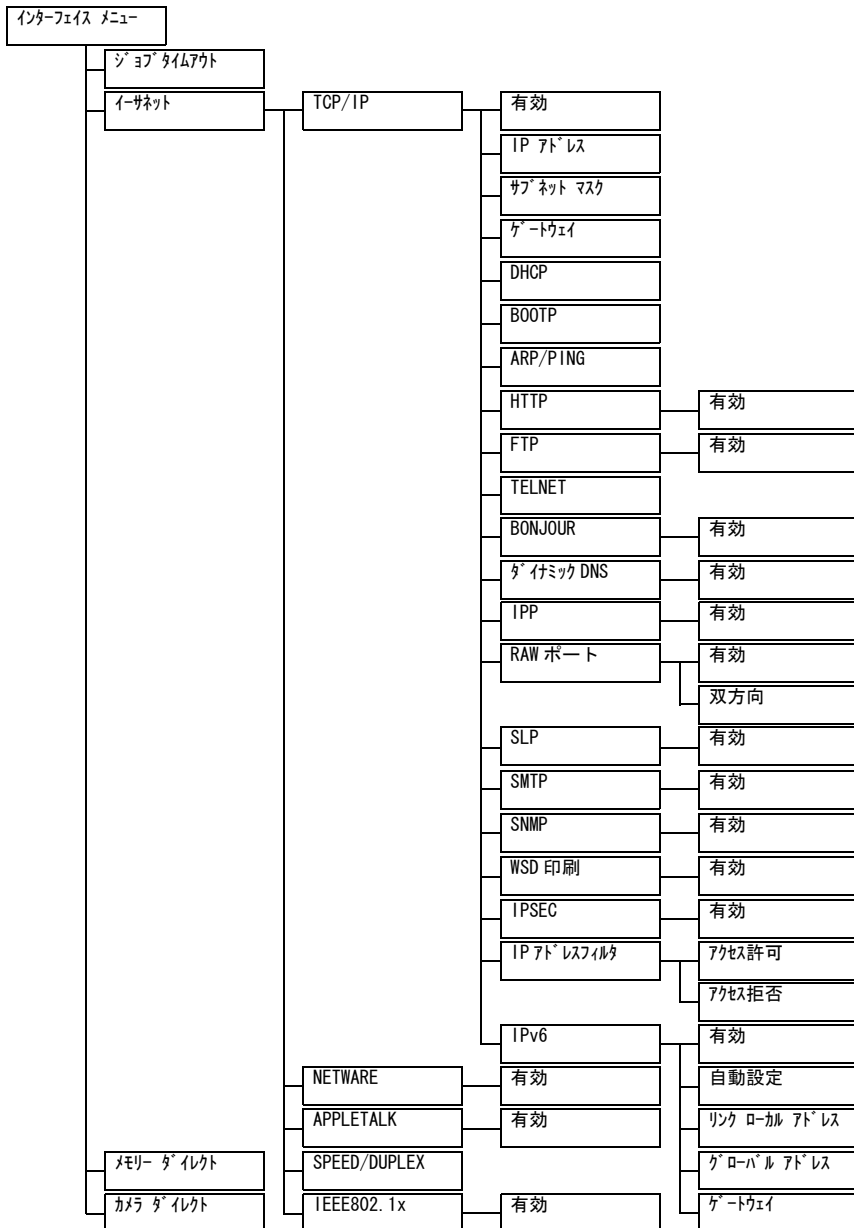
トップページに戻るには、［トップメニューへ］ボタンをクリックします。

5 画面の指示に従って、インストールを進めます。

6 インストールが完了したら、Utilities and Documentation CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブから取り出し、安全な場所に保管してください。

イーサネット設定メニューについて

イーサネットメニュー

設定メニューの構成

イーサネットメニューの表示

プリンタの操作パネルで以下のキー操作を行い、プリンタのイーサネットメニューの設定項目を表示します。このメニューでは、設定可能なネットワークの項目をすべて表示できます。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
＊ メニュー 選択 ↵	保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ もしくは、オプションのハードディスクキットが装着されていない場合： 印刷ﾒﾆｭｰ
▽	ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ
＊ メニュー 選択 ↵	ｼﾞｮﾌﾞﾀｲﾑｱｳﾄ
▽	ｲｰｻﾈｯﾄ
＊ メニュー 選択 ↵	TCP/IP

以下のイーサネットの設定を行うと、プリンタが自動的に再起動します。

- TCP/IP — 有効
- DHCP（「ｵﾌ」から「ｵﾝ」に変更した場合）
- BOOTP（「ｵﾌ」から「ｵﾝ」に変更した場合）
- ARP/PING（「ｵﾌ」から「ｵﾝ」に変更した場合）
- IPP — 有効
- SLP — 有効
- SNMP — 有効
- IPv6 — 有効
- IPv6 — 自動設定（「ｲｲｴ」から「ﾊｲ」に変更した場合）
- NETWARE — 有効
- IEEE802.1x — 有効

イーサネットメニューの設定項目

プリンタがネットワーク接続されている場合は、以下の項目を設定する必要があります。各設定項目の詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。

手動で IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する場合は、はじめに DHCP の設定をオフにしてください。

TCP/IP

有効

目的	TCP/IP を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、TCP/IP が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、TCP/IP が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

IP アドレス

目的	本プリンタのネットワーク上の IP アドレスを設定します。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	000.000.000.000

サブネット マスク

目的	ネットワークのサブネットマスク値を設定します。サブネットマスクを使用して、プリンタの利用可能な範囲を制限することができます（例えば、部署ごとに範囲を設定できます）。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	000.000.000.000

ゲートウェイ

目的	ネットワーク上にルータ／ゲートウェイがあり、サブネットを越えた先のネットワーク上のユーザからもプリンタを利用できるようにする場合に、ルータ／ゲートウェイのアドレスを設定します。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	000.000.000.000

DHCP

目的	ネットワーク内に DHCP サーバがある場合に、DHCP サーバから自動的に IP アドレスを取得、また他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。
設定値	ｵﾝ ｵﾌ
初期値	ｵﾝ

BOOTP

目的	ネットワーク内に BOOTP サーバがある場合に、BOOTP サーバから自動的に IP アドレスを取得、または他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。
設定値	ｵﾝ ｵﾌ
初期値	ｵﾌ

ARP/PING

目的	IP アドレスを自動的に取得するかどうかを設定します。 「ｵﾝ」に設定すると、IP アドレスを自動的に取得します。 「ｵﾌ」に設定すると、IP アドレスを自動的に取得しません。
設定値	ｵﾝ ｵﾌ
初期値	ｵﾌ

HTTP — 有効

目的	HTTP を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、HTTP が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると HTTP が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

FTP — 有効

目的	FTP を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、FTP が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、FTP が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

TELNET

目的	Telnet による通信を有効にするかどうかを選択します。 有効を選択すると、Telnet による通信が有効になります。 無効を選択すると、Telnet による通信が無効になります。
設定値	有効 無効
初期値	有効

BONJOUR — 有効

目的	Bonjour を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、Bonjour が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、Bonjour が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

ダイナミック DNS — 有効

目的	ダイナミック DNS を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、ダイナミック DNS が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、ダイナミック DNS が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ｲｲｴ

IPP — 有効

目的	IPP を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、IPP が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、IPP が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

RAW ポート — 有効

目的	Raw ポートを有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、Raw ポートが有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、Raw ポートが無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

RAW ポート — 双方向

目的	Raw ポートを使用した通信を有効にするかどうかを設定します。 「ｵﾝ」に設定すると Raw ポートを使用した通信が有効になります。 「ｵﾌ」に設定すると、Raw ポートを使用した通信が無効になります。
設定値	ｵﾝ ｵﾌ
初期値	ｵﾌ

SLP — 有効

目的	SLP を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、SLP が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、SLP が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

SMTP — 有効

目的	SMTP を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、SMTP が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、SMTP が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

SNMP — 有効

目的	SNMP を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、SNMP が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、SNMP が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

WSD 印刷 — 有効

目的	WSD 印刷を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、WSD 印刷が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、WSD 印刷が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

IPSEC — 有効

目的	IPsec を有効にするかどうかを設定します。. 「ﾊｲ」に設定すると、IPsec が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、IPsec が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ｲｲｴ

IP アドレスフィルタ — アクセス許可

目的	IP アドレスフィルタを有効にするかどうかを設定します。 「有効」に設定すると、IP アドレスフィルタ（アクセス拒否）が有効になります。 「無効」に設定すると、IP アドレスフィルタ（アクセス拒否）が無効になります。
設定値	有効 無効
初期値	無効

IP アドレスフィルタ — アクセス拒否

目的	IP アドレスフィルタを有効にするかどうかを設定します。 「有効」に設定すると、IP アドレスフィルタ（アクセス拒否）が有効になります。 「無効」に設定すると、IP アドレスフィルタ（アクセス拒否）が無効になります。
設定値	有効 無効
初期値	無効

IPv6 — 有効

目的	IPv6 アドレスを有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、IPv6 が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、IPv6 が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

IPv6 — 自動設定

目的	IPv6 アドレスの自動設定を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、IPv6 の自動設定が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、IPv6 の自動設定が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

IPv6 — リンクローカルアドレス

目的	リンクローカルアドレスが表示されます。

IPv6 — グローバルアドレス

目的	グローバルアドレスが表示されます。

IPv6 — ゲートウェイ

目的	ゲートウェイが表示されます。

NETWARE

有効

目的	NetWare を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、NetWare が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、NetWare が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ｲｲｴ

APPLETALK

有効

目的	AppleTalk を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、AppleTalk が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、AppleTalk が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

SPEED/DUPLEX

目的	ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式の設定ができます。
設定値	自動 10BASE FULL 10BASE HALF 100BASE FULL 100BASE HALF 1000BASE FULL
初期値	自動

IEEE802.1X

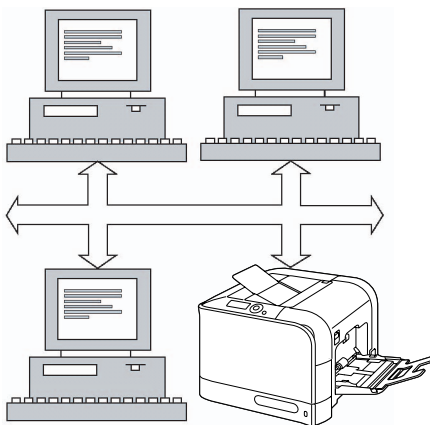
目的	IEEE802.1x を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、IEEE802.1x が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、IEEE802.1x が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ｲｲｴ

ネットワーク印刷

ネットワーク接続

概念図

プリンタを TCP/IP ネットワークに接続するには、内部ネットワークアドレスをプリンタに設定しておく必要があります。

多くの場合、他で使用されていない IP アドレスのみを入力します。ただし、ネットワーク環境によっては、サブネットマスク／ゲートウェイ（ルータ）アドレスも入力する必要があります。

接続方法

イーサネット接続の場合

標準イーサネットインターフェースは RJ45 コネクタで、伝送速度が 10 ～ 1000 メガビット／秒（Mbit/s）です。

プリンタをイーサネットネットワークに接続するときは、プリンタの IP（Internet Protocol）アドレスの設定方法によって、操作手順が異なります。プリンタの工場出荷時には、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが設定されています。

- IP アドレス：TCP/IP ネットワーク上で各デバイスを識別する固有の値
- サブネットマスク：IP アドレスが属するサブネットを判断するために使用されるフィルタ
- ゲートウェイ：サブネットを越えて通信する場合に最初に経由する、ネットワーク上のノード（機器）

ネットワーク上にある各コンピュータとプリンタの IP アドレスは固有のアドレスでなければならないため、通常プリンタの初期設定のアドレスを変更して、そのネットワークや周りのネットワーク上にある他の機器の IP アドレスとコンフリクト（競合）しないようにする必要があります。2 種類の方法のいずれかでその変更を行うことができます。それぞれの方法について、以下に詳しく説明します。

- DHCP を使用する場合
- アドレスを手動設定する場合

DHCP を使用する場合

お使いのネットワークで DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使用している場合は、プリンタの電源をオンにすると、DHCP サーバによってプリンタの IP アドレスが自動的に割り当てられます。（DHCP の説明については、「ネットワーク印刷」（p.132）を参照してください。）

プリンタの IP アドレスが自動的に設定されない場合は、プリンタの設定で DHCP が使用可能になっているかを確認してください（印刷ﾒﾆｭｰ － 設定ﾘｽﾄ）。DHCP が使用可能になっていない場合は、「ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — DHCP」メニューで「ｵﾝ」を選択してください。

1 プリンタをネットワークに接続します。

イーサネットケーブルのコネクタ（RJ45）を、プリンタのインターフェースパネルのイーサネットポートに差し込んで、プリンタをネットワークに接続します。

2 コンピュータとプリンタの電源をオンにします。

3 プリンタのメッセージ画面に「印刷可」と表示されたら、設定リストページを印刷し、IP アドレスが設定されているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	印刷可
＊ メニュー 選択 ↵	保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ もしくは、オプションのハードディスクキットが装着されていない場合： 印刷ﾒﾆｭｰ
▽	印刷ﾒﾆｭｰ
＊ メニュー 選択 ↵	設定ﾘｽﾄ
＊ メニュー 選択 ↵	印刷
＊ メニュー 選択 ↵	

4 プリンタドライバをインストールします。

DHCP サーバに接続できない場合、169.254.0.0 から 169.254.255.255 の範囲で、IP アドレスが自動的に設定されます。

アドレスを手動設定する場合

以下の方法で、プリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定変更することができます。（詳しくは、第 6 章 " イーサネット設定メニューについて " を参照してください。）

手動で IP アドレスを設定する場合は、「ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — DHCP」、「ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — BOOTP」、「ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — ARP/PING」で「ｵﾌ」を選択してください。
また、IP アドレスを変更した場合は、あらたにポートを追加するか、プリンタドライバを再インストールしてください。

ご注意

プリンタの IP アドレスを変更する場合は、必ずネットワーク管理者に連絡してください。

1 コンピュータとプリンタの電源をオンにします。

2 プリンタのメッセージ画面に「印刷可」と表示されたら、IP アドレスの設定を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	印刷可
* メニュー選択 ↵	保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ もしくは、オプションのハードディスクキットが装着されていない場合： 印刷ﾒﾆｭｰ
▽	ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ
* メニュー選択 ↵	ｼﾞｮﾌﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ
▽	ｲｰｻﾈｯﾄ
* メニュー選択 ↵	TCP/IP
* メニュー選択 ↵	有効
▽	IP ｱﾄﾞﾚｽ
* メニュー選択 ↵	IP ｱﾄﾞﾚｽ 000.000.000.000
◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
* メニュー選択 ↵	IP ｱﾄﾞﾚｽ

3 サブネットマスクとゲートウェイを設定しない場合は、手順 5 にすすんでください。

サブネットマスクを設定せずにゲートウェイを設定する場合は、手順 4 にすすんでください。

サブネットマスクを設定する場合は、以下の操作を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
▽	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
＊ メニュー 選択 ↵	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ 000.000.000.000
◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 △ 、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
＊ メニュー 選択 ↵	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ

4 ゲートウェイを設定しない場合は、手順 5 にすすんでください。

ゲートウェイを設定する場合は、以下の操作を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
▽	ｹﾞｰﾄｳｪｲ
＊ メニュー 選択 ↵	ｹﾞｰﾄｳｪｲ 000.000.000.000
◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 △ 、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
＊ メニュー 選択 ↵	ｹﾞｰﾄｳｪｲ

5 設定変更を保存し、プリンタを印刷可能な状態に戻します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
キャンセル	キーを 4 回押します。

6 設定リストページを印刷し、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが正しく設定されているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	印刷可
＊ メニュー 選択	保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ もしくは、オプションのハードディスクキットが装着されていない場合： 印刷ﾒﾆｭｰ
▽	印刷ﾒﾆｭｰ
＊ メニュー 選択	設定ﾘｽﾄ
＊ メニュー 選択	印刷
＊ メニュー 選択	

7 プリンタドライバをインストールします。

ネットワーク印刷

ネットワーク印刷に関する用語

ここでは、ネットワーク印刷に関する用語を説明します。

- AppleTalk
- Bonjour
- BOOTP
- DDNS
- DHCP
- FTP
- HTTP
- IEEE802.1x
- IPP
- IPsec
- IPv6
- IPX/SPX
- LPD/LPR
- Port 9100
- SLP
- SMTP
- SNMP
- WSD プリント

本章では、これらのネットワーク印刷に関する用語と、IPP 印刷の方法について説明します。

AppleTalk

AppleTalk は、Apple 社の Macintosh で使用されている通信プロトコル群の総称です。

Bonjour

Bonjour は、ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Macintosh のネットワーク技術です。以前は Rendezvous と呼ばれていましたが、Mac OS X v10.4 から Bonjour と名称変更されました。

BOOTP

BOOTP（Bootstrap Protocol）は、ディスクレスクライアントが、自己の IP アドレス、ネットワーク上の BOOTP サーバの IP アドレス、
起動するためにメモリにロードするファイルを取得できるようにするインターネットプロトコルです。BOOTP により、クライアントは、ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブがなくても起動できるようになります。

DDNS（Dynamic DNS）

DDNS（Dynamic Domain Name System）は、動的に割り当てられる IP アドレスを、自動的に固定ドメインに割り当てる技術です。

近年、常時接続環境が整ってきたことにより、自宅のパソコンをインターネットに Web サーバとして公開しようとするユーザが増えてきました。ただ、インターネットサービスプロバイダから提供される IP アドレスは、接続のたびに変更される場合が多く、インターネットに公開するには不便でした。

DDNS サービスを利用することにより、常に固定のホスト名で自宅サーバにアクセスすることが可能になります。

DHCP

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）は、動的 IP アドレスをネットワーク上のデバイスに割り当てるプロトコルです。動的 IP アドレスを使用するため、デバイスはネットワークに接続するたびに異なる IP アドレスを取得することもあります。システムによっては、デバイスがネットワークに接続され続けていても IP アドレスが途中で変わることもあります。また、DHCP は固定 IP アドレスと動的 IP アドレスの両方が存在する環境にも対応しています。動的アドレスを使用すると、ソフトウェアが IP アドレスの情報を把握するため、ネットワーク管理者が IP アドレスの管理を行うよりも、ネットワーク管理が簡単になります。例えば、固有の IP アドレスを手動で割り当てる手間をかけずに、新しいデバイスをネットワークに追加することができます。

FTP

FTP（File Transfer Protocol）は、インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルです。

HTTP

HTTP（HyperText Transfer Protocol）は、ワールドワイドウェブ（WWW）で使用されている基礎となるプロトコルです。HTTP では、メッセージの書式、送信方法や、各種コマンドに対する Web サーバとブラウザの動作が規定されています。例えば、ブラウザで URL を入力すると、実際には、要求した Web ページの取得と送信を指示する HTTP コマンドがその Web サーバに送られます。

IEEE802.1x

LAN でのユーザ認証の方式を定めたプロトコルで、無線だけでなく有線で利用することもできます。RADIUS サーバ（認証サーバ）により認証を行い、認証に成功したユーザは通信を行うことができます。認証に失敗したユーザとの通信は行われません。

IPP

IPP（Internet Printing Protocol）は、インターネット経由での印刷を行うプロトコルです。IPP により、ユーザは、プリンタの機能の確認、プリンタへのプリントジョブの送信、プリンタやプリントジョブの状況確認、送信済みのプリントジョブのキャンセルが可能です。

IPP の使用方法についての詳細は、「IPP（Internet Printing Protocol）印刷」（p.137）を参照してください。

IPsec

TCP/IP で使用されているセキュリティー技術です。送信するパケットの暗号化や認証に関するプロトコルを決めることによって、セキュリティーを強化したサービス提供が可能となります。

IPv6

IPv6（Internet Protocol version 6）は、インターネットを使用する機器の増加に伴い、現在使用されている IPv4 に代わるものとして準備が進められてきたプロトコルです。IP アドレスが 128 ビット化され、セキュリティー機能が追加されています。

IPX/SPX

IPX/SPX（Internetwork Packet Exchange/Sequenced Packet Exchange）は、Novel 社により開発されたネットワークプロトコルです。TCP/IP が普及する以前の一般的な LAN プロトコルで、主に NetWare 環境で使用されていました。

LPD/LPR

LPD/LPR（Line Printer Daemon/Line Printer Request）は、TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコルです。もともと BSD UNIX 用に開発されましたが、一般のコンピュータでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっています。

Port 9100

ネットワーク経由で印刷をする場合、TCP/IP の port 番号 9100 を利用して raw データを送信することができます。

SLP

従来は、ネットワーク上のサービスの場所を確認するためには、利用したいサービスを提供しているコンピュータのホスト名やネットワークアドレスをユーザが入力する必要がありました。そのために多くの管理上の問題が発生しました。

ところが、SLP を使用して、いくつかのネットワークサービスを自動化することにより、プリンタなどのネットワークリソースを簡単に確認、利用できるようになりました。

SLP のユーザはネットワークのホスト名を把握しておく必要がなくなり、代わりに、利用したいサービスの内容のみを知っておくだけでよくなりました。さらに、SLP は利用したいサービスの URL を返すこともできます。

ユニキャスト、マルチキャスト、ブロードキャスト

SLP はユニキャストとマルチキャストに対応したプロトコルです。つまり、メッセージは一度に 1 エージェントに送信されるか（ユニキャスト）、受信可能な全エージェントに同時に送信されます（マルチキャスト）。ただし、マルチキャストはブロードキャストとは異なります。理論上は、ブロードキャストメッセージはネットワーク上のすべてのノード（機器）に届きます。マルチキャストメッセージはマルチキャストグループに入っているノード（機器）にしか届かないという点で、ブロードキャストとは異なります。

ネットワーク上のルータはほとんどブロードキャストデータを通過させません。つまり、サブネット上から発信されたブロードキャストはルーティングされないか、またはそのルータに接続された他のどのサブネットにも転送されません（ルータ側から見ると、1 つのサブネットは、ルータのポートに接続されたすべてのコンピュータになります）。

これに対し、マルチキャストはルータによって転送されます。あるグループから発信されたマルチキャストのデータは、そのグループ用のマルチキャストデータを受信可能なコンピュータが 1 台以上あるサブネットすべてに、ルータから転送されます。

SMTP

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）は、電子メールをやりとりするためのプロトコルです。

もともとはサーバ同士でメールをやり取りするために使われていましたが、現在は電子メールクライアントソフトウェアが、POP を使用してサーバにメールを送信するためにも利用されています。

SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）は、複雑なネットワークを管理するプロトコルの集合です。SNMP は、ネットワークのいろいろな場所にメッセージを送信して動作します。SNMP 対応のデバイス（エージェントと呼ばれます）は、そのデバイスに関するデータを MIB（Management Information Bases）に記録し、そのデータを SNMP リクエスタに返します。

WSD プリント

Windows Vista で搭載された Web サービス機能を使用した印刷方法です。Windows Vista では、Web サービス機能により、ネットワーク接続されたプリンタを自動的に検出して WSD プリンタとしてインストールします。印刷時に WSD プリンタを指定することで、通信に HTTP を使用して印刷できます。

IPP（Internet Printing Protocol）印刷

インストーラからの IPP ポートの追加

IPP 印刷を行うにはネットワークの設定が必要です。詳細は「接続方法」（p.127）、「IPP」（p.134）をごらんください。

1 Printer Driver CD-ROM を CD-ROM/DVD ドライブに入れます。

インストールプログラムが自動的に起動し、メインメニュー画面が表示されます。

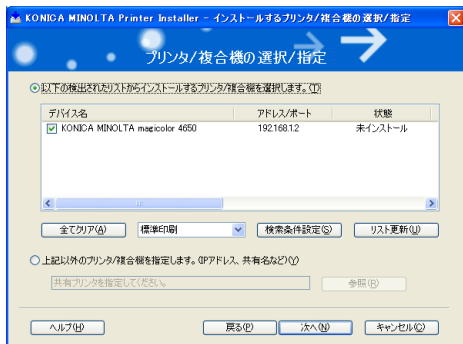
2 メインメニュー画面から「プリンタのインストール」をクリックします。

3 インストーラライセンス契約画面が表示されますので、内容をお読みください。［同意します］をクリックします。

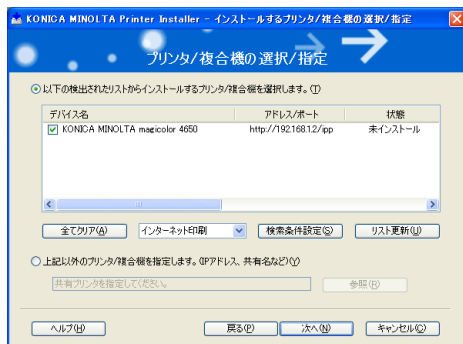
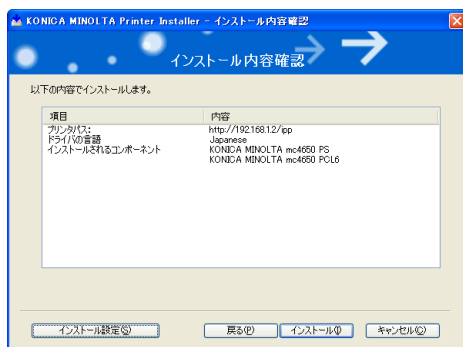
「同意しません」を選択した場合、メインメニュー画面に戻ります。

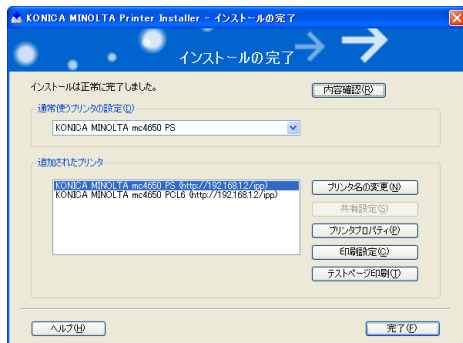
4 お読みください画面が表示されますので、内容を確認して［次へ］をクリックします。

5 「プリンタのインストール」を選択して［次へ］をクリックします。

6 プリンタが検出され、デバイスリストに表示されます。インストールしたいプリンタを選択します。

■ ［全てクリア］をクリックすると、リストに表示されているデバイスの選択（チェックマーク）をすべて解除します。

■ ［リスト更新］をクリックすると、検索されたプリンタの情報が最新のものに更新されます。

7 印刷方法のプルダウンリストから「インターネット印刷」を選択し、［次へ］をクリックします。

8 インストールする内容を確認し、［インストール］をクリックします。

「インストールされるコンポーネント」を変更したい場合は、［インストール設定］をクリックして変更してください。

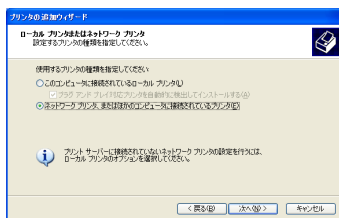
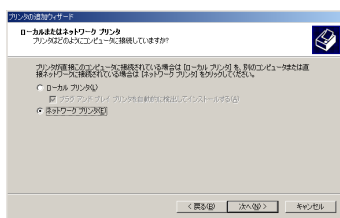
9 ［完了］をクリックします。

「プリンタの追加」ウィザードからの IPP ポートの追加（Windows XP/Server 2003/2000 の場合）

■ Windows XP Home Edition の場合：［スタート］ボタンをクリックし、「コントロールパネル」から「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」を選択します。次に「プリンタのインストール」をクリックします。

■ Windows XP Professional/Server 2003 の場合：［スタート］ボタンをクリックし、「プリンタと FAX」を選択します。次に「プリンタのインストール」をクリックします。

■ Windows 2000 の場合：［スタート］ボタンをクリックし、「設定」から「プリンタ」を選択します。次に「プリンタの追加」をクリックします。

1 2 番目に表示される画面で「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」（Windows XP/Server 2003 の場合）、または「ネットワーク プリンタ」（Windows 2000 の場合）を選択し、［次へ］をクリックします。

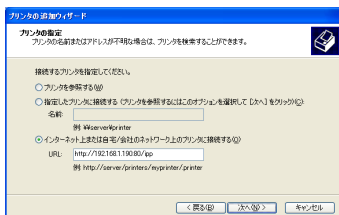
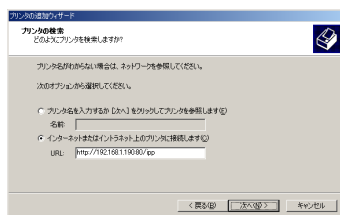
Windows XP/Server 2003

Windows 2000

2 次に表示される画面で、「URL」に以下のいずれかの形式でプリンタのネットワークパス名を入力し、［次へ］をクリックします。

■ http://IP アドレス /ipp

■ http://IP アドレス :80/ipp

■ http://IP アドレス :631/ipp

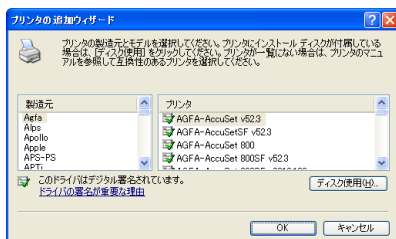
Windows XP/Server 2003

Windows 2000

システムがプリンタに接続できない場合、以下のメッセージが表示されます。

- Windows XP/Server 2003 :「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報を参照するには、[ヘルプ] をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックして前の画面に戻り、有効なパス名を入力しなおしてください。
- Windows 2000 :「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報については [ヘルプ] をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックして前の画面に戻り、有効なパス名を入力しなおしてください。

3 Windows XP/Server 2003 の場合 : 手順 4 にすすんでください。

Windows 2000 の場合 : 手順 2 で有効なパス名を入力すると、「KONICA MINOLTA magicolor 4650 プリンタが接続されているサーバーに正しいプリンタドライバがインストールされていません。ローカルコンピュータにドライバをインストールする場合は [OK] をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。これはプリンタドライバがまだインストールされていないためです。[OK] をクリックします。

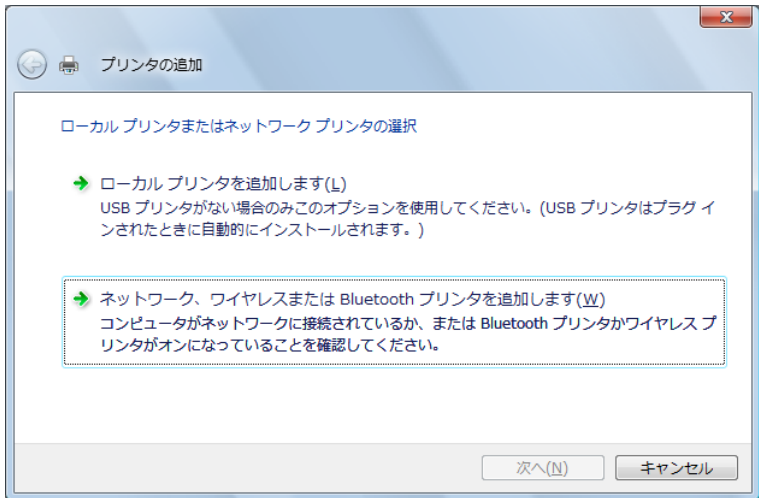
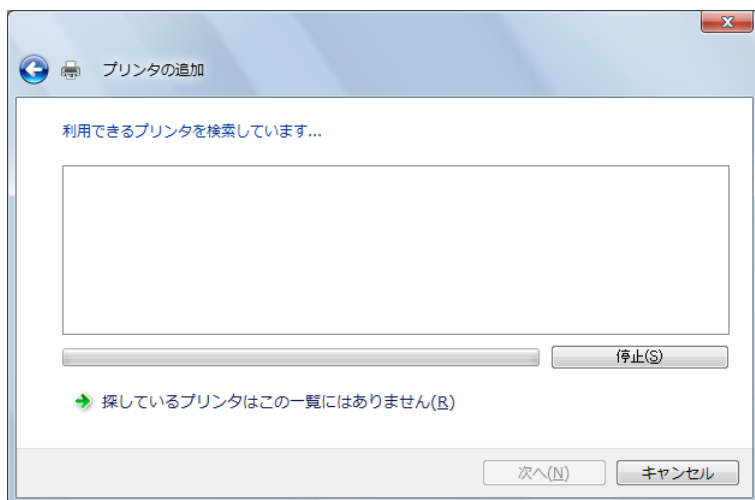
4 [ディスク使用] をクリックし、CD-ROM 内のプリンタドライバファイルがあるフォルダ
(例 : Drivers¥Windows¥color¥Drivers¥Win_x86¥PS¥Japanese) を指定し、[OK] をクリックします。

5 プリンタドライバのインストールを完了します。

「プリンタの追加」ウィザードからの IPP ポートの追加（Windows Vista の場合）

1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

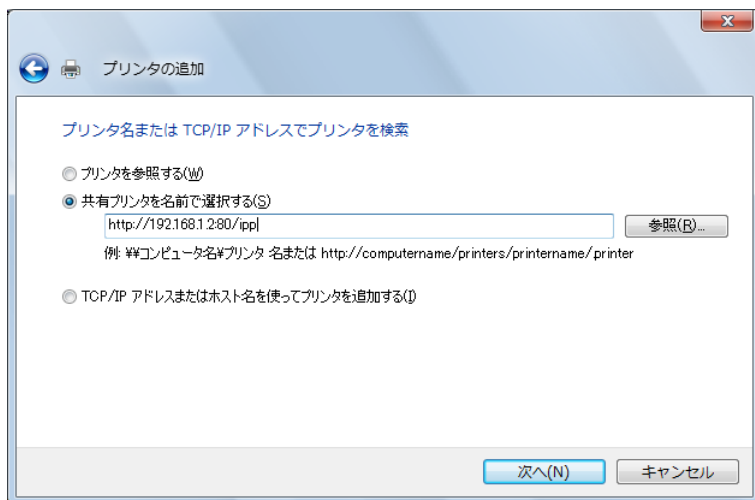
2 ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。

「プリンタの追加」が表示されます。

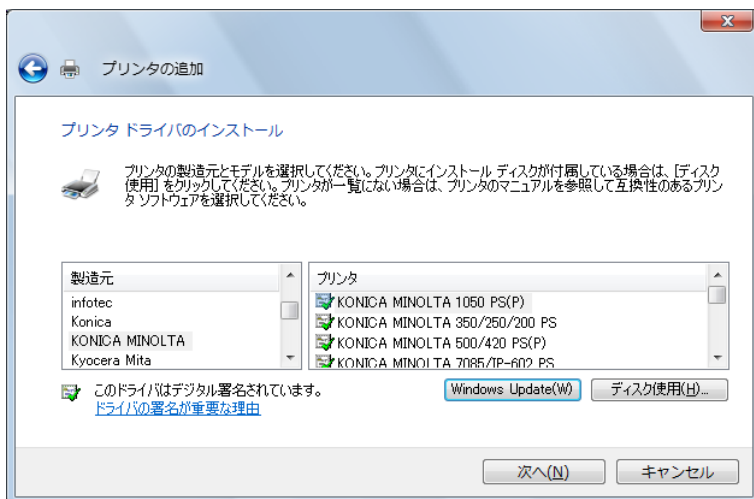
3 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。

4 「探しているプリンタはこの一覧にはありません」をクリックします。

5 次に表示される画面で、「共有プリンタを名前で選択する」に以下のいずれかの形式でプリンタのネットワークパス名を入力し、［次へ］をクリックします。

■ http://IP アドレス /ipp

■ http://IP アドレス :80/ipp

■ http://IP アドレス :631/ipp

プリンタへ接続できなかった場合、以下のメッセージが表示されます。

■ 「プリンタへ接続できませんでした。名前が正しく入力されていて、プリンタがネットワークに接続されていることを確認してください。」

6 ［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 内のプリンタドライバファイルがあるフォルダ
（例：Drivers¥Windows¥color¥Drivers¥Win_x86¥PS¥Japanese）を指定し、［次へ］をクリックします。

7 プリンタドライバのインストールを完了します。

Web サービスプリント

Windows Vista では、ネットワーク上にある Web サービスプリント対応のプリンタを検索してインストールできます。

ネットワークウィンドウからのインストール

プリンタドライバのインストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

プリンタドライバのインストールを行う前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、［許可］をクリックします。

Web サービスプリントを行うにはネットワークの設定が必要です。詳細は「接続方法」（p.127）、「WSD プリント」（p.136）をごらんください。

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット」を開き、「ファイルの共有の設定」を選びます。

2 「ネットワーク探索」が有効になっていることを確認します。

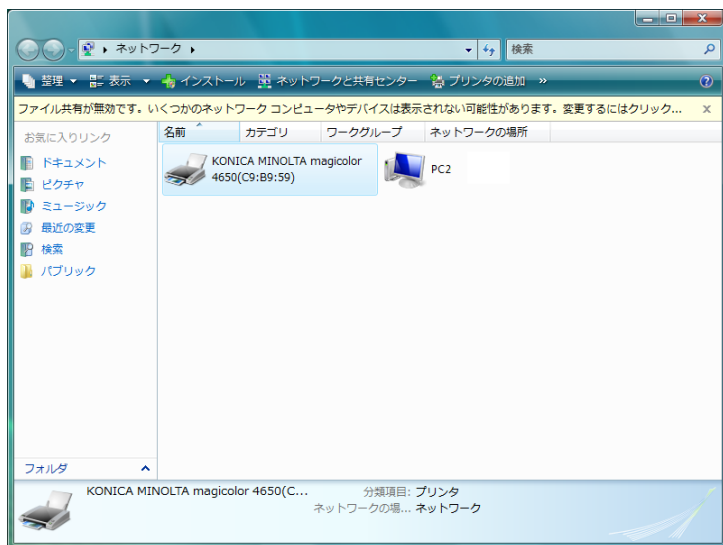
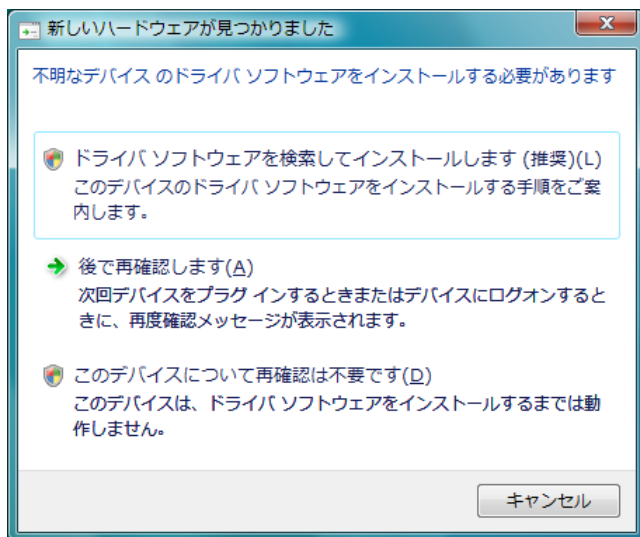
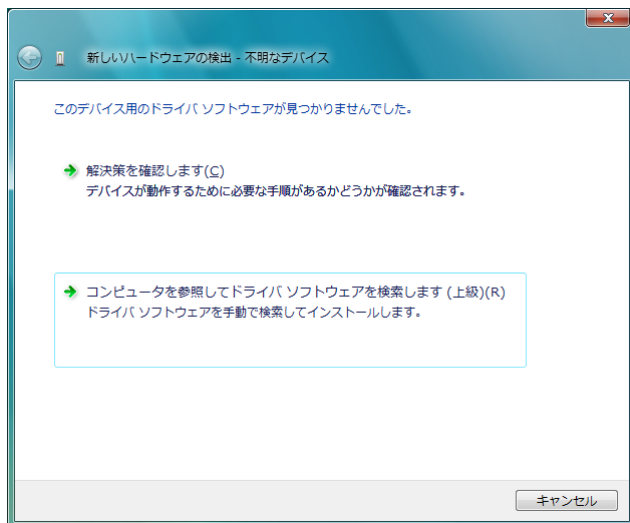
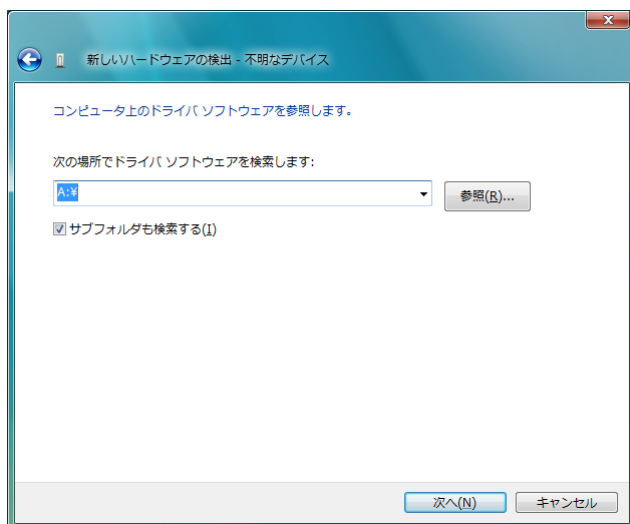
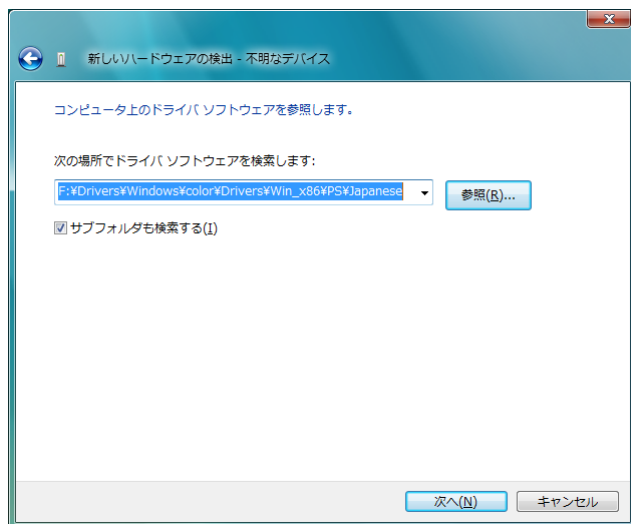
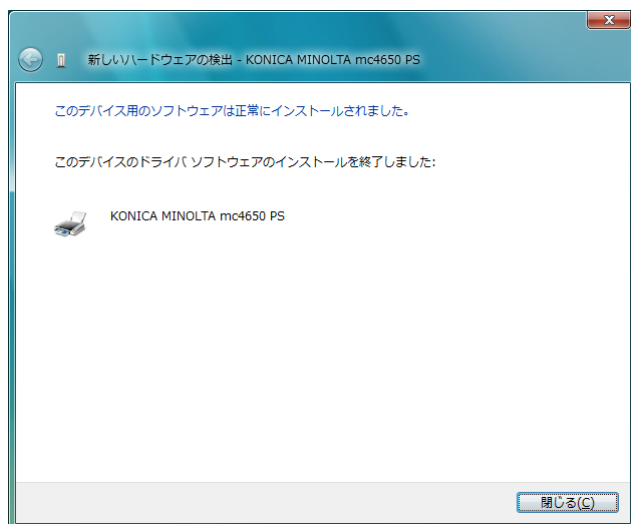
3 Printer Driver CD-ROM を CD-ROM/DVD ドライブに入れます。

インストールプログラムが自動的に起動し、メインメニュー画面が表示されます。

4 インストールプログラムを終了します。

5 ［スタート］をクリックして、「ネットワーク」をクリックします。

「ネットワーク」ウィンドウが開き、接続されている PC とデバイスが検索されます。

6 本機のデバイス名を選択し、ツールバーの「インストール」をクリックします。

7 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」をクリックします。

8 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」をクリックします。

9 ［参照］をクリックし、CD-ROM 内のプリンタドライバファイルがあるフォルダ
（例：Drivers¥Windows¥color¥Drivers¥Win_x86¥PS¥Japanese）を指定して、［OK］をクリックします。

10 ［次へ］をクリックします。

11 ［閉じる］をクリックします。

「プリンタの追加」ウィザードからのインストール

プリンタドライバのインストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

プリンタドライバのインストールを行う前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、[許可] をクリックします。

Web サービスプリントを行うにはネットワークの設定が必要です。詳細は「接続方法」(p.127)、「WSD プリント」(p.136) をごらんください。

1 [スタート] メニューから「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット」を開き、「ファイルの共有の設定」を選びます。

2 「ネットワーク探索」が有効になっていることを確認します。

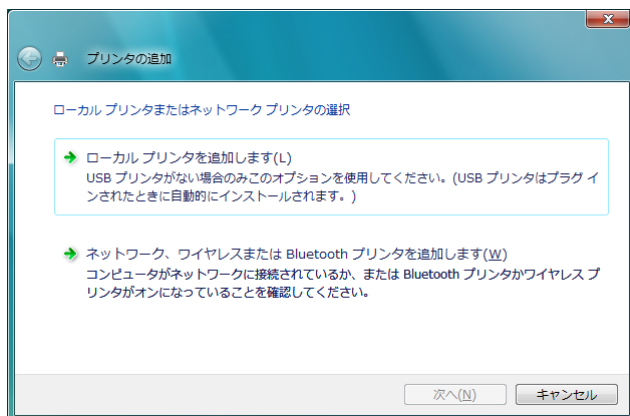
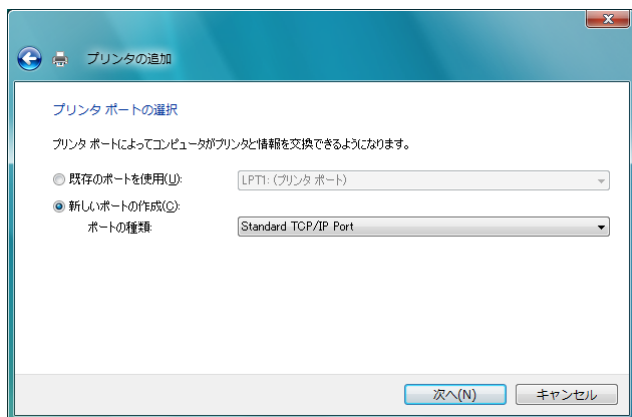
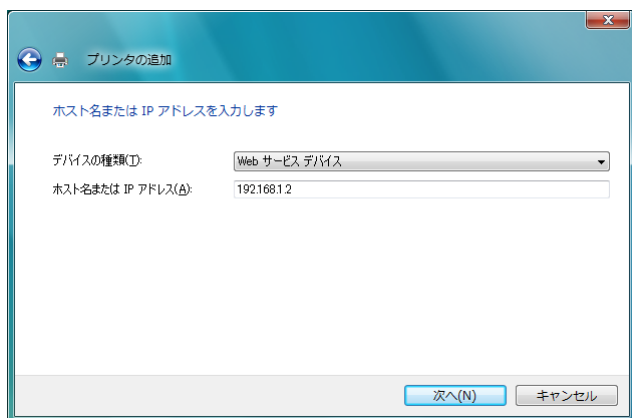
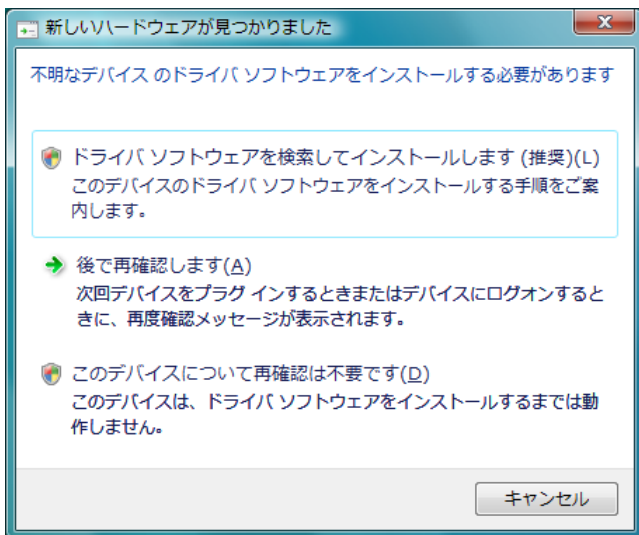
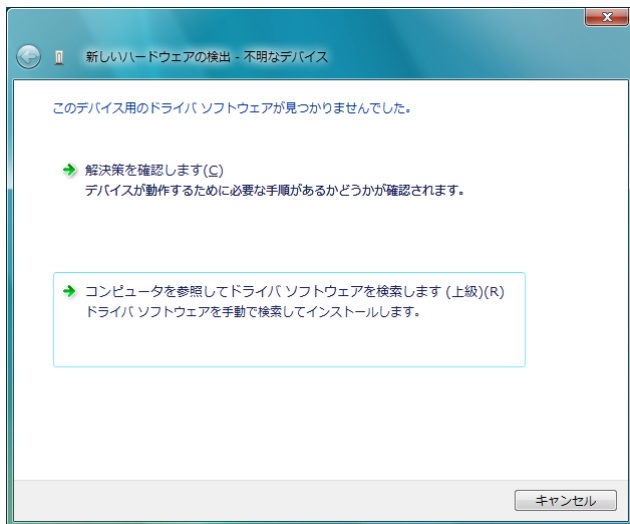
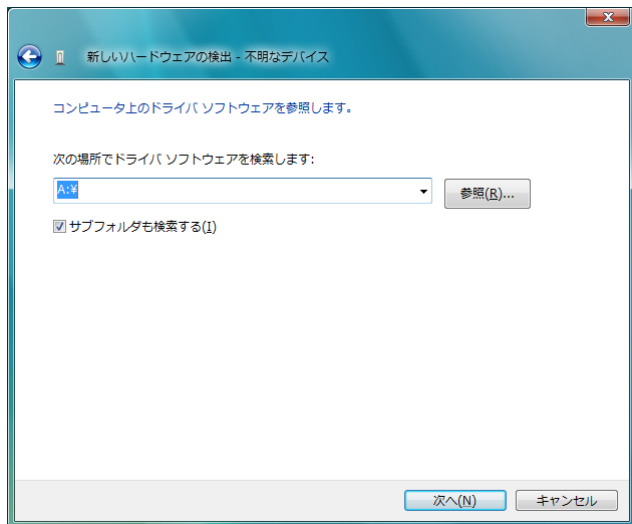
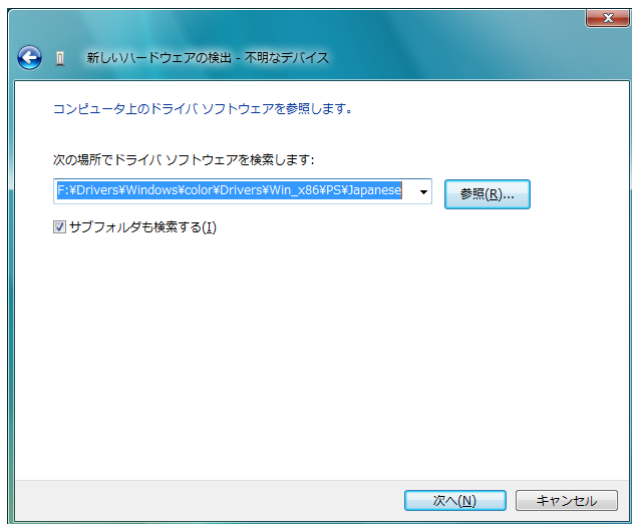
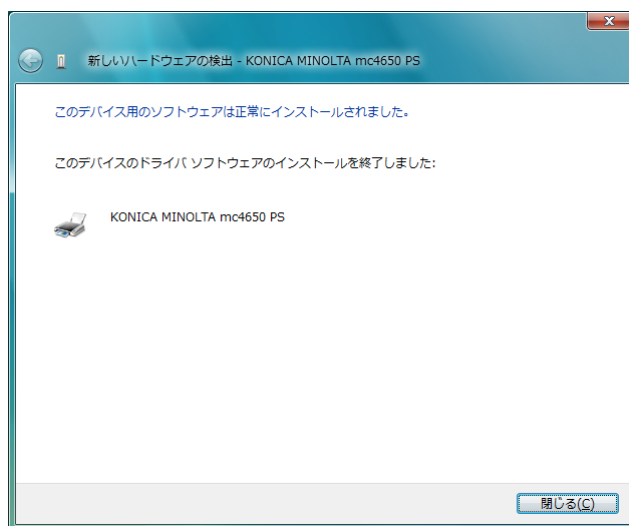
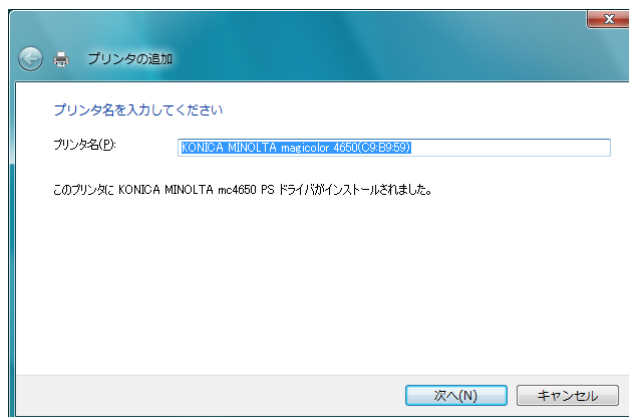
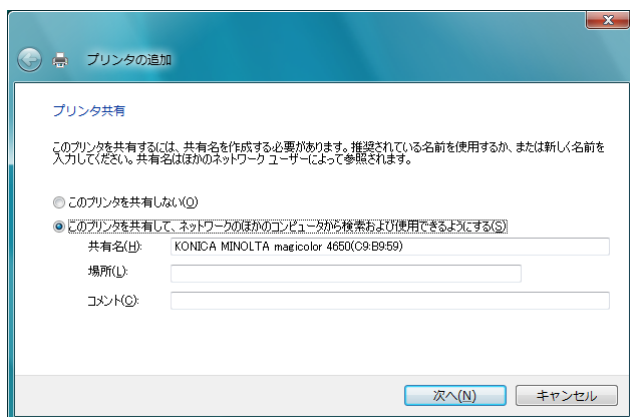
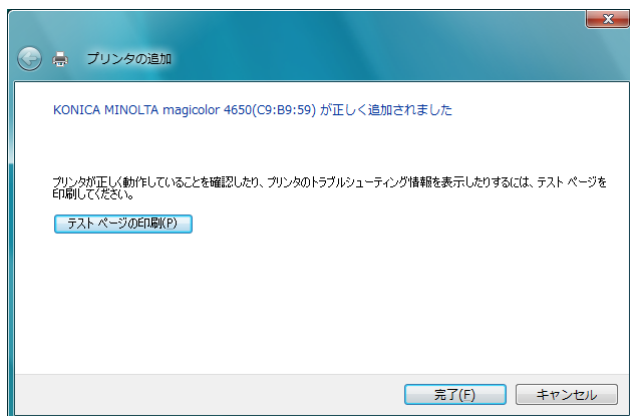
3 Printer Driver CD-ROM を CD-ROM/DVD ドライブに入れます。

インストールプログラムが自動的に起動し、メインメニュー画面が表示されます。

4 インストールプログラムを終了します。

5 [スタート] メニューから、[コントロールパネル] － [ハードウェアとサウンド] を開き、[プリンタ] を選びます。

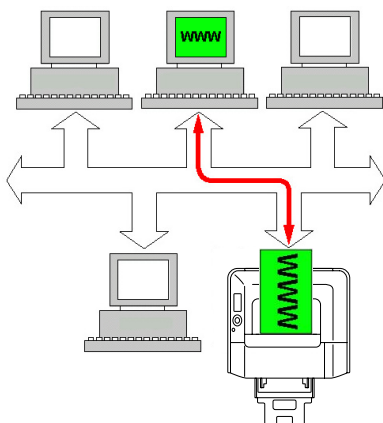
6 「プリンタのインストール」をクリックします。

7 「ローカルプリンタを追加します」をクリックします。

8 「新しいポートの作成」にチェックを付け、「Standard TCP/IP Port」を選択して、［次へ］をクリックします。

9 デバイスの種類より「Web サービスデバイス」を選択し、プリンタの IP アドレスを入力して、［次へ］をクリックします。

10 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」をクリックします。

11 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」をクリックします。

12 ［参照］をクリックし、CD-ROM 内のプリンタドライバファイルがあるフォルダ
（例：Drivers¥Windows¥color¥Drivers¥Win_x86¥PS¥Japanese）を指定して、［OK］をクリックします。

13 ［次へ］をクリックします。

14 ［閉じる］をクリックします。

15 必要に応じてプリンタ名を変更し、［次へ］をクリックします。

16 プリンタを共有するかどうかを設定し、[次へ] をクリックします。

17 [完了] をクリックします。

症状	対応処置
サーバが Windows Server 2003/XP/Vista/2000 で、クライアントが Windows Server 2003/XP/Vista/2000 のとき、ポイントアンドプリントでクライアント側の一部の機能が使えない。	クライアント側に直接プリンタドライバをインストールしてください。

PageScope Web Connection の使い方

PageScope Web Connection について

PageScope Web Connection は、プリンタに内蔵されている HTTP（Hyper-Text Transfer Protocol）ベースの Web ページで、Web ブラウザを使用してアクセスすることができます。

PageScope Web Connection を使用すると、プリンタのステータス（状況）や、プリンタで頻繁に使用する設定内容をすぐに確認することができます。どなたでも Web ブラウザを使用してネットワーク上のプリンタにアクセスすることができます。また、パスワードを正しく入力すれば、そのコンピュータ上でプリンタの設定を変更することができます。

管理者からパスワードを知らされていないユーザは、設定内容を確認できますが、設定内容を変更できません。

表示言語

PageScope Web Connection 上で表示される言語は、プリンタの操作パネルで設定できます。表示言語の設定の詳細については、ユーザーズガイド（Utilities and Documentation CD-ROM 内に収録される PDF マニュアル）をごらんください。

また、PageScope Web Connection の「言語」プルダウンリストから言語を選択することもできます。詳しくは、「言語設定」（p.164）をごらんください。

動作環境

PageScope Web Connection を使用するには、以下の環境が必要です。

- Windows Vista/XP/Server 2003/2000、Mac OS X、Linux
- Microsoft Internet Explorer バージョン 5.5 以降
  Netscape Navigator バージョン 7.1 以降

  インターネットへ接続する必要はありません。

- お使いのコンピュータにTCP/IP接続ソフトウェアがインストールされていること（PageScope Web Connection で使用されます）
- お使いのコンピュータとプリンタの両方がネットワークに接続されていること

   ローカル接続（USB もしくはパラレル接続）の場合は、PageScope Web Connection にアクセスできません。

プリンタ内蔵 Web ページの設定

プリンタ内蔵 Web ページをネットワーク上で動作させるためには、以下の 2 つの設定が必要です。

■ プリンタの名前とアドレスを設定します。

■ Web ブラウザ上で「プロキシなし」の設定を行います。

プリンタ名の設定

プリンタの内蔵 Web ページには、以下の 2 種類の方法でアクセスできます。

ネットワークが WINS をサポートしている場合は、WINS 経由でプリンタ名を指定することもできます。

■ プリンタに割り当てられた名前を使用する

プリンタ名はコンピュータ内の IP ホストテーブル（ファイル名は "hosts"）で設定されており、通常システム管理者によって割り当てられます（例 : magicolor 4650）。IP アドレスよりもプリンタ名を使用する方が扱いやすい場合もあります。

コンピュータ内のホストテーブルファイルの場所

● Windows Vista/XP/Server 2003
¥windows¥system32¥drivers¥etc¥hosts

● Windows 2000 ¥winnt¥system32¥drivers¥etc¥hosts

■ プリンタの IP アドレスを使用する

プリンタの IP アドレスは固有の番号であるため、特にネットワーク上で多くのプリンタが動作している場合は、入力する値として識別しやすい必要があります。プリンタの IP アドレスは、設定リストページに記載されています。

プリンタの設定メニュー内の設定リストページの場所

● 「ｲﾝｻﾂﾒﾆｭｰ — ｾｯﾃｲﾘｽﾄ」メニュー

Web ブラウザの設定

プリンタはイントラネット上にあり、ネットワークのファイアウォールを越えてはアクセスできないため、お使いの Web ブラウザで正しく設定を行う必要があります。Web ブラウザの設定画面の「プロキシなし」のリストにプリンタの名前または IP アドレスを追加する必要があります。

この操作は一度だけ行えば、それ以降は設定の必要ありません。

以下に記載しているサンプル画面は、ソフトウェアのバージョンや使用している OS によって異なる場合があります。

ここでの例では、プリンタの IP アドレスの部分を「xxx.xxx.xxx.xxx」と表しています。必ず上位桁の 0 を入れずにお使いのプリンタの IP アドレスを入力してください。例えば、192.168.001.002 の場合は 192.168.1.2 として入力します。

Internet Explorer（Windows 版バージョン 6.0）

1 Internet Explorer を起動します。

2 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選択します。

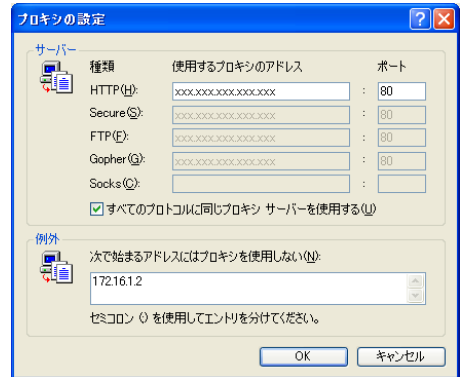
3 画面の「接続」タブをクリックします。

4 ［LAN の設定］ボタンをクリックして、ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定画面を表示します。

5 プロキシ サーバー内の［詳細設定］ボタンをクリックして、プロキシの設定画面を表示します。

6 必要に応じて「例外」テキストボックスにお使いのプリンタの名前または IP アドレスを入力します。

7 ［OK］を 3 回クリックして、Web ブラウザのメインウィンドウに戻ります。

8 URL 入力ボックスにプリンタの IP アドレスを入力して、プリンタの Web ページにアクセスします。

Netscape Navigator（バージョン 7.1）

1 Netscape Navigator を起動します。

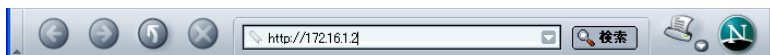
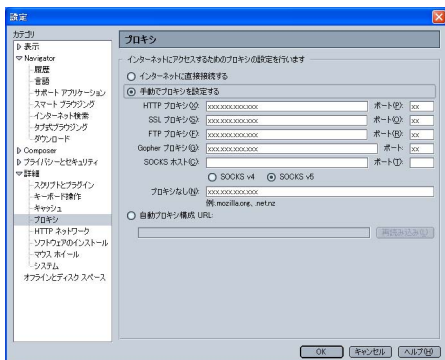
2「編集」メニューから「設定」を選択します。

3 画面の左側の欄から「詳細／プロキシ」ディレクトリを選択します。

4「手動でプロキシを設定する」を選択します。

5「プロキシなし」テキストボックスに、最後のエントリの後にコンマを入力してから、お使いのプリンタの名前または IP アドレスを入力します。

6［OK］をクリックして、Web ブラウザのメインウィンドウに戻ります。

7 URL 入力ボックスにプリンタの名前または IP アドレスを入力して、プリンタの Web ページにアクセスします。

PageScope Web Connection ウィンドウについて

以下の画面図では、PageScope Web Connection ウィンドウ内をナビゲーションエリアと設定エリアに分けて説明しています。

操作方法

メインタブとサブメニューを選択すると、選択した設定項目が設定エリアに表示されます。

現在の設定を変更する場合は、現在設定されている値をクリックし、項目の選択や新しい値の入力を行います。

設定変更の適用、保存を行うためには、管理者モードでログインする必要があります。（「ログインの方法」（p.163）を参照してください。）

ステータス表示

プリンタの現在の状態（ステータス）は、PageScope Web Connection ウィンドウの上部に常に表示されます。以下のアイコンによって、ステータスの種類を表します。

アイコン	ステータス	説明	例
	レディ	プリンタがオンライン状態で、印刷可能状態または印刷中です。	印刷可 印刷中
	警告	プリンタに注意が必要ですが、印刷は続行可能です。	用紙なし ﾄﾚｲ 1 ﾄﾅｰ残量少 Y
	エラー	次に印刷を行う前に注意が必要です。	ﾄﾅｰなし Y 紙詰まり ﾄﾚｲ 1
	トラブル	プリンタを再起動する必要があります。再起動してもエラーが消えない場合は、修理が必要です。	ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ XXX

ログインの方法

ログイン画面

PageScope Web Connection を使用する際に、ユーザ認証や部門認証、言語選択を行うことができます。認証を行うためには、管理者モードでログインする必要があります。認証についての詳細は、「認証」（p.221）または「ユーザ認証」（p.323）をごらんください。

言語設定

必要に応じて、Web Connection で表示する言語を変更できます。

パブリックユーザモード

パブリックユーザモードでは、設定内容を確認できますが、設定内容の変更はできません。

1 「パブリックユーザ」を選択します。

2 ［ログイン］ボタンをクリックします。

レジスタユーザモード

レジスタユーザモードでは、設定内容を確認できますが、設定内容の変更はできません。

ユーザ認証モード

ユーザ認証モードを使用するには、管理者モードでログインした後、ユーザ認証画面（ネットワーク — 認証 — ユーザ認証）で「ユーザ認証」を「オン」に設定して、新規登録画面（システム — 認証 — ユーザ登録 — 新規登録）で新規ユーザの登録を行ってください。詳細は「認証」（p.221）または「ユーザ認証」（p.323）をごらんください。

1 「レジスタユーザ」を選択します。

2 テキストボックスに 「ユーザ名」と「ユーザパスワード」をそれぞれ入力します。

3 ユーザ認証画面（ネットワーク — 認証 — ユーザ認証）で「部門認証」を「オン」に設定している場合は手順 4 へ進みます。「部門認証」を「オフ」に設定している場合は手順 5 へ進みます。

4
- ユーザ認証画面（ネットワーク — 認証 — ユーザ認証）で「ユーザ認証 / 部門認証連動」を「連動しない」に、「部門認証方法」を「アカウント名とパスワード」に設定している場合は、テキストボックスに「アカウント名」と「アカウントパスワード」をそれぞれ入力します。
- ユーザ認証画面（ネットワーク — 認証 — ユーザ認証）で「ユーザ認証 / 部門認証連動」を「連動しない」に、「部門認証方法」を「パスワードのみ」に設定している場合は、テキストボックスに「アカウントパスワード」を入力します。

ユーザ認証画面（ネットワーク — 認証 — ユーザ認証）で「ユーザ認証 / 部門認証連動」を「連動する」に設定した場合、「部門認証方法」をどちらに設定してもログイン画面には「アカウント名」、「アカウントパスワード」は表示されません。

5 ［ログイン］ボタンをクリックします。

部門認証モード

部門認証モードを使用するには、管理者モードでログインした後、ユーザ認証画面（ネットワーク — 認証 — ユーザ認証）で「部門認証」を「オン」に設定して、新規登録画面（システム — 認証 — アカウント登録 — 新規登録）で新規アカウントの登録を行ってください。詳細は「アカウント登録」（p.226）または「ユーザ認証」（p.323）をごらんください。

1 「アカウント」を選択します。

2 ーユーザ認証画面（ネットワーク — 認証 — ユーザ認証）で「部門認証方法」を「アカウント名とパスワード」に設定している場合は、テキストボックスに 「アカウント名」と「アカウントパスワード」をそれぞれ入力します。

ーユーザ認証画面（ネットワーク — 認証 — ユーザ認証）で「部門認証方法」を「パスワードのみ」に設定している場合は、テキストボックスに「アカウントパスワード」を入力します。

3 ［ログイン］ボタンをクリックします。

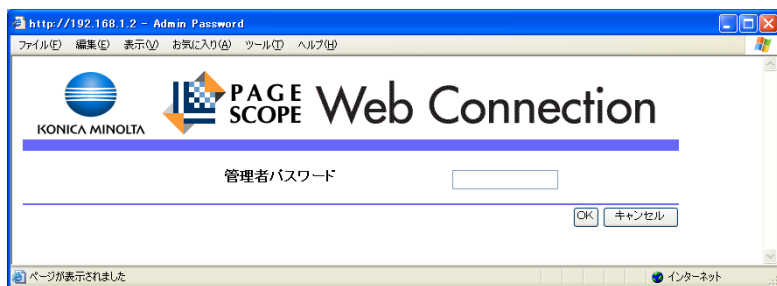
管理者モード

管理者モードでは、設定内容を変更することができます。

1 「管理者」を選択します。

2 [ログイン] ボタンをクリックします。管理者パスワード入力画面が表示されます。

3 テキストボックスに「管理者パスワード」を入力します。

パスワードの初期設定は「administrator」ですが、管理者モードでログイン後、管理者パスワード画面（システム — 管理者パスワード）でパスワードを変更すること ができます。

4 [OK] ボタンをクリックします。

プリンタのステータスの表示

システム画面

システム画面では、プリンタのステータス（状態）、現在のシステム構成、プリンタ名、他の設定画面へリンクされたタブやメニューが表示されます。

システム画面内の情報はすべて表示されるのみで、変更はできません。

デバイス情報

概要（前ページ画面）

システム — デバイス情報 — 概要画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
プリンタ名／ステータス	プリンタ名と現在のステータスが表示されます。ステータスアイコンの横には、プリンタの操作パネルのメッセージウィンドウに表示されるものと同じメッセージが表示されます。 ステータス表示によって、プリンタから離れた場所からでもプリンタで発生している問題（用紙切れやトナー切れなど）を確認することができます。
デバイスの状態（プリンタの図）	アクセスしているプリンタのタイプを確認できます。プリンタの図は、装着されているオプションの状態が反映された表示になります。
メモリ	プリンタに装着されているメモリの量が表示されます。
ハードディスク	プリンタに装着されているオプションのハードディスクキットの容量が表示されます。
メモリーカード	プリンタに装着されているオプションのコンパクトフラッシュの容量が表示されます。
両面	プリンタに両面ユニットが装着されているかどうかが表示されます。
給紙トレイ	プリンタに装着されている給紙トレイが表示されます。
排紙トレイ	プリンタに装着されている排紙トレイが表示されます。
ネットワーク	プリンタに装着されているネットワークインターフェースが表示されます。（Ethernet 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T）

給紙トレイ

システム — デバイス情報 — 給紙トレイ画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
給紙トレイ	プリンタに装着されている給紙トレイ（トレイ 1/2/3）が表示されます。
用紙サイズ	各トレイにセットされている用紙のサイズが表示されます。
用紙種類	各トレイにセットされている用紙の種類が表示されます。
用紙	各トレイにセットされている用紙の残量が表示されます。
[詳細] ボタン	給紙トレイ（詳細）画面が表示されます。

給紙トレイ（詳細）

システム — デバイス情報 — 給紙トレイ — 詳細画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
給紙トレイ	給紙トレイの名前が表示されます。
用紙サイズ	給紙トレイにセットされている用紙のサイズが表示されます。
用紙種類	給紙トレイにセットされている用紙の種類が表示されます。
容量	給紙トレイの最大容量が表示されます。
用紙	給紙トレイにセットされている用紙の残量が表示されます。
［戻る］ボタン	給紙トレイ画面に戻ります。

排紙トレイ

システム — デバイス情報 — 排紙トレイ画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
トレイ	排紙トレイの名前が表示されます。
用紙	排紙トレイの状態が表示されます。

ストレージ

システム ― デバイス情報 ― ストレージ画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
合計	ハードディスクとコンパクトフラッシュの総容量が表示されます。 ハードディスクとコンパクトフラッシュが装着されていない場合は、「－」が表示されます。
使用中	ハードディスクとコンパクトフラッシュの使用容量が表示されます。 ハードディスクとコンパクトフラッシュが装着されていない場合は、「－」が表示されます。
残り	ハードディスクとコンパクトフラッシュの残りの容量が表示されます。 ハードディスクとコンパクトフラッシュが装着されていない場合は、「－」が表示されます。

インターフェース情報

http://192.168.1.2/m_index.html
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
KONICA MINOLTA
PAGE SCOPE Web Connection
印刷可
印刷可
KONICA MINOLTA
magicolor 4650
ログアウト
システム
ジョブ
プリント
デバイス情報
概要
給紙トレイ
排紙トレイ
ストレージ
インターフェース情報
消耗品
カウンタ
オンラインヘルプ
プロトコル情報
TCP/IP 有効
IPv6 有効
Bonjour 有効
FTP 有効
ダイナミックDNS 無効
IPP 有効
LPD 有効
RAWポート 有効
SLP 有効
SMTP 有効
SNMP 有効
WSDプリント 有効
AppleTalk 有効
NetWare 無効
IEEE802.1x 無効
ネットワーク情報
タイプ
Ethernet 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T
ページが表示されました
インターネット

システム — デバイス情報 — インターフェース情報画面では、以下の項目を確認できます。

項目		説明
プロトコル情報	TCP/IP	TCP/IP が有効かどうか表示されます。
	IPv6	IPv6 が有効かどうか表示されます。
	Bonjour	Bonjour が有効かどうか表示されます。
	FTP	FTP が有効かどうか表示されます。
	ダイナミック DNS	ダイナミック DNS が有効かどうか表示されます。
	IPP	IPP が有効かどうか表示されます。
	LPD	LPD が有効かどうか表示されます。
	RAW ポート	RAW ポートが有効かどうか表示されます。
	SLP	SLP が有効かどうか表示されます。
	SMTP	SMTP が有効かどうか表示されます。
	SNMP	SNMP が有効かどうか表示されます。
	WSD プリント	WSD プリントが有効かどうか表示されます。
	AppleTalk	AppleTalk が有効かどうか表示されます。
	NetWare	NetWare が有効かどうか表示されます。
	IEEE802.1x	IEEE802.1x が有効かどうか表示されます。

項目		説明
ネットワーク情報	タイプ	プリンタに装着されているネットワークインターフェースの種類が表示されます。（Ethernet 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T）
	Ethernet の速度	ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式が表示されます。
	IP アドレス	イーサネットインターフェースの IP アドレスが表示されます。
	IPv6 リンクローカルアドレス	IPv6 リンクローカルアドレスが表示されます。
	IPv6 グローバルアドレス	IPv6 グローバルアドレスが表示されます。
	MAC アドレス	イーサネットインターフェースの MAC（Media Access Control）アドレスが表示されます。
	ホスト名	プリンタのホスト名が表示されます。
	プリントサーバ名（NetWare）	NetWare のプリントサーバ名が表示されます。
	プリンタ名（AppleTalk）	AppleTalk のプリンタ名が表示されます。
	現在のゾーン名（AppleTalk）	AppleTalk のゾーン名が表示されます。
	Bonjour 名	プリンタの Bonjour 名が表示されます。
	WSD プリンタ名	WSD プリントのプリンタ名が表示されます。

消耗品

システム — デバイス情報 — 消耗品画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
消耗品	プリンタの消耗品が表示されます。
ステータス	各消耗品の残りの寿命が表示されます。 ■ トナーカートリッジ、イメージングユニット、転写ベルト、転写ローラー、定着ユニット：%表示 ■ 廃トナーボトル：レディ、もうすぐいっぱいです、いっぱいです
TYPE	消耗品の種類が表示されます。 ■ Starter, Standard, High

カウンタ

システム ― カウンタ画面では、以下の項目を確認できます。

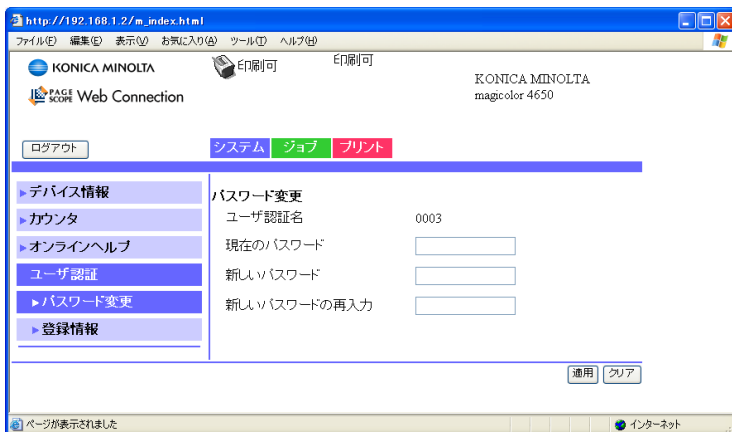
項目	説明
ページ数	これまでに印刷した枚数が表示されます。
印刷枚数（用紙サイズ）	用紙サイズごとの印刷枚数が表示されます。
印刷枚数（用紙種類）	用紙種類ごとの印刷枚数が表示されます。

オンラインヘルプ

システム — オンラインヘルプ画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
お問い合わせ	プリンタに関する問い合わせ先が表示されます。
お問い合わせ先情報	問い合わせ先の Web サイトの URL が表示されます。
製品ヘルプの URL	製品情報が載っている Web サイトの URL が表示されます。
コーポレート URL	KONICA MINOLTA の Web サイトの URL が表示されます。
消耗品情報	消耗品とアクセサリ（付属品）の発注先の Web サイトの URL が表示されます。
お問い合わせ先電話番号	プリンタ管理者の電話番号が表示されます。
お問い合わせ住所	サポート先の E-mail アドレスが表示されます。
ユーティリティへのリンク	プリンタ管理ユーティリティの Web サイトの URL が表示されます。

ユーザ認証

この画面は、レジスタユーザモードでログインした場合に表示されます。

パスワード変更

システム ― ユーザ認証 ― パスワード変更画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
ユーザ認証名	ログインしているユーザのユーザ名が表示されます。
現在のパスワード	ログインしているユーザの現在のパスワードを入力します。 範囲：　半角 64 文字以下 初期値：（空白）
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。 範囲：　半角 64 文字以下 初期値：（空白）
新しいパスワードの再入力	確認のため、新しいパスワードを再入力します。 範囲：半角 64 文字以下 初期値：（空白）
［適用］ボタン	新しいパスワードを適用します。 設定内容に誤りがある場合は、新しい設定が適用されません。内容を確認し、再度設定しなおしてください。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

登録情報

システム — ユーザ認証 — 登録情報画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
登録ユーザ情報	ログインしているユーザの登録番号、ユーザ認証名、アカウント名が表示されます。 アカウント名は、ユーザ認証画面（ネットワーク — 認証 — ユーザ認証）で「ユーザ認証 / 部門認証連動」を「連動する」に設定している場合に表示されます。
機能許可情報	ログインしているユーザの機能許可情報が表示されます。
出力許可情報	ログインしているユーザの出力許可情報が表示されます。

ジョブ画面

ジョブ画面では、現在処理されているプリントジョブの状況を確認できます。

処理中ジョブリスト（上記画面）

ジョブ — 処理中ジョブリスト画面では、最大 49 個のプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
ジョブ番号	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンタに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
ユーザ名	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
ファイル名	プリントファイル名が表示されます。
ジョブの状態	プリントジョブの現在の状況が表示されます。
登録時刻	ジョブの登録時刻が表示されます。
［削除］ボタン	削除するプリントジョブのいちばん左側のチェックボックスをチェックして［削除］ボタンをクリックすると、そのプリントジョブが削除されます。

処理済ジョブリスト

ジョブ — 処理済ジョブリスト画面では、最大 49 個のプリントジョブの以下の項目を確認できます。

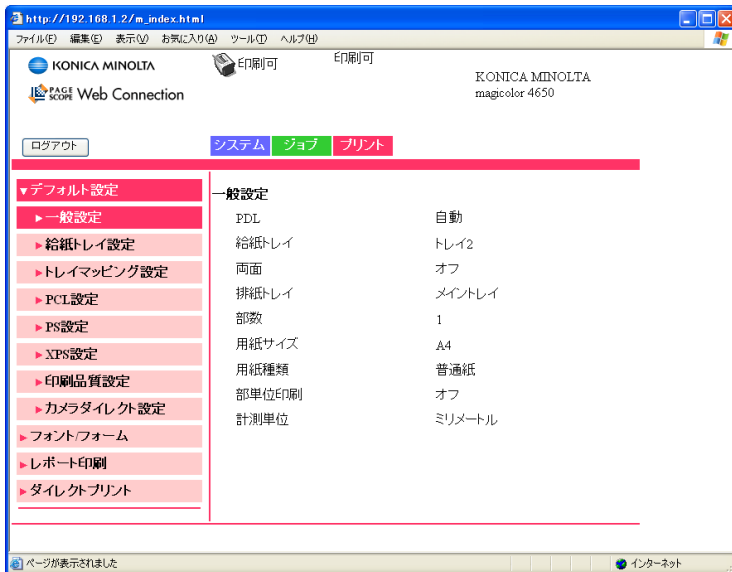
項目	説明
ジョブ番号	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンタに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
ユーザ名	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
ファイル名	プリントファイル名が表示されます。
終了時刻	印刷が終了した時刻が表示されます。
結果	プリントジョブの結果（OK、エラー、キャンセル済み）が表示されます。
［詳細］ボタン	詳細画面が表示されます。

処理済ジョブリスト（詳細）

ジョブ — 処理済ジョブリスト — 詳細画面では、選択されたプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
ジョブ番号	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンタに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
ユーザ名	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
ファイル名	プリントファイル名が表示されます。
配信方法	ジョブの配信方法が表示されます。
登録時刻	ジョブを登録した時刻が表示されます。
終了時刻	印刷が終了した時刻が表示されます。
結果	プリントジョブの結果（OK、エラー、キャンセル済み）が表示されます。
［戻る］ボタン	処理済ジョブリスト画面に戻ります。

プリント画面

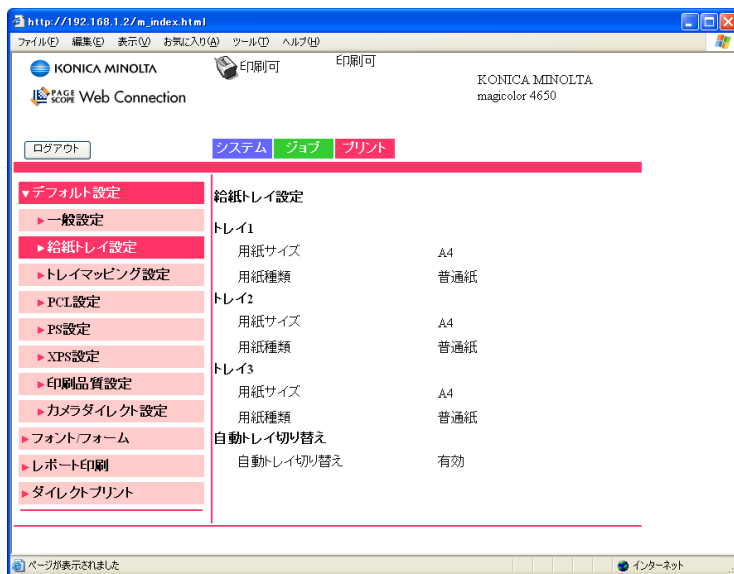
プリント画面では、PDL プリンタドライバを使わずに印刷する場合の設定値を確認することができます。

デフォルト設定

一般設定（上記画面）

プリント — デフォルト設定 — 一般設定画面では、以下の項目を確認できます。

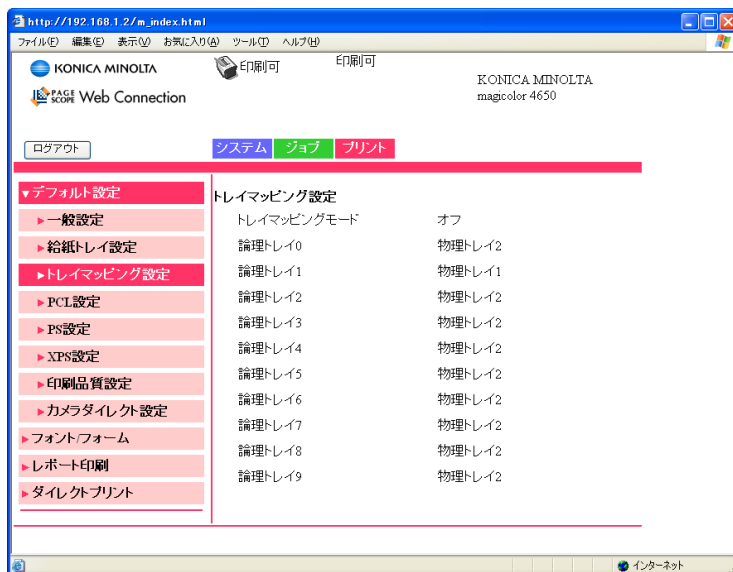
項目	説明
PDL	デフォルトとして選択されているプリンタ制御言語が表示されます。
給紙トレイ	通常使用される給紙トレイが表示されます。
両面	「長辺綴じ」が表示されている場合、長辺綴じで両面印刷されます。 「短辺綴じ」が表示されている場合、短辺綴じで両面印刷されます。
排紙トレイ	排紙トレイの名称が表示されます。
部数	デフォルトとして設定されている印刷部数が表示されます。

項目	説明
用紙サイズ	デフォルトとして設定されている用紙のサイズが表示されます。
幅	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定している場合は、カスタム用紙の幅が表示されます。
長さ	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定している場合は、カスタム用紙の長さが表示されます。
用紙種類	デフォルトとして設定されている用紙の種類が表示されます。
部単位印刷	「オン」が表示されている場合、文書の全ページが 1 部印刷されてから次の 1 部が印刷されます。 「オフ」が表示されている場合、文書は部単位で印刷されません。 この項目は、オプションのハードディスクキットまたは 1GB 以上のコンパクトフラッシュが装着されている場合に表示されます。
計測単位	カスタム用紙のサイズを指定するときの単位（インチまたはミリメートル）が表示されます。

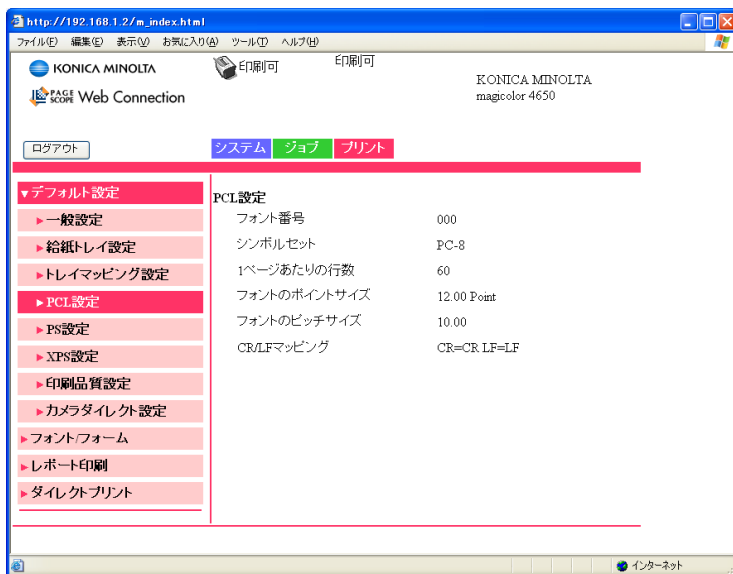
給紙トレイ設定

プリント — デフォルト設定 — 給紙トレイ設定画面では、以下の項目を確認できます。

項目		説明
トレイ 1	用紙サイズ	トレイ 1 にセットするよう設定されている用紙のサイズが表示されます。
	幅	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定している場合は、カスタム用紙の幅が表示されます。
	長さ	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定している場合は、カスタム用紙の長さが表示されます。
	用紙種類	トレイ 1 にセットするよう設定されている用紙の種類が表示されます。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="4">トレイ 2</td><td>用紙サイズ</td><td>トレイ 2 にセットするよう設定されている用紙のサイズが表示されます。</td></tr>
<tr><td>幅</td><td>「用紙サイズ」を「カスタム」に設定している場合は、カスタム用紙の幅が表示されます。</td></tr>
<tr><td>長さ</td><td>「用紙サイズ」を「カスタム」に設定している場合は、カスタム用紙の長さが表示されます。</td></tr>
<tr><td>用紙種類</td><td>トレイ 2 にセットするよう設定されている用紙の種類が表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">トレイ 3
この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。</td><td>用紙サイズ</td><td>トレイ 3 にセットするよう設定されている用紙のサイズが表示されます。</td></tr>
<tr><td>用紙種類</td><td>トレイ 3 にセットするよう設定されている用紙の種類が表示されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動トレイ切替え</td><td>「有効」が表示されている場合は、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。
「無効」が表示されている場合は、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止します。</td></tr>
</table>

トレイマッピング設定

プリント — デフォルト設定 —トレイマッピング設定画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
トレイマッピングモード	トレイマッピング機能を使用するかしないかが表示されます。
論理トレイ 0 ～ 9	他社のプリンタドライバからプリントジョブを受信した時に、どの給紙トレイを使用して印刷するかが表示されます。

PCL 設定

プリント — デフォルト設定 — PCL 設定画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
フォント番号	PCL 言語でのデフォルトのフォント番号が表示されます。
シンボルセット	PCL 言語で使用するシンボルセットが表示されます。
1 ページあたりの行数	PCL 言語でのページごとの行数が表示されます。
フォントのポイントサイズ	PCL 言語でのフォントのポイントサイズが表示されます。
フォントのピッチサイズ	PCL 言語でのフォントのピッチサイズが表示されます。
CR/LF マッピング	PCL 言語での改行コードの定義が表示されます。

PS 設定

プリント — デフォルト設定 — PS 設定画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
印刷待ちタイムアウト	ポストスクリプトエラーと判断するまでの時間が表示されます。 「0」が表示されている場合は、タイムアウトを行いません。
PS プロトコル	PS プロトコルの設定が表示されます。
PS エラーの印刷	エラープリントをするかどうかが表示されます。

XPS 設定

プリント — デフォルト設定 — XPS 設定画面では、以下の項目を確認できます。

このメニューは、オプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュが装着されている場合に表示されます。

項目	説明
電子署名	電子署名が有効かどうか表示されます。
XPS エラープリント	エラープリントをするかどうかが表示されます。

印刷品質設定

http://192.168.1.2/m_index.html
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
KONICA MINOLTA
PAGE SCOPE Web Connection
印刷可
印刷可
KONICA MINOLTA
magicolor 4650
ログアウト
システム
ジョブ
プリント
▼デフォルト設定
▶一般設定
▶給紙トレイ設定
▶トレイマッピング設定
▶PCL設定
▶PS設定
▶XPS設定
▶印刷品質設定
▶カメラダイレクト設定
▶フォント/フォーム
▶レポート印刷
▶ダイレクトプリント
印刷品質設定
カラーモード カラー
カラーセパレーション オフ
明るさ調整 0
スクリーン
イメージ印刷 精細
テキスト印刷 高精細
グラフィックス印刷 精細
エッジ強調
イメージ印刷 オフ
テキスト印刷 オン
グラフィックス印刷 オン
エッジ強度 中間部
エコノミー印刷モード オフ
PCL印刷設定
コントラスト調整 0
ページが表示されました
インターネット

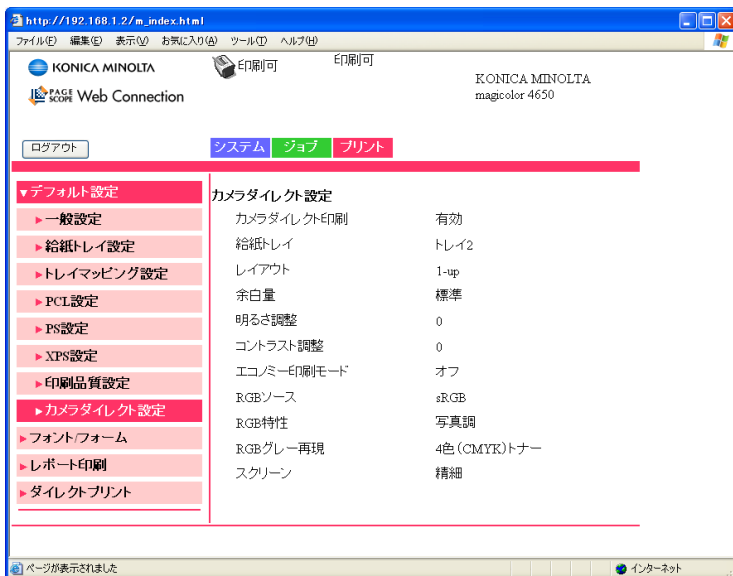
プリント — デフォルト設定 — 印刷品質設定画面では、以下の項目を確認できます。

項目		説明
印刷品質設定	カラーモード	「カラー」が表示されている場合は、フルカラーで印刷されます。 「モノクロ」が表示されている場合は、モノクロで印刷されます。
	カラーセパレーション	色分解を行うかどうかが表示されます。
	明るさ調整	印刷する画像の明るさの設定が表示されます。
	スクリーン（イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷）	イメージ、テキスト、グラフィックスの中間色の再現性が表示されます。 「高精細」が表示されている場合は、高精密に中間色を再現します。 「精細」が表示されている場合は、精細に中間色を再現します。 「スムーズ」が表示されている場合は、スムーズに中間色を再現します。
	エッジ強調（イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷）	イメージ、テキスト、グラフィックスのエッジ強調を行うかどうかが表示されます。
	エッジ強度	エッジ強調を行う場合のエッジ強度の設定が表示されます。
	エコノミー印刷モード	エコノミー印刷モードが有効かどうかが表示されます。 エコノミー印刷モードでは、絵が多い印刷を行う場合に、トナー消費量を抑制することができます。

項目		説明
PCL 印刷設定	コントラスト調整	印刷する画像のコントラストの設定が表示されます。
	イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷（ソース）	RGB データの色空間の設定が表示されます。
	イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷（特性）	RGB データを CMYK データに変換するときの特性が表示されます。
	イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷（グレー再現）	RGB データの黒色とグレーの再現方法が表示されます。

項目		説明
PS 印刷設定	イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷（RGB ソース）	RGB データの色空間の設定が表示されます。
	イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷（RGB 特性）	RGB データを CMYK データに変換するときの特性が表示されます。
	イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷（RGB グレー再現）	RGB データの黒色とグレーの再現方法が表示されます。
	イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷（出力プロファイル）	印刷に使用される出力プロファイルが表示されます。
	シミュレーションプロファイル	印刷に使用されるシミュレーションプロファイルが表示されます。
	シミュレーション（特性）	印刷に使用されるシミュレーション特性が表示されます。
	シミュレーション（CMYK グレー再現）	CMYK4 色で作成された黒色とグレーの再現方法が表示されます。

項目		説明
階調補正	濃度補正	濃度補正を行うかどうかが表示されます。
	シアン濃度 / マゼンタ濃度 / イエロー濃度 / ブラック濃度（ハイライト部）	ハイライト部の CMYK 濃度が表示されます。
	シアン濃度 / マゼンタ濃度 / イエロー濃度 / ブラック濃度（中間部）	中間部の CMYK 濃度が表示されます。
	シアン濃度 / マゼンタ濃度 / イエロー濃度 / ブラック濃度（シャドウ部）	シャドウ部の CMYK 濃度が表示されます。

カメラダイレクト設定

プリント — デフォルト設定 — カメラダイレクト設定画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
カメラダイレクト印刷	カメラダイレクト機能が有効かどうかが表示されます。
給紙トレイ	カメラダイレクト印刷で使用する給紙トレイが表示されます。 「トレイ 3」はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。
レイアウト	1 枚の用紙に印刷する画像の数が表示されます。 「1-up」が表示されている場合は、1 枚の用紙に一つの画像が印刷されます。
余白量	余白（印刷されない部分）の量が表示されます。 「標準」が表示されている場合は、通常の用紙余白が設定されます。 「ミニマム」が表示されている場合は、余白が縮小されます。
明るさ調整	印刷する画像の明るさの設定が表示されます。
コントラスト調整	印刷する画像のコントラストの設定が表示されます。

項目	説明
エコノミー印刷モード	エコノミー印刷モードが有効かどうかが表示されます。 エコノミー印刷モードでは、絵が多い印刷を行う場合に、トナー消費量を抑制することができます。
RGB ソース	RGB の画像データの色空間の設定が表示されます。 「デバイス色」が表示されている場合は、本プリンタのデバイスプロファイルを使用します。
RGB 特性	RGB の画像データを CMYK のデータに変換する時の特性が表示されます。 「鮮やか」が表示されている場合は、鮮やかな出力になります。 「写真調」が表示されている場合は、より明るい出力になります。
RGB グレー再現	RGB の画像データの黒色とグレーの再現方法が表示されます。 「4 色（CMYK）トナー」が表示されている場合は、CMYK のトナーを使用して再現します。 「全て黒（K）トナー」が表示されている場合は、黒色、グレーともにブラックのトナーを使用して再現します。 「黒のみ黒（K）トナー」が表示されている場合は、黒色のみブラックのトナーを使用して再現します。
スクリーン	中間色の再現性が表示されます。 「高精細」が表示されている場合は、高精密に中間色を再現します。 「精細」が表示されている場合は、精細に中間色を再現します。 「スムーズ」が表示されている場合は、スムーズに中間色を再現します。

フォント / フォーム

PCL フォント

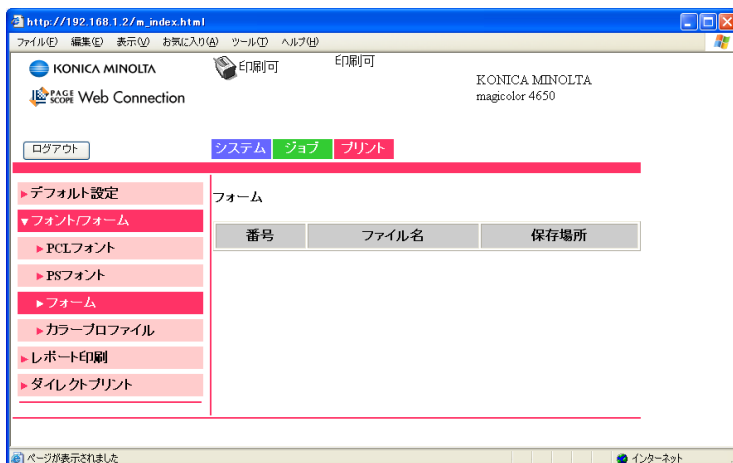
プリント — フォント / フォーム — PCL フォント画面では、プリンタが管理する PCL フォントの一覧を確認できます。

項目	説明
番号	フォントの管理番号が表示されます。
フォント名	フォント名称が表示されます。
保存場所	フォントの保存場所が表示されます。

PS フォント

プリント — フォント / フォーム — PS フォント画面では、プリンタが管理する PostScript フォントの一覧を確認できます。

項目	説明
番号	フォントの管理番号が表示されます。
フォント名	フォント名称が表示されます。
保存場所	フォントの保存場所が表示されます。

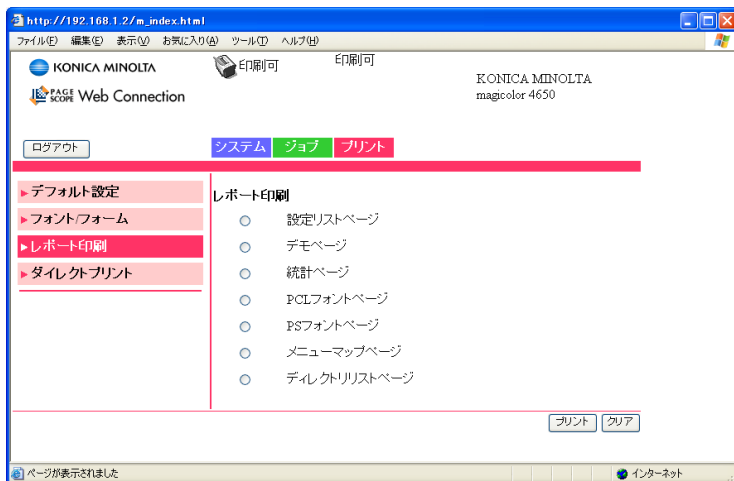
フォーム

プリント — フォント / フォーム — フォーム画面では、プリンタが管理するフォームの一覧を確認できます。

項目	説明
番号	フォームの管理番号が表示されます。
ファイル名	フォームのファイル名が表示されます。
保存場所	フォームの保存場所が表示されます。

カラープロファイル

プリント — フォント / フォーム — カラープロファイル画面では、プリンタが管理するカラープロファイルの一覧を確認できます。

項目	説明
番号	カラープロファイルの管理番号が表示されます。
ファイル名	カラープロファイルのファイル名が表示されます。
プロファイル名	カラープロファイル名称が表示されます。
クラス	カラープロファイルの種類が表示されます。
色空間	カラープロファイルの色空間が表示されます。
保存場所	カラープロファイルの保存場所が表示されます。

レポート印刷

プリント — レポート印刷 画面では、以下のレポートを印刷できます。

項目	説明
設定リストページ	設定リストページを印刷します。
デモページ	デモページを印刷します。
統計ページ	印刷枚数などの統計ページを印刷します。
PCL フォントページ	PCL フォントの一覧を印刷します。
PS フォントページ	PostScript フォントの一覧を印刷します。
メニューマップページ	メニューマップを印刷します。
ディレクトリリストページ	ハードディスクのディレクトリの一覧を印刷します。 この項目は、オプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュが装着されている場合に表示されます。
［プリント］ボタン	選択したページを印刷します。
［クリア］ボタン	項目の選択を解除します。

ダイレクトプリント

プリント — ダイレクトプリント画面では、アプリケーションを起動せずに、直接プリンタからファイルを印刷できます。

このメニューは、オプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュが装着されている場合に表示されます。

このメニューは、ユーザ認証画面（ネットワーク — 認証 — ユーザ認証）で「パブリック許可」を「許可」に設定し、かつデフォルト設定画面（システム — 認証 — デフォルト設定）で「プリント」を「許可」に設定している場合に表示されます。

ダイレクトプリントでは、PDF、TIF、JPEG および XPS 形式のファイルを印刷できます。

項目	説明
ファイル名	印刷するファイルの場所を指定します。 ［参照］ボタンをクリックしてファイルを指定することもできます。
［参照］ボタン	印刷するファイルを参照するダイアログボックスが表示されます。
［送信］ボタン	指定したファイルをプリンタへ転送します。

プリンタの設定

PageScope Web Connection を使用して設定変更を行うためには、まず管理者モードに入る必要があります。管理者モードにログインする方法については、「管理者モード」（p.167）を参照してください。

システム画面

システム画面では、ユーザ設定とプリンタに関する設定を行うことができます。

デバイス情報

概要（前ページ画面）

システム — デバイス情報 — 概要画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
プリンタ名／ステータス	プリンタ名と現在のステータスが表示されます。ステータスアイコンの横には、プリンタの操作パネルのメッセージウィンドウに表示されるものと同じメッセージが表示されます。 ステータス表示によって、プリンタから離れた場所からでもプリンタで発生している問題（用紙切れやトナー切れなど）を確認することができます。
デバイスの状態（プリンタの図）	アクセスしているプリンタのタイプを確認できます。プリンタの図は、装着されているオプションの状態が反映された表示になります。
メモリ	プリンタに装着されているメモリの量が表示されます。
ハードディスク	プリンタに装着されているオプションのハードディスクキットの容量が表示されます。
メモリーカード	プリンタに装着されているオプションのコンパクトフラッシュの容量が表示されます。
両面	プリンタに両面ユニットが装着されているかどうかが表示されます。
給紙トレイ	プリンタに装着されている給紙トレイが表示されます。
排紙トレイ	プリンタに装着されている排紙トレイが表示されます。
ネットワーク	プリンタに装着されているネットワークインターフェースが表示されます。（Ethernet 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T）

給紙トレイ

システム — デバイス情報 — 給紙トレイ画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
給紙トレイ	プリンタに装着されている給紙トレイ（トレイ 1/2/3）が表示されます。
用紙サイズ	各トレイにセットされている用紙のサイズが表示されます。
用紙種類	各トレイにセットされている用紙の種類が表示されます。
用紙	各トレイにセットされている用紙の残量が表示されます。
［詳細］ボタン	給紙トレイ（詳細）画面が表示されます。

給紙トレイ（詳細）

システム — デバイス情報 — 給紙トレイ — 詳細画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
給紙トレイ	給紙トレイの名前が表示されます。
用紙サイズ	給紙トレイにセットされている用紙のサイズが表示されます。
用紙種類	給紙トレイにセットされている用紙の種類が表示されます。
容量	給紙トレイの最大容量が表示されます。
用紙	給紙トレイにセットされている用紙の残量が表示されます。
［戻る］ボタン	給紙トレイ画面に戻ります。

排紙トレイ

システム — デバイス情報 — 排紙トレイ画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
トレイ	排紙トレイの名前が表示されます。
用紙	排紙トレイの状態が表示されます。

ストレージ

システム — デバイス情報 — ストレージ画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
合計	ハードディスクとコンパクトフラッシュの総容量が表示されます。 ハードディスクとコンパクトフラッシュが装着されていない場合は、「—」が表示されます。
使用中	ハードディスクとコンパクトフラッシュの使用容量が表示されます。 ハードディスクとコンパクトフラッシュが装着されていない場合は、「—」が表示されます。
残り	ハードディスクとコンパクトフラッシュの残りの容量が表示されます。 ハードディスクとコンパクトフラッシュが装着されていない場合は、「—」が表示されます。

インターフェース情報

http://192.168.1.2/a_index.html
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
KONICA MINOLTA
PAGE SCOPE Web Connection
印刷可
印刷可
KONICA MINOLTA
magicolor 4650
ログアウト
システム
ジョブ
プリント
ネットワーク
デバイス情報
概要
給紙トレイ
排紙トレイ
ストレージ
インターフェース情報
消耗品
カウンタ
オンラインヘルプ
インポート/エクスポート
認証
日付/時刻
管理者パスワード
マシン設定
ROMバージョン
メンテナンス
状態通知設定
プロトコル情報
TCP/IP 有効
IPv6 有効
Bonjour 有効
FTP 有効
ダイナミックDNS 無効
IPP 有効
LPD 有効
RAWポート 有効
SLP 有効
SMTP 有効
SNMP 有効
WSDプリント 有効
AppleTalk 有効
NetWare 無効
IEEE802.1x 無効
ネットワーク情報
タイプ Ethernet 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T
Ethernetの速度 自動
IPアドレス 192.168.1.2
ページが表示されました
インターネット

システム — デバイス情報 — インターフェース情報画面では、以下の項目を確認できます。

項目		説明
プロトコル情報	TCP/IP	TCP/IP が有効かどうか表示されます。
	IPv6	IPv6 が有効かどうか表示されます。
	Bonjour	Bonjour が有効かどうか表示されます。
	FTP	FTP が有効かどうか表示されます。
	ダイナミック DNS	ダイナミック DNS が有効かどうか表示されます。
	IPP	IPP が有効かどうか表示されます。
	LPD	LPD が有効かどうか表示されます。
	RAW ポート	RAW ポートが有効かどうか表示されます。
	SLP	SLP が有効かどうか表示されます。
	SMTP	SMTP が有効かどうか表示されます。
	SNMP	SNMP が有効かどうか表示されます。
	WSD プリント	WSD プリントが有効かどうか表示されます。
	AppleTalk	AppleTalk が有効かどうか表示されます。
	NetWare	NetWare が有効かどうか表示されます。
	IEEE802.1x	IEEE802.1x が有効かどうか表示されます。

項目		説明
ネットワーク情報	タイプ	プリンタに装着されているネットワークインターフェースの種類が表示されます。（Ethernet 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T）
	Ethernet の速度	ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式が表示されます。
	IP アドレス	イーサネットインターフェースの IP アドレスが表示されます。
	IPv6 リンクローカルアドレス	IPv6 リンクローカルアドレスが表示されます。
	IPv6 グローバルアドレス	IPv6 グローバルアドレスが表示されます。
	MAC アドレス	イーサネットインターフェースの MAC（Media Access Control）アドレスが表示されます。
	ホスト名	プリンタのホスト名が表示されます。
	プリントサーバ名（NetWare）	NetWare のプリントサーバ名が表示されます。
	プリンタ名（AppleTalk）	AppleTalk のプリンタ名が表示されます。
	現在のゾーン名（AppleTalk）	AppleTalk のゾーン名が表示されます。
	Bonjour 名	プリンタの Bonjour 名が表示されます。
	WSD プリンタ名	WSD プリントのプリンタ名が表示されます。

消耗品

システム — デバイス情報 — 消耗品画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
消耗品	プリンタの消耗品が表示されます。
ステータス	各消耗品の残りの寿命が表示されます。 ■ トナーカートリッジ、イメージングユニット、転写ベルト、転写ローラー、定着ユニット：%表示 ■ 廃トナーボトル：レディ、もうすぐいっぱいです、いっぱいです
TYPE	消耗品の種類が表示されます。 ■ Starter, Standard, High

カウンタ

システム — カウンタ画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
ページ数	これまでに印刷した枚数が表示されます。
印刷枚数（用紙サイズ）	用紙サイズごとの印刷枚数が表示されます。
印刷枚数（用紙種類）	用紙種類ごとの印刷枚数が表示されます。

オンラインヘルプ

システム — オンラインヘルプ画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
お問い合わせ先名称	プリンタに関する問い合わせ先を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： KONICA MINOLTA Customer Support
お問い合わせ先情報	問い合わせ先の Web サイトの URL を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： http://printer.konicaminolta.com
製品ヘルプの URL	製品情報が載っている Web サイトの URL を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： http://printer.konicaminolta.com
コーポレート URL	KONICA MINOLTA の Web サイトの URL を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： http://printer.konicaminolta.com
消耗品情報	消耗品とアクセサリ（付属品）の発注先の Web サイトの URL を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： http://www.q-shop.com

項目	説明
お問い合わせ先電話番号	プリンタ管理者の電話番号を設定します。 範囲：　半角 31 文字以下 初期値：（空白）
お問い合わせ住所	サポート先の E-mail アドレスを設定します。 範囲：　半角 320 文字以下 初期値：（空白）
ユーティリティへのリンク	プリンタ管理ユーティリティの Web サイトの URL を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：http://pagescope.com
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

インポート / エクスポート

このメニューは、オプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュが装着されている場合に表示されます。

ジョブログ

このメニューは、マシン設定画面（システム — マシン設定）で「ジョブログ」を「有効」に設定している場合に表示されます。

システム — インポート / エクスポート — ジョブログ画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
エクスポート	取得するジョブログの個数を指定します。取得するジョブログは、最新のジョブログからの個数です。指定した個数分のジョブログが存在しない場合は、全てのジョブログを取得します。 設定値：ラスト 10、ラスト 50、ラスト 100、ラスト 250、ラスト 500、全て 初期値：ラスト 10
［エクスポート］ボタン	プリンタが保持するジョブログ情報をコンピュータへ転送します。
［クリア］ボタン	プリンタに保持されているジョブログをクリアします。

ユーザ情報

このメニューは、ユーザ認証画面（ネットワーク — 認証 — ユーザ認証）で、「ユーザ認証」を「オン」に設定している場合に表示されます。

システム — インポート / エクスポート — ユーザ情報画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
インポート	インポートする認証ユーザ登録情報ファイルのファイル名を入力します。
［参照］ボタン	プリンタへ転送する認証ユーザ登録情報ファイルを検索します。
［インポート］ボタン	プリンタに認証ユーザ登録情報ファイルを転送します。
［エクスポート］ボタン	認証ユーザ登録情報をコンピュータへ転送します。

認証

このメニューは、オプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュが装着されている場合に表示されます。

このメニューは、ユーザ認証画面（ネットワーク — 認証 — ユーザ認証）で「ユーザ認証」と「部門認証」を「オフ」に、「パブリック許可」を「制限」に設定している場合は表示されません。

デフォルト設定

システム — 認証 — デフォルト設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
機能許可	プリント	パブリックユーザモードでログインした場合に、プリントを行うことを許可するかどうか設定します。 設定値：許可、制限 初期値：許可
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。

ユーザ登録

システム — 認証 — ユーザ登録画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
番号検索	登録済みユーザの登録番号を指定して検索します。 範囲： 1 - 1000 初期値： 1 - 50
番号	登録済みユーザの登録番号が表示されます。
ユーザ名	登録済みユーザのユーザ名が表示されます。
[編集] アイコン	登録済みユーザの登録情報を編集できます。
[削除] アイコン	登録済みユーザを削除できます。
[新規登録] ボタン	新規登録画面が開き、新しくユーザを登録できます。

ユーザ登録（新規登録）

http://192.168.1.2/a_index.html
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
KONICA MINOLTA
PAGE SCOPE Web Connection
印刷可
印刷可
KONICA MINOLTA
magicolor 4650
ログアウト
システム
ジョブ
プリント
ネットワーク
デバイス情報
カウンタ
オンラインヘルプ
インポート/エクスポート
認証
デフォルト設定
ユーザ登録
アカウント登録
日付/時刻
管理者パスワード
マシン設定
ROMバージョン
メンテナンス
状態通知設定
ユーザ登録
番号
5
ユーザ名
ユーザパスワード
ユーザパスワード再入力
アカウント名
機能許可
プリント
許可
出力許可
カラー印刷
許可
白黒印刷
許可
適用
クリア
キャンセル
ページが表示されました
インターネット

システム — 認証 — ユーザ登録 — 新規登録画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
ユーザ登録	番号	新規ユーザの登録番号が表示されます。
	ユーザ名	新規ユーザのユーザ名を設定します。 範囲： 半角 64 文字（全角 32 文字）以下 初期値：（空白） ユーザ名を重複して設定することはできません。 ユーザ名を「Public」として設定することはできません。
	ユーザパスワード	新規ユーザのパスワードを設定します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値：（空白） パスワード欄を空白のまま登録することもできます。
	ユーザパスワード再入力	確認のため、新しいパスワードを再入力します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値：（空白）
	アカウント名	アカウント名を設定します。 範囲： 半角 8 文字以下 初期値：（空白） 新規登録画面（システム — 認証 — アカウント登録 — 新規登録）でアカウントを先に作成してから、本設定を行ってください。本設定を行う際に存在しないアカウント名は設定できません。 この項目は、ユーザ認証画面（ネットワーク — 認証 — ユーザ認証）で、「ユーザ認証」と「部門認証」を「オン」に、「ユーザ認証 / 部門認証連動」を「連動する」に設定している場合に表示されます。
機能許可	プリント	新規ユーザが、プリントを行うことを許可するかどうか設定します。 設定値：許可、制限 初期値：許可

項目		説明
出力許可	カラー印刷	新規ユーザが、カラー印刷を行うことを許可するかどうか設定します。 設定値：許可、エコノミー印刷モードのみ、制限 初期値：許可
	白黒印刷	新規ユーザが、白黒印刷を行うことを許可するかどうか設定します。 設定値：許可、制限 初期値：許可
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。 設定内容に誤りがある場合は、新しい設定が適用されません。内容を確認し、再度設定しなおしてください。
［クリア］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。
［キャンセル］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットして、ユーザ登録画面に戻ります。

アカウント登録

システム — 認証 — アカウント登録画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
番号検索	登録済みアカウントの登録番号を指定して検索します。 範囲：　1 - 1000 初期値：　1 - 50
番号	登録済みアカウントの登録番号が表示されます。
アカウント名	登録済みアカウントのアカウント名が表示されます。
［編集］アイコン	登録済みアカウントの登録情報を編集できます。
［削除］アイコン	登録済みアカウントを削除できます。
［新規登録］ボタン	新規登録画面が開き、新しくアカウントを登録できます。

アカウント登録（新規登録）

システム — 認証 — アカウント登録 — 新規登録画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
アカウント登録	番号	新規アカウントの登録番号が表示されます。
	アカウント名	新規アカウントのアカウント名を設定します。 範囲： 半角 8 文字以下 初期値：（空白） アカウント名を重複して設定することはできません。
	アカウントパスワード	新規アカウントのパスワードを設定します。 範囲： 半角 8 文字以下 初期値：（空白）
	アカウントパスワード再入力	確認のため、新しいパスワードを再入力します。 範囲： 半角 8 文字以下 初期値：（空白）
機能許可	プリント	新規アカウントが、プリントを行うことを許可するかどうか設定します。 設定値： 許可、制限 初期値： 許可
出力許可	カラー印刷	新規アカウントが、カラー印刷を行うことを許可するかどうか設定します。 設定値： 許可、エコノミー印刷モードのみ、制限 初期値： 許可
	白黒印刷	新規アカウントが、白黒印刷を行うことを許可するかどうか設定します。 設定値： 許可、制限 初期値： 許可
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。 設定内容に誤りがある場合は、新しい設定が適用されません。内容を確認し、再度設定しなおしてください。
［クリア］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。
［キャンセル］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットして、アカウント登録画面に戻ります。

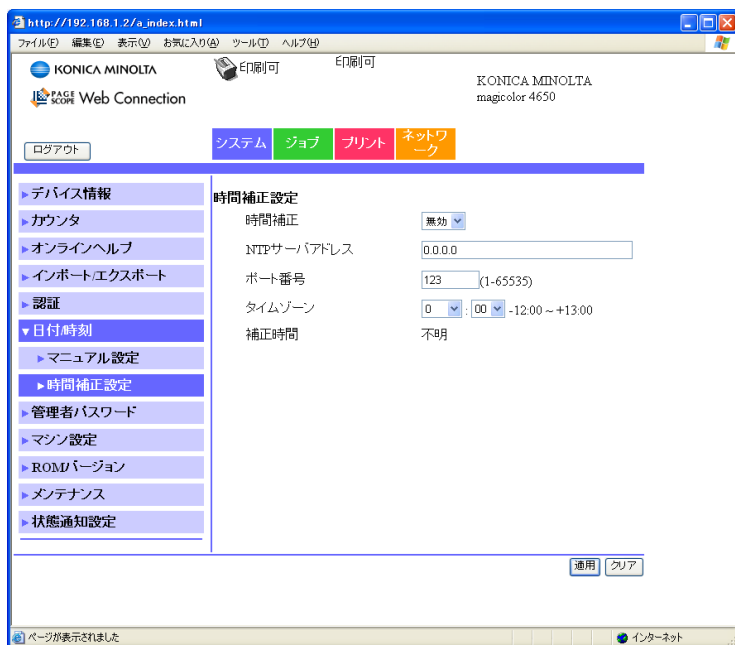
日付 / 時刻

マニュアル設定

システム — 日付 / 時刻 — マニュアル設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
年	プリンタに内蔵されている時計の日付の、年を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 時計設定 — 日付
月	プリンタに内蔵されている時計の日付の、月を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 時計設定 — 日付
日	プリンタに内蔵されている時計の日付の、日を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 時計設定 — 日付

項目	説明
時	プリンタに内蔵されている時計の時刻の、時間を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 時計設定 — 時刻
分	プリンタに内蔵されている時計の日付の、分を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 時計設定 — 時刻
タイムゾーン	E-mail 通知を行うときのタイムゾーンを設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 時計設定 — ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

時間補正設定

システム — 日付 / 時刻 — 時間補正設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
時間補正	NTP サーバにより自動的に時刻を補正するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：無効
NTP サーバアドレス	NTP サーバのアドレスを設定します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または FQDN を設定できます。 範囲：半角 63 文字以下 初期値：0.0.0.0
ポート番号	NTP サーバのポート番号を設定します。 範囲：1 ～ 65535 初期値：123
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。 範囲：-12:00 ～ +13:00 初期値：0:00
補正時間	最後に時間補正が行われた日時を表示します。 初期値：不明
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

管理者パスワード

システム — 管理者パスワード画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。 範囲：　半角 16 文字以下 初期値：（空白）
新しいパスワード	管理者モードでログインするための新しいパスワードを設定します。 範囲：　半角 16 文字以下 初期値：（空白）
新しいパスワードの再入力	確認のため、新しいパスワードを再入力します。 範囲：　半角 16 文字以下 初期値：（空白）
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。 設定内容に誤りがある場合は、新しい設定が適用されません。内容を確認し、再度設定しなおしてください。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

新しく設定したパスワードを忘れてしまったときは、プリンタの「ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ﾒﾆｭｰ設定初期化 — 全てのﾒﾆｭｰ」を選択してリセットしてください。（ただし、他のすべての設定も工場出荷時の初期値に戻ります。）

マシン設定

システム — マシン設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
管理者名	プリンタの管理者名を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
デバイス名	プリンタ名を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
デバイスの設置場所	プリンタの設置場所を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
デバイス情報	プリンタの情報を設定します。 範囲：半角 127 文字以下 初期値：（空白）

項目	説明
スタートページの印刷	プリンタの電源を入れたときにスタートページを印刷するかどうかを設定します。 設定値： オン、オフ 初期値： オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ｽﾀｰﾄ ｵﾌﾟｼｮﾝ — ｽﾀｰﾄ ﾍﾟｰｼﾞ
自動継続	プリントジョブの用紙サイズ・種類と、指定した給紙トレイのの用紙サイズ・種類が異なる場合に、印刷を継続するかどうかを設定します。 設定値： オン、オフ 初期値： オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 自動継続
保存ジョブタイムアウト	ハードディスクに保存したプリントジョブを消去するまでの時間の設定をします。 「無効」に設定した場合は、時間によるプリントジョブの消去を行いません。 設定値：無効、1 時間、4 時間、1 日、1 週間 初期値：無効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 保存ｼﾞｮﾌﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ この項目は、オプションのハードディスクキットが装着されている場合に表示されます。
節電設定	本プリンタを一定時間使用しない場合に、節電モードへ移行するかどうかを設定します。 「オン」に設定した場合は、節電モードへの移行を有効にします。 設定値： オン、オフ 初期値： オン 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 節電設定
節電時間	節電モードへ移行するまでの時間を設定します。 設定値：5 〜 15 分、30 分、1 時間、3 時間 初期値：15 分 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 節電時間 この項目は、「節電設定」が「オン」に設定されている場合に表示されます。

項目	説明
モノクロページ	カラー印刷時におけるモノクロページの動作を設定します。 「自動」に設定すると、プリントジョブの先頭ページで自動判別を行います。 「モノクロページ」に設定すると、ページごとにモノクロかどうかの判別を行います。 「カラーページ」に設定すると、モノクロページがあってもカラーで印刷します。 設定値： 自動、モノクロページ、カラーページ 初期値： 自動 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ﾓﾉｸﾛ ﾍﾟｰｼﾞ
ジョブログ	ジョブログ機能を有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効 この項目は、オプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュが装着されている場合に表示されます。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

ROM バージョン

システム — ROM バージョン画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
エンジン ROM バージョン	プリンタエンジンの ROM バージョンが表示されます。
コントローラ ROM バージョン	プリンタコントローラの ROM バージョンが表示されます。
ブート ROM バージョン	ブート ROM のバージョンが表示されます。

メンテナンス

設定の初期化

システム — メンテナンス — 設定の初期化画面では、プリンタの設定を工場出荷時の値に戻すことができます。

項目	説明
プリンタ設定	プリンタの設定を初期値に戻します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ﾒﾆｭｰ設定初期化 — 用紙 / 品質 / ｼｽﾃﾑ
ネットワーク設定	ネットワークの設定を初期値に戻します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ﾒﾆｭｰ設定初期化 — ﾈｯﾄﾜｰｸ
全ての設定	すべての設定を初期値に戻します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ﾒﾆｭｰ設定初期化 — 全てのﾒﾆｭｰ
［クリア］ボタン	クリックすると、「工場出荷時設定に戻しても良いですか？」というメッセージが表示されます。 ［OK］をクリックすると、プリンタが自動的に再起動し、設定を工場出荷時の値に戻します。

プリンタのリセット

システム — メンテナンス — プリンタのリセット画面では、プリンタコントローラをリセットすることができます。

項目	説明
［リセット］ボタン	クリックすると、「プリンタをリセットしても良いですか？」というメッセージが表示されます。 ［OK］をクリックすると、プリンタコントローラをリセットします。

状態通知設定

システム — 状態通知設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
IP アドレス	通知アドレス	通知先の IP アドレスを設定します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、またはホスト名を設定できます。 範囲：　半角 63 文字以下 初期値：0.0.0.0
	ポート番号 (1 ～ 65535)	SNMP トラップのポート番号を設定します。 範囲：　1 ～ 65535 初期値：162
	コミュニティ名	SNMP トラップのコミュニティ名を設定します。 範囲：　半角 15 文字以下 初期値：public

項目		説明
IPX アドレス	通知アドレス	通知先の IPX アドレスを設定します。 範囲： 半角 8 文字以下 初期値： 00000000
	ノードアドレス	通知先のノードアドレスを設定します。 範囲： 半角 12 文字以下 初期値： 000000000000
	コミュニティ名	SNMP トラップのコミュニティ名を設定します。 範囲：半角 15 文字以下 初期値：public
電子メール アドレス	電子メール通知	プリンタに警告が発生した時に、メールで通知を行うかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	通知アドレス	通知を行うメールアドレスを設定します。 範囲： 半角 320 文字以下 初期値：（空白）

項目		説明
警告	用紙なし	用紙がないことを通知するかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	紙詰まり	紙詰まりを通知するかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	メンテナンス	定期点検時期を通知するかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	トナーなし	トナーがないことを通知するかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	排紙トレイフル	排紙トレイがいっぱいであることを通知するかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	定着ユニット終了	定着ユニットが寿命であることを通知するかどうか設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	オペレータコール	オペレーターを呼ぶ必要があることを通知するかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	サービスコール	用紙がないことを通知するかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	ジョブ完了	印刷ジョブが正常終了したことを通知するかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	ジョブエラー	エラーが発生して印刷できなかったジョブがあることを通知するかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。

項目	説明
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

ジョブ画面

ジョブ画面では、現在処理されているプリントジョブの状況を確認できます。

処理中ジョブリスト（上記画面）

ジョブ — 処理中ジョブリスト画面では、最大 49 個のプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
ジョブ番号	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンタに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
ユーザ名	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
ファイル名	プリントファイル名が表示されます。
ジョブの状態	プリントジョブの現在の状況が表示されます。
登録時刻	ジョブの登録時刻が表示されます。
［削除］ボタン	削除するプリントジョブのいちばん左側のチェックボックスをチェックして［削除］ボタンをクリックすると、そのプリントジョブが削除されます。

処理済ジョブリスト

ジョブ — 処理済ジョブリスト画面では、最大 49 個のプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
ジョブ番号	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンタに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
ユーザ名	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
ファイル名	プリントファイル名が表示されます。
終了時刻	印刷が終了した時刻が表示されます。
結果	プリントジョブの結果（OK、エラー、キャンセル済み）が表示されます。
［詳細］ボタン	詳細画面が表示されます。

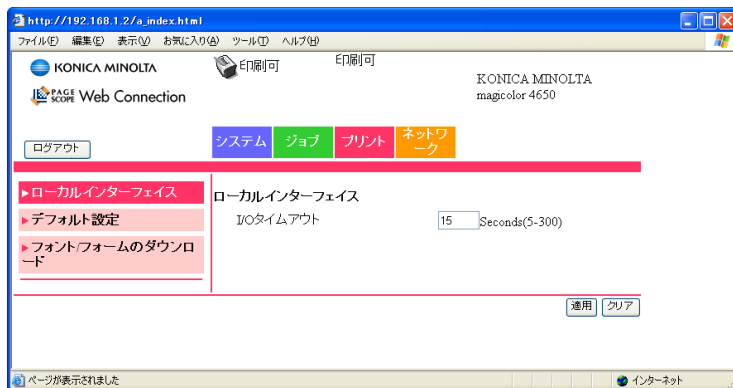
処理済ジョブリスト（詳細）

ジョブ — 処理済ジョブリスト — 詳細画面では、選択されたプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
ジョブ番号	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンタに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
ユーザ名	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
ファイル名	プリントファイル名が表示されます。
配信方法	ジョブの配信方法が表示されます。
登録時刻	ジョブが登録した時刻が表示されます。
終了時刻	印刷を終了した時刻が表示されます。
結果	プリントジョブの結果（OK、エラー、キャンセル済み）が表示されます。
［戻る］ボタン	処理済ジョブリスト画面に戻ります。

プリント画面

プリント画面では、より詳細なプリンタの設定を行うことができます。

ローカルインターフェイス

プリント — ローカルインターフェイス画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
I/O タイムアウト	受信タイムアウト（秒）を設定します。 範囲： 5 ～ 300 初期値： 15 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｼﾞｮﾌﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

デフォルト設定

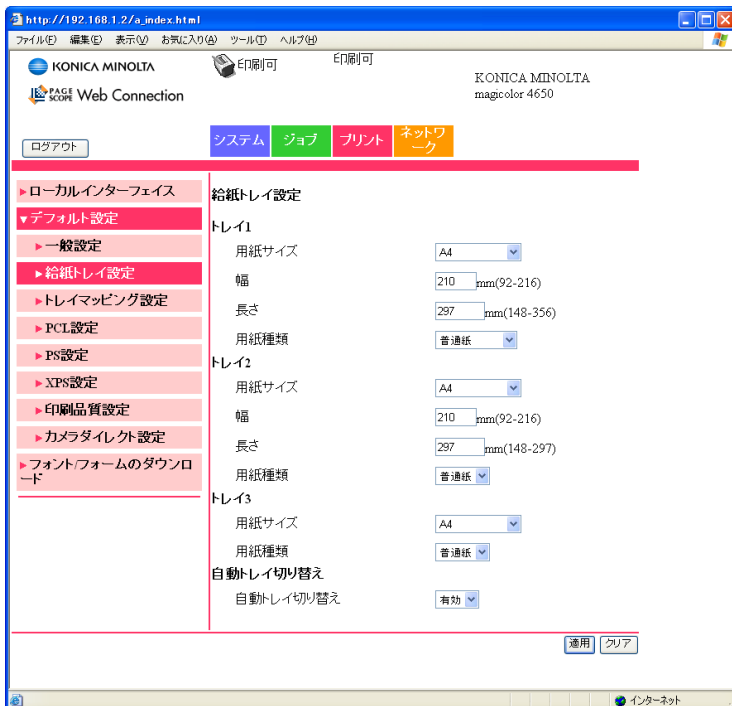
一般設定

プリント — デフォルト設定 — 一般設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
PDL	デフォルトのプリンタ制御言語を設定します。 設定値：自動、PCL、PS 初期値：自動 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — 優先ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ
給紙トレイ	通常使用される給紙トレイを設定します。 設定値：トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3 初期値：トレイ 2 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — 優先ﾄﾚｲ 「トレイ 3」はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。

項目	説明
両面	「長辺綴じ」に設定すると、長辺綴じで両面印刷されます。 「短辺綴じ」に設定すると、短辺綴じで両面印刷されます。 設定値： オフ、短辺綴じ、長辺綴じ 初期値： オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 両面印刷
排紙トレイ	排紙トレイの名称が表示されます。
部数	デフォルトの印刷部数を設定します。 範囲： 1 〜 9999 初期値： 1 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 印刷枚数
用紙サイズ	デフォルトの用紙のサイズを設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 用紙設定 — ﾃﾞﾌｫﾙﾄ用紙 — 用紙ｻｲｽﾞ
幅	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定した場合、カスタム用紙の幅を設定します。 範囲： 92 mm 〜 216 mm 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 用紙設定 — ﾃﾞﾌｫﾙﾄ用紙 — ｶｽﾀﾑ ｻｲｽﾞ — 幅
長さ	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定した場合、カスタム用紙の長さを設定します。 範囲： 148 mm 〜 356 mm 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 用紙設定 — ﾃﾞﾌｫﾙﾄ用紙 — ｶｽﾀﾑ ｻｲｽﾞ — 長さ
用紙種類	デフォルトの用紙種類を設定します。 設定値： 普通紙、再生紙、厚紙 1、厚紙 2、ラベル紙、OHP フィルム、封筒、ハガキ、レターヘッド、光沢紙 1、光沢紙 2 初期値： 普通紙 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 用紙設定 — ﾃﾞﾌｫﾙﾄ用紙 — 用紙種類

項目	説明
部単位印刷	「オン」に設定すると、文書の全ページが 1 部印刷されてから次の 1 部が印刷されます。 「オフ」に設定すると、文書は部単位で印刷されません。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 部単位印刷 この項目は、オプションのハードディスクキットまたは 1GB 以上のコンパクトフラッシュが装着されている場合に表示されます。
計測単位	カスタム用紙のサイズを指定するときの単位（インチまたはミリメートル）を設定します。 設定値： インチ、ミリメートル 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 用紙設定 — 計測単位
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

給紙トレイ設定

プリント — デフォルト設定 — 給紙トレイ設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
トレイ 1	用紙サイズ	トレイ 1 にセットする用紙のサイズを設定します。 初期値 : A4 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー : 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 1 — 用紙ｻｲｽﾞ

項目		説明
トレイ 1	幅	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定した場合、カスタム用紙の幅を設定します。 範囲： 92 mm ～ 216 mm 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 1 — ｶｽﾀﾑ ｻｲｽﾞ — 幅
	長さ	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定した場合、カスタム用紙の長さを設定します。 範囲： 148 mm ～ 356 mm 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 1 — ｶｽﾀﾑ ｻｲｽﾞ — 長さ
	用紙種類	トレイ 1 にセットする用紙の種類を設定します。 設定値： 任意、普通紙、再生紙、厚紙 1、厚紙 2、ラベル紙、OHP フィルム、封筒、ハガキ、レターヘッド、光沢紙 1、光沢紙 2 初期値： 普通紙 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 1 — 用紙種類
トレイ 2	用紙サイズ	トレイ 2 にセットする用紙のサイズを設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 設定値： レター、A4 初期値： A4 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 2 — 用紙ｻｲｽﾞ
	幅	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定した場合、カスタム用紙の幅を設定します。 範囲： 92 mm ～ 216 mm 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 2 — ｶｽﾀﾑ ｻｲｽﾞ — 幅
	長さ	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定した場合、カスタム用紙の長さを設定します。 範囲： 148 mm ～ 297 mm 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 2 — ｶｽﾀﾑ ｻｲｽﾞ — 長さ
	用紙種類	トレイ 2 にセットする用紙の種類を設定します。 設定値： 任意、普通紙、再生紙 初期値： 普通紙 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 2 — 用紙種類

項目		説明
トレイ 3 この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	用紙サイズ	トレイ 3 にセットした用紙のサイズを表示します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 3 — 用紙ｻｲｽﾞ
	用紙種類	トレイ 3 にセットする用紙の種類を設定します。 設定値： 任意、普通紙、再生紙 初期値： 普通紙 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 3 — 用紙種類
自動トレイ切替え	自動トレイ切替え	「有効」を設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。 「無効」を設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — 自動ﾄﾚｲ切替え
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。

トレイマッピング設定

プリント — デフォルト設定 — トレイマッピング設定画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
トレイマッピングモード	トレイマッピング機能を使用するかどうかを設定します。 設定値： オン、オフ 初期値： オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ — ﾄﾚｲﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ ﾓｰﾄﾞ

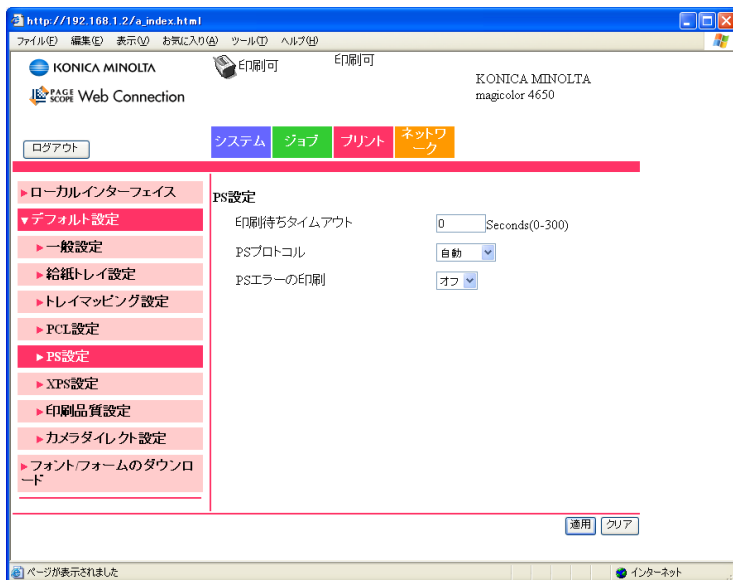
項目	説明
論理トレイ 0 ～ 9	他社のプリンタドライバからプリントジョブを受信した時に、どの給紙トレイを使用して印刷するかを設定します。 「論理トレイ 1」のみ工場出荷時の設定値が「物理トレイ 1」に設定されています。「論理トレイ 1」以外は、「物理トレイ 2」が工場出荷時の設定値です。 設定値： 物理トレイ 1 、物理トレイ 2 、物理トレイ 3 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ — 論理ﾄﾚｲ 0 ～ 9 「物理トレイ 3」はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

PCL 設定

プリント — デフォルト設定 — PCL 設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
フォント番号	PCL 言語でのデフォルトのフォント番号を設定します。 範囲： 0 ～ 102 初期値： 0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — PCL — ﾌｫﾝﾄｿｰｽ — ﾌｫﾝﾄ番号
シンボルセット	PCL 言語で使用するシンボルセットが表示されます。 初期値：PC-8 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — PCL — ﾌｫﾝﾄｿｰｽ — ｼﾝﾎﾞﾙｾｯﾄ
1 ページあたりの行数	PCL 言語でのページごとの行数を選択します。 範囲： 5 ～ 128 初期値： 60 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — PCL — ﾌｫｰﾑﾗｲﾝ
フォントのポイントサイズ	PCL 言語でのフォントのポイントサイズを設定します。 範囲： 4.00 ～ 999.75 初期値： 12.00 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — PCL — ﾌｫﾝﾄｿｰｽ — ﾎﾟｲﾝﾄｻｲｽﾞ
フォントのピッチサイズ	PCL 言語でのフォントのピッチサイズを設定します。 範囲： 0.44 ～ 99.99 初期値： 10.00 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — PCL — ﾌｫﾝﾄｿｰｽ — ﾋﾟｯﾁｻｲｽﾞ

項目	説明
CR/LF マッピング	PCL 言語での改行コードの定義を選択します。 設定値：CR=CR LF=LF、CR=CRLF LF=LF、CR=CR LF=LFCR、CR=CRLF LF=LFCR 初期値：CR=CR LF=LF 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — PCL — 改行ｺｰﾄﾞ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

PS 設定

プリント — デフォルト設定 — PS 設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
印刷待ちタイムアウト	ポストスクリプトエラーと判断するまでの時間を設定します。 「0」を設定した場合は、タイムアウトを行いません。 範囲： 0 ～ 300（秒） 初期値： 0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ — ｳｪｲﾄﾀｲﾑｱｳﾄ
PS プロトコル	PS プロトコルを設定します。 設定値： 自動、標準、バイナリ 初期値： 自動 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ — PS ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
PS エラーの印刷	エラープリントをするかどうかを設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ — PS ｴﾗｰﾍﾟｰｼﾞ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

XPS 設定

プリント — デフォルト設定 — XPS 設定画面では、以下の項目を設定できます。

このメニューは、オプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュが装着されている場合に表示されます。

項目	説明
電子署名	電子署名を確認するかどうか設定します。有効な電子署名がない場合は印刷されません。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — XPS — 電子署名
XPS エラープリント	エラープリントをするかどうかを設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オン 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — XPS — XPS ｴﾗｰﾍﾟｰｼﾞ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

印刷品質設定

http://192.168.1.2/a_index.html
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
KONICA MINOLTA
PAGE SCOPE Web Connection
印刷可
印刷可
KONICA MINOLTA
magicolor 4650
ログアウト
システム
ジョブ
プリント
ネットワーク
ローカルインターフェイス
デフォルト設定
一般設定
給紙トレイ設定
トレイマッピング設定
PCL設定
PS設定
XPS設定
印刷品質設定
カメラダイレクト設定
フォント/フォームのダウンロード
印刷品質設定
カラーモード
カラー
カラーセパレーション
オフ
明るさ調整
0
スクリーン
イメージ印刷
精細
テキスト印刷
高精細
グラフィックス印刷
精細
エッジ強調
イメージ印刷
オフ
テキスト印刷
オン
グラフィックス印刷
オン
エッジ強度
中間部
エコノミー印刷モード
オフ
ページが表示されました
インターネット

プリント — デフォルト設定 — 印刷品質設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
印刷品質設定	カラーモード	カラーで印刷するか、モノクロで印刷するかを設定します。 設定値： カラー、モノクロ 初期値： カラー 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — ｶﾗｰﾓｰﾄﾞ
	カラーセパレーション	色分解を行うかどうかを設定します。 設定値： オン、オフ 初期値： オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — ｶﾗｰｾﾊﾟﾚｰｼｮﾝ
	明るさ調整	印刷する画像の明るさを設定します。 設定値： +15%、+10%、+5%、0、-5%、-10%、-15% 初期値： 0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — 明るさ調整
	スクリーン（イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷）	イメージ、テキスト、グラフィックスの中間色の再現性を設定します。 「高精細」に設定すると、高精密に中間色を再現します。 「精細」に設定すると、精細に中間色を再現します。 「スムーズ」に設定すると、スムーズに中間色を再現します。 設定値： 高精細、精細、スムーズ 初期値： 精細（イメージ / グラフィックス）、高精細（テキスト） 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — ｽｸﾘｰﾝ
	エッジ強調（イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷）	イメージ、テキスト、グラフィックスのエッジ強調を行うかどうかを設定します。 設定値： オン、オフ 初期値： オフ（イメージ）、オン（テキスト / グラフィックス） 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — ｴｯｼﾞ強調

項目		説明
印刷品質設定	エッジ強度	エッジ強調を行う場合のエッジ強度を設定します。 設定値： オフ、下部、中間部、上部 初期値： 中間部 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — ｴｯｼﾞ強度
	エコノミー印刷モード	エコノミー印刷を行うかどうかを設定します。 エコノミー印刷モードでは、絵が多い印刷を行う場合に、トナー消費量を抑制することができます。 設定値： オン、オフ 初期値： オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — ｴｺﾉﾐｰ印刷

項目		説明
PCL 印刷設定	コントラスト調整	印刷する画像のコントラストを設定します。 設定値： +15%、+10%、+5%、0、-5%、-10%、-15% 初期値： 0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — PCL 印刷設定 — ｺﾝﾄﾗｽﾄ
	イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷（ソース）	RGB データの色空間を設定します。 設定値： デバイス色、sRGB 初期値： sRGB 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — PCL 印刷設定 — ｲﾒｰｼﾞ / ﾃｷｽﾄ / ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷 — RGB ｿｰｽ
	イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷（特性）	RGB データを CMYK データに変換するときの特性を設定します。 設定値： 鮮やか、写真調 初期値： 写真調（イメージ)、鮮やか（テキスト / グラフィックス） 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — PCL 印刷設定 — ｲﾒｰｼﾞ / ﾃｷｽﾄ / ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷 — RGB 特性
	イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷（グレー再現）	RGB データの黒色とグレーの再現方法を設定します。 設定値： 4 色（CMYK）トナー、全て黒（K）トナー、黒のみ黒（K）トナー 初期値： 4 色（CMYK）トナー（イメージ)、全て黒（K）トナー（テキスト / グラフィックス） 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — PCL 印刷設定 — ｲﾒｰｼﾞ / ﾃｷｽﾄ / ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷 — ｸﾞﾚｰ再現

項目		説明
PS 印刷設定	イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷（RGB ソース）	RGB データの色空間を設定します。 設定値： デバイス色、sRGB、AppleRGB、AdobeRGB1998、ColorMatchRGB、BlueAdjustRGB、Custom Profile 初期値： sRGB 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — PS 印刷設定 — ｲﾒｰｼﾞ／ﾃｷｽﾄ／ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷 — RGB ｿｰｽ
	イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷（RGB 特性）	RGB データを CMYK データに変換するときの特性を設定します。 設定値： 鮮やか、写真調、相対色、絶対色 初期値： 写真調（イメージ）、鮮やか（テキスト / グラフィックス） 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — PS 印刷設定 — ｲﾒｰｼﾞ／ﾃｷｽﾄ／ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷 — RGB 特性
	イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷（RGB グレー再現）	RGB データの黒色とグレーの再現方法を設定します。 設定値： 4 色（CMYK）トナー、全て黒（K）トナー、黒のみ黒（K）トナー 初期値： 4 色（CMYK）トナー（イメージ）、全て黒（K）トナー（テキスト / グラフィックス） 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — PS 印刷設定 — ｲﾒｰｼﾞ／ﾃｷｽﾄ／ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷 — ｸﾞﾚｰ再現
	イメージ印刷 / テキスト印刷 / グラフィックス印刷（出力プロファイル）	印刷に使用される出力プロファイルを設定します。 設定値： 自動、Custom Profile 初期値： 自動 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — PS 印刷設定 — ｲﾒｰｼﾞ／ﾃｷｽﾄ／ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷 — 出力ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ

項目		説明
PS 印刷設定	シミュレーションプロファイル	印刷に使用されるシミュレーションプロファイルを設定します。 設定値： なし、SWOP、Euroscale、CommercialPress, TOYO、DIC、Custom Profile 初期値： なし 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — PS 印刷設定 — ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ — ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ
	シミュレーション（特性）	印刷に使用されるシミュレーション特性を設定します。 設定値： 相対色、絶対色 初期値： 相対色 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — PS 印刷設定 — ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ — ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ特性
	シミュレーション（CMYK グレー再現）	CMYK4 色で作成された黒色とグレーの再現方法を設定します。 設定値：4 色（CMYK）トナー、全て黒（K）トナー、黒のみ黒（K）トナー 初期値：4 色（CMYK）トナー 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — PS 印刷設定 — ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ — CMYK ｸﾞﾚｲ再現

項目		説明
階調補正	濃度補正	濃度補正を行うかどうかを設定します。 設定値： オン、オフ 初期値： オン 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ — 階調補正 — 濃度補正
	シアン濃度 / マゼンタ濃度 / イエロー濃度 / ブラック濃度（ハイライト部）	ハイライト部の CMYK 濃度を設定します。 設定値： +3、+2、+1、0、-1、-2、-3 初期値： 0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ — 階調補正 — CMYK 濃度調整 — ｼｱﾝ / ﾏｾﾞﾝﾀ / ｲｴﾛｰ / ﾌﾞﾗｯｸ — ﾊｲﾗｲﾄ部
	シアン濃度 / マゼンタ濃度 / イエロー濃度 / ブラック濃度（中間部）	中間部の CMYK 濃度を設定します。 設定値： +3、+2、+1、0、-1、-2、-3 初期値： 0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ — 階調補正 — CMYK 濃度調整 — ｼｱﾝ / ﾏｾﾞﾝﾀ / ｲｴﾛｰ / ﾌﾞﾗｯｸ — 中間部
	シアン濃度 / マゼンタ濃度 / イエロー濃度 / ブラック濃度（シャドウ部）	シャドウ部の CMYK 濃度を設定します。 設定値： +3、+2、+1、0、-1、-2、-3 初期値： 0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ — 階調補正 — CMYK 濃度調整 — ｼｱﾝ / ﾏｾﾞﾝﾀ / ｲｴﾛｰ / ﾌﾞﾗｯｸ — ｼｬﾄﾞｳ部
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。

カメラダイレクト設定

プリント ― デフォルト設定 ― カメラダイレクト設定画面では、以下の項目を設定できます。

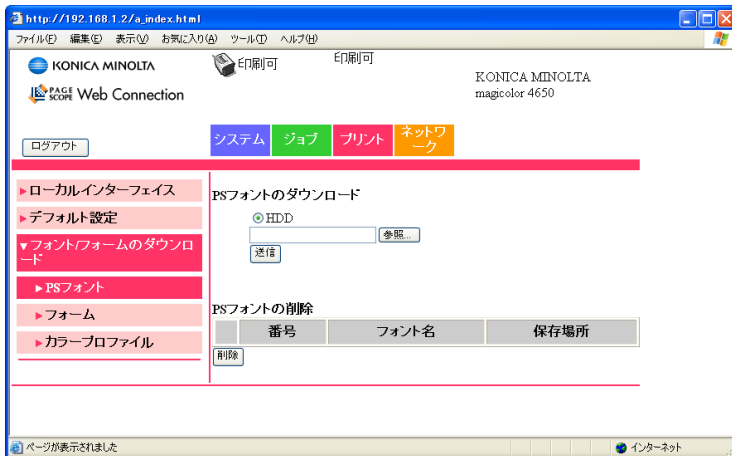
項目	説明
カメラダイレクト印刷	カメラダイレクト機能を有効にするかどうかを選択します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ ― ｶﾒﾗﾀﾞｲﾚｸﾄ
給紙トレイ	カメラダイレクト印刷で使用する給紙トレイを選択します。 設定値： トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3 初期値： トレイ 2 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ ― 給紙ﾄﾚｲ 「トレイ 3」はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。

項目	説明
レイアウト	1 枚の用紙に印刷する画像の数を設定します。 「1-up」に設定すると、1 枚の用紙に一つの画像が印刷されます。 設定値： 1-up、2-up、3-up、4-up、6-up、8-up 初期値： 1-up 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — ﾚｲｱｳﾄ
余白量	余白（印刷されない部分）の量を設定します。 「標準」に設定すると、通常の用紙余白が設定されます。 「ミニマム」に設定すると、余白が縮小されます。 設定値： 標準、ミニマム 初期値： 標準 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — 余白量
明るさ調整	印刷する画像の明るさを調節します。 設定値： -15%、-10%、-5%、0、+5%、+10%、+15% 初期値： 0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — ｲﾒｰｼﾞ 品質 — 明るさ調整
コントラスト調整	印刷する画像のコントラストを調節します。 設定値： -15%、-10%、-5%、0、+5%、+10%、+15% 初期値： 0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — ｲﾒｰｼﾞ 品質 — ｺﾝﾄﾗｽﾄ
エコノミー印刷モード	エコノミー印刷を行うかどうかを設定します。 エコノミー印刷モードでは、絵が多い印刷を行う場合に、トナー消費量を抑制することができます。 設定値： オン、オフ 初期値： オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — ｲﾒｰｼﾞ 品質 — ｴｺﾉﾐｰ印刷
RGB ソース	RGB の画像データの色空間を設定します。 「デバイス色」に設定すると、本プリンタのデバイスプロファイルを使用します。 設定値： デバイス色、sRGB 初期値： sRGB 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — ｲﾒｰｼﾞ 品質 — RGB ｿｰｽ

項目	説明
RGB 特性	RGB の画像データを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。 「鮮やか」に設定すると、鮮やかな出力になります。 「写真調」に設定すると、より明るい出力になります。 設定値： 鮮やか、写真調 初期値： 写真調 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — ｲﾒｰｼﾞ 品質 — RGB 特性
RGB グレー再現	RGB の画像データの黒色とグレーの再現方法を設定します。 「4 色（CMYK）トナー」を選択した場合は、CMYK のトナーを使用して再現します。 「全て黒（K）トナー」を選択した場合は、黒色、グレーともにブラックのトナーを使用して再現します。 「黒のみ黒（K）トナー」を選択した場合は、黒色のみブラックのトナーを使用して再現します。 設定値： 4 色（CMYK）トナー、全て黒（K）トナー、黒のみ黒（K）トナー 初期値： 4 色（CMYK）トナー 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — ｲﾒｰｼﾞ 品質 — ｸﾞﾚｰ再現
スクリーン	中間色の再現性を設定します。 「高精細」に設定すると、高精密に中間色を再現します。 「精細」に設定すると、精細に中間色を再現します。 「スムーズ」に設定すると、スムーズに中間色を再現します。 設定値： 高精細、精細、スムーズ 初期値： 精細 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — ｲﾒｰｼﾞ 品質 — ｽｸﾘｰﾝ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

フォント / フォームのダウンロード

このメニューは、オプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュが装着されている場合に表示されます。

PS フォント

プリント — フォント / フォームのダウンロード — PS フォント画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
PS フォントのダウンロード	HDD/ メモリーカード	フォントをダウンロードする場所を指定します。
	テキストボックス	ダウンロードするフォントのファイル名を指定します。
	［参照］ボタン	フォントファイルを参照するダイアログを表示します。
	［送信］ボタン	指定したフォントファイルを、プリンタに送信します。
PS フォントの削除	チェックボックス	削除したいフォントのチェックボックスを選択して［削除］をクリックすると、そのフォントがプリンタから削除されます。
	番号	フォントの管理番号が表示されます。
	フォント名	フォント名称が表示されます。
	保存場所	フォントが保存されている場所が表示されます。

項目	説明
［削除］ボタン	削除するフォントのいちばん左側のチェックボックスをチェックして［削除］ボタンをクリックすると、そのフォントが削除されます。

フォーム

プリント — フォント / フォームのダウンロード — フォーム画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
フォームのダウンロード	HDD/ メモリーカード	フォームをダウンロードする場所を指定します。
	テキストボックス	ダウンロードするフォームのファイル名を指定します。
	［参照］ボタン	フォームのファイルを参照するダイアログを表示します。
	［送信］ボタン	指定したフォームのファイルを、プリンタに送信します。
フォームの削除	チェックボックス	削除したいフォームのファイルのチェックボックスを選択して［削除］をクリックすると、そのフォームがプリンタから削除されます。
	番号	フォームの管理番号が表示されます。
	ファイル名	フォームのファイル名が表示されます。
	保存場所	フォームが保存されている場所が表示されます。

項目	説明
［削除］ボタン	削除するフォームのいちばん左側のチェックボックスをチェックして［削除］ボタンをクリックすると、そのフォームが削除されます。

カラープロファイル

プリント — フォント / フォームのダウンロード — カラープロファイル画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
カラープロファイルのダウンロード	HDD/ メモリーカード	カラープロファイルをダウンロードする場所を指定します。
	テキストボックス	ダウンロードするカラープロファイルのファイル名を指定します。
	［参照］ボタン	カラープロファイルのファイルを参照するダイアログを表示します。
	［送信］ボタン	指定したカラープロファイルのファイルを、プリンタに送信します。

項目		説明
カラープロファイルの削除	チェックボックス	削除したいカラープロファイルのファイルのチェックボックスを選択して［削除］をクリックすると、そのカラープロファイルがプリンタから削除されます。
	番号	カラープロファイルの管理番号が表示されます。
	ファイル名	カラープロファイルのファイル名が表示されます。
	プロファイル名	カラープロファイル名が表示されます。
	クラス	カラープロファイルのクラスが表示されます。
	色空間	カラープロファイルの色空間が表示されます。
	保存場所	カラープロファイルが保存されている場所が表示されます。
［削除］ボタン		削除するカラープロファイルのいちばん左側のチェックボックスをチェックして［削除］ボタンをクリックすると、そのカラープロファイルが削除されます。

ダウンロードマネージャを使用する場合、ダウンロードするフォーム /PS フォント / カラープロファイルのファイル名にロングファイル名を指定できません。その場合、ファイル名は 8.3 形式（MS-DOS 形式）に準拠したものを指定してください。また、プリンタドライバでは、最大 31 文字のファイル名を指定できます。

ネットワーク画面

ネットワーク画面では、ネットワークの設定を行うことができます。これらのプロトコルの詳細については、第7章"ネットワーク印刷"を参照してください。

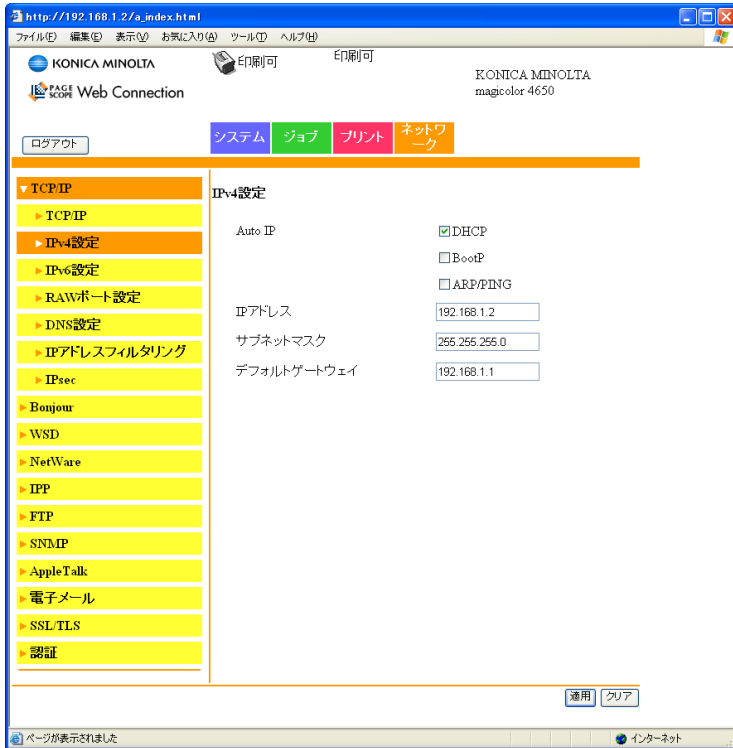
TCP/IP

TCP/IP（上記画面）

ネットワーク — TCP/IP — TCP/IP 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
TCP/IP	TCP/IP を有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — 有効

項目	説明
速度	イーサネットの動作モードと速度を設定します。 設定値 : 自動、10Base-T（Half）、10Base-T（Full）、100Base-TX（Half）、100Base-TX（Full）、1000Base-T（Full） 初期値 : 自動 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー : ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — SPEED/DUPLEX
LPD	LPD を使用するかどうかを設定します。 設定値 : 有効、無効 初期値 : 有効
SLP	SLP を使用するかどうかを設定します。 設定値 : 有効、無効 初期値 : 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー : ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — SLP — 有効
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

IPv4 設定

ネットワーク — TCP/IP — IPv4 設定画面画面では、以下の項目を設定できます。TCP/IP の詳細については、第 7 章 “ ネットワーク印刷 ” を参照してください。

項目	説明
Auto IP	プリンタの IP アドレスの自動割り当て方法を設定します。 設定値： DHCP、BootP、ARP/PING 初期値： DHCP 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — DHCP、BootP、ARP/PING

項目	説明
IP アドレス *	プリンタの IP アドレスを設定します。 範囲：　各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値：0.0.0.0 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — IP ｱﾄﾞﾚｽ 範囲外の数値の IP アドレスが入力された場合は、［適用］ボタンをクリックしても変更が適用されません。以前の数値にもどります。
サブネットマスク *	プリンタのサブネットマスクアドレスを設定します。 範囲：各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値：0.0.0.0 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ 範囲外の数値のサブネットマスクアドレスが入力された場合は、［適用］ボタンをクリックしても変更が適用されません。以前の数値にもどります。
デフォルトゲートウェイ *	ネットワークでルータを使用している場合は、ルータのアドレスを設定します。 範囲：各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値：0.0.0.0 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — ｹﾞｰﾄｳｪｲ 範囲外の数値のルータのアドレスが入力された場合は、［適用］ボタンをクリックしても変更が適用されません。以前の数値にもどります。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
* これらのアドレスを入力するときは、各 3 桁中の上位桁の 0 を入れずに入力してください。例えば、131.011.010.001 の場合は 131.11.10.1 として入力します。	

IPv6 設定

ネットワーク — TCP/IP — IPv6 設定画面では、以下の項目を設定できます。TCP/IP の詳細については、第 7 章 " ネットワーク印刷 " を参照してください。

項目	説明
IPv6	IPv6 を有効にするかどうかを設定します。 設定値 : 有効、無効 初期値 : 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー : ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — IPv6 — 有効
IPv6 自動設定	IPv6 アドレスを自動的に取得するかどうかを設定します。 設定値 : 有効、無効 初期値 : 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー : ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — IPv6 — 自動設定

項目	説明
IPv6 リンクローカルアドレス	IPv6 リンクローカルアドレスが表示されます。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー : ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — IPv6 — ﾘﾝｸ ﾛｰｶﾙ ｱﾄﾞﾚｽ
IPv6 グローバルアドレス	IPv6 グローバルアドレスを設定します。 範囲 : 半角 43 文字以下 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー : ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — IPv6 — ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ ｱﾄﾞﾚｽ IPv6 自動設定が「有効」に設定されている場合、ここでの設定変更は適用されません。
IPv6 ゲートウェイアドレス	IPv6 ゲートウェイアドレスを設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー : ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — IPv6 — ｹﾞｰﾄｳｪｲ IPv6 自動設定が「有効」に設定されている場合、ここでの設定変更は適用されません。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

RAW ポート設定

ネットワーク — TCP/IP — RAW ポート設定画面では、以下の項目を設定できます。TCP/IP の詳細については、第 7 章 “ ネットワーク印刷 ” を参照してください。

項目	説明
RAW ポート	RAW ポートを使用するかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — RAW ﾎﾟｰﾄ — 有効
RAW ポート番号	プリンタの TCP/IP ポートの RAW ポート番号が表示されます。 設定値： 1-65535 初期値： 9100 現在使用されているポート番号と、161、443 および 631 は指定できません。

項目	説明
RAW ポート双方向	RAW ポートの双方向通信を有効にするかどうか設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — RAW ﾎﾟｰﾄ — 双方向
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

DNS 設定

ネットワーク — TCP/IP — DNS 設定画面では、以下の項目を設定できます。TCP/IP の詳細については、第 7 章 “ ネットワーク印刷 ” を参照してください。

項目	説明
ホスト名	ホスト名を設定します。 範囲：　半角 63 文字以下 初期値：　MC4650-xxxxxx xxxxxx には､MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
ドメイン名	ドメイン名を設定します。 範囲：　半角 63 文字以下 初期値：（空白）
ドメイン名自動取得	DNS デフォルトドメイン名を DHCP サーバ等から自動的に取得するかどうか設定します。 設定値：　有効、無効 初期値：　有効
DNS サーバ	DNS サーバーを設定します。最大 3 つまで登録できます。 初期値：　0.0.0.0 IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを設定できます。
DNS サーバ自動取得	DNS サーバアドレスを DHCP サーバ等から自動的に取得するかどうか設定します。 設定値：　有効、無効 初期値：　有効
ダイナミック DNS	ダイナミック DNS を使用するかどうかを設定します。 設定値：　有効、無効 初期値：　無効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー : ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — ﾀﾞｲﾅﾐｯｸ DNS — 有効
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
* これらのアドレスを入力するときは、各 3 桁中の上位桁の 0 を入れずに入力してください。例えば、131.011.010.001 の場合は 131.11.10.1 として入力します。	

IP アドレスフィルタリング

ネットワーク — TCP/IP — IP アドレスフィルタリング画面では、IP アドレスを指定して、プリンタへのアクセスを制限します。

以下の設定は、DNS サーバおよび DHCP サーバへの通信には適用されません。

「許可アドレス」で許可した IP アドレスの範囲が、「拒否アドレス」で拒否した IP アドレス範囲と重複した場合は、「拒否アドレス」の拒否設定が優先されます。

項目	説明
許可アドレス	「有効」に設定すると、プリンタへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を指定できます。 許可する IP アドレスの範囲は、5 つまで指定できます。また、指定した範囲以外の IP アドレスからのアクセスは拒否されます。 「無効」に設定すると、アクセス許可設定は無効になります。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — IP ｱﾄﾞﾚｽﾌｨﾙﾀ — ｱｸｾｽ許可
アクセスを許可する IP アドレス範囲	プリンタへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を指定します。左のテキストボックスに開始 IP アドレスを、右のテキストボックスに終了 IP アドレスを入力します。 範囲： 各 3 桁の数値が 0~225 初期値： 0.0.0.0 単独の IP アドレスを指定する場合には、開始 IP アドレスと終了 IP アドレスとに同じ IP アドレスを入力するか、開始 IP アドレスもしくは終了 IP アドレスに 0.0.0.0 を入力します。 終了IPアドレスよりも開始IPアドレスの方が値が大きい場合、設定は反映されません。
拒否アドレス	「有効」に設定すると、プリンタへのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を指定できます。 拒否する IP アドレスの範囲は、5 つまで指定できます。 「無効」に設定すると、アクセス拒否設定は無効になります。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — IP ｱﾄﾞﾚｽﾌｨﾙﾀ — ｱｸｾｽ 拒否

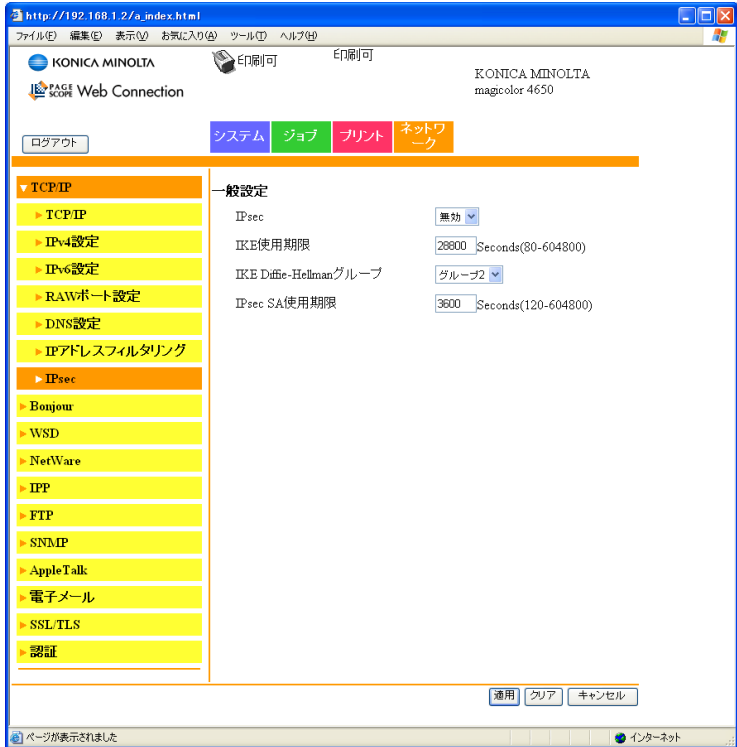
項目	説明
アクセスを拒否する IP アドレス範囲	プリンタへのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を指定します。左のテキストボックスに開始 IP アドレスを、右のテキストボックスに終了 IP アドレスを入力します。 範囲：　各 3 桁の数値が 0~225 初期値：0.0.0.0 単独の IP アドレスを指定する場合には、開始 IP アドレスと終了 IP アドレスとに同じ IP アドレスを入力するか、開始 IP アドレスもしくは終了 IP アドレスに 0.0.0.0 を入力します。 終了IPアドレスよりも開始IPアドレスの方が値が大きい場合、設定は反映されません。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
* これらのアドレスを入力するときは、各 3 桁中の上位桁の 0 を入れずに入力してください。例えば、131.011.010.001 の場合は 131.11.10.1 として入力します。	

IPsec

ネットワーク — TCP/IP — IPsec 画面では、以下の項目を設定できます。
TCP/IP の詳細については、第 7 章 " ネットワーク印刷 " を参照してください。

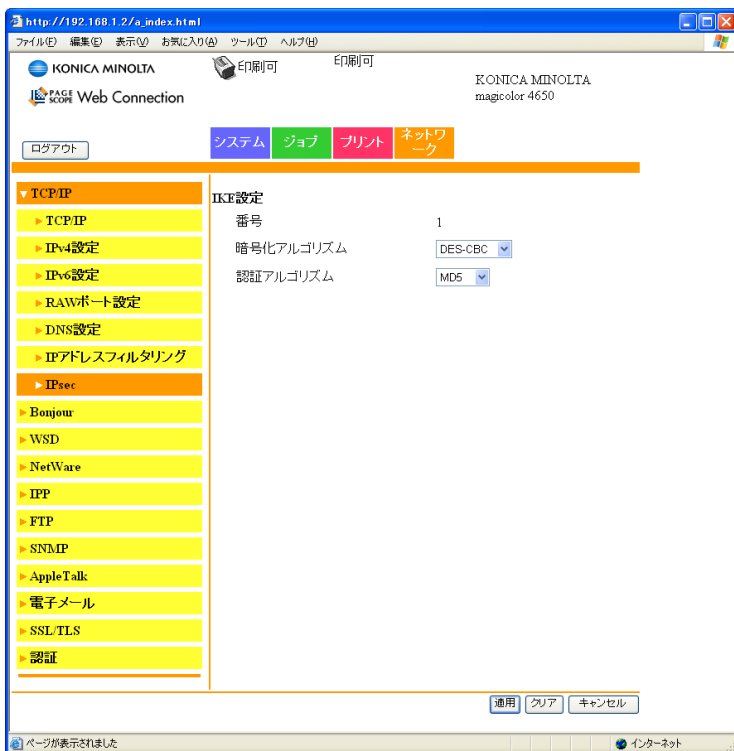
項目		説明
一般設定	IPsec	IPsec が有効かどうか表示されます。
	IKE 使用期限	IKE の使用期限が表示されます。
	IKE Diffie-Hellman グループ	IKE Diffie-Hellman グループが表示されます。
	IPsec SA 使用期限	IPsec SA の使用期限が表示されます。
	［編集］アイコン	クリックすると、一般設定画面が表示されます。
IKE 設定 /IPsec SA 設定 / IPsec Peer 設定		登録されている設定が表示されます。

項目	説明
IKE 設定 /IPsec SA 設定 / IPsec Peer 設定（[編集］アイコン）	クリックすると、設定画面が表示されます。
IKE 設定 /IPsec SA 設定 / IPsec Peer 設定（[削除］アイコン）	クリックすると、設定が削除されます。

IPsec（一般設定）

ネットワーク — IPsec — 一般設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
IPsec	IPsec を有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — IPSEC — 有効

項目	説明
IKE 使用期限	IKE の使用期限を設定します。 範囲：　80 ～ 604800（秒） 初期値：28800
IKE Diffie-Hellman グループ	IKE Diffie-Hellman グループを選択します。 設定値：グループ 1、グループ 2 初期値：グループ 2
IPsec SA 使用期限	IPsec SA の使用期限を設定します。 範囲：　120 ～ 604800（秒） 初期値：3600
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、IPsec 画面に戻ります。

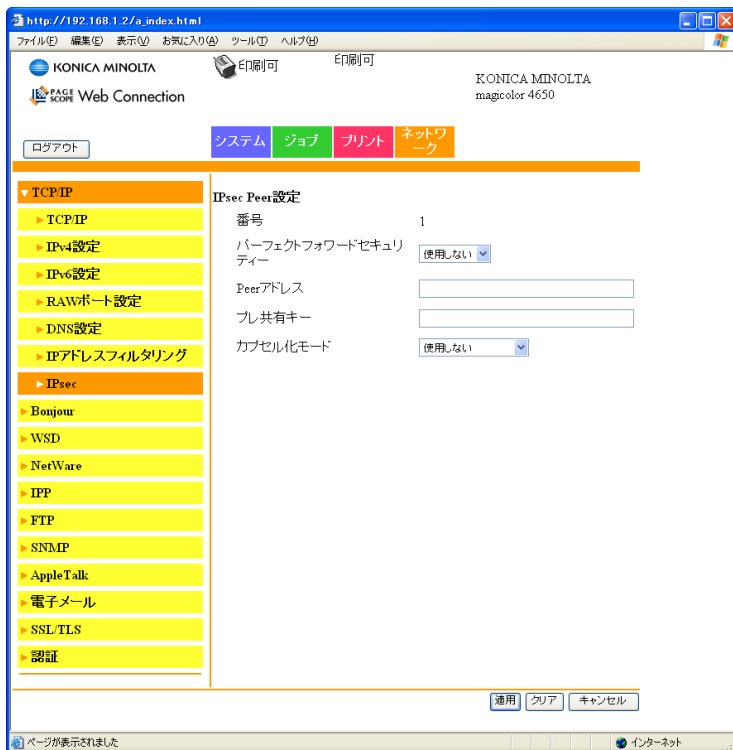
IPsec（IKE 設定）

ネットワーク — IPsec — IKE 設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
番号	登録番号が表示されます。
暗号化アルゴリズム	制御用トンネルを作るときに使用する暗号化アルゴリズムを指定します。 設定値： DES-CBC、3DES-CBC 初期値： DES-CBC
認証アルゴリズム	制御用トンネルを作るときに使用する認証アルゴリズムを指定します。 設定値： MD5、SHA-1 初期値： MD5
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、IPsec 画面に戻ります。

IPsec（IPsec SA 設定）

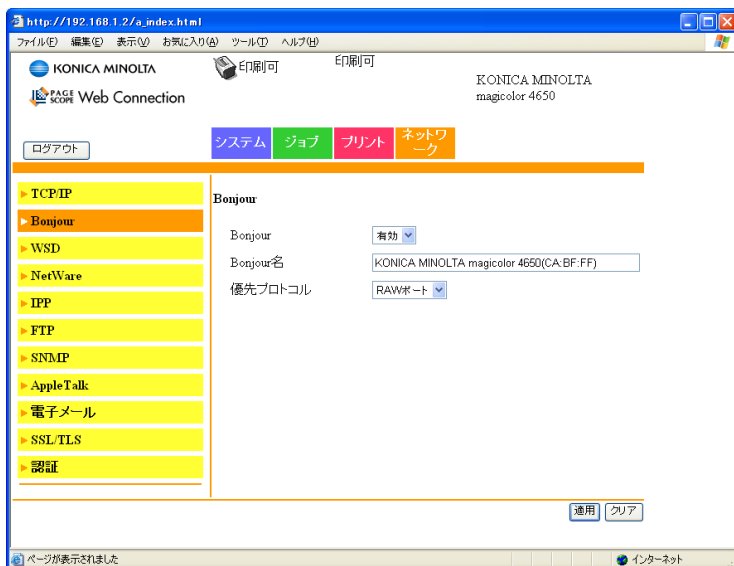
ネットワーク — IPsec — IPsec SA 設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
番号	登録番号が表示されます。
セキュリティプロトコル	セキュリティプロトコルを設定します。 設定値： AH、ESP、ESP & AH 初期値： AH
ESP 暗号化アルゴリズム	セキュリティプロトコルが「ESP」に設定されている場合、ESP 暗号化アルゴリズムを設定します。 設定値： なし、DES-CBC、3DES-CBC、AES-CBC、AES-CTR 初期値： なし
ESP 認証アルゴリズム	セキュリティプロトコルが「ESP」に設定されている場合、ESP 認証アルゴリズムを設定します。 設定値： なし、MD5、SHA-1 初期値： なし
AH 認証アルゴリズム	セキュリティプロトコルが「AH」に設定されている場合、AH 認証アルゴリズムを設定します。 設定値： MD5、SHA-1 初期値： MD5
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、IPsec 画面に戻ります。

IPsec（IPsec Peer 設定）

ネットワーク — IPsec — IPsec Peer 設定画面では、以下の項目を設定できます。

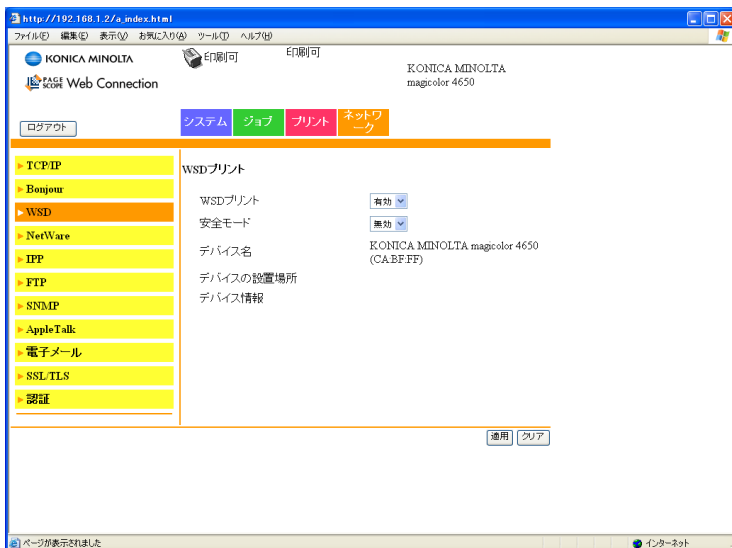
項目	説明
番号	登録番号が表示されます。
パーフェクトフォワードセキュリティー	IKE の強度を上げたい場合は、「使用する」を選択します。 設定値：使用しない、使用する 初期値：使用しない
Peer アドレス	通信先の IP アドレスを設定します。 範囲：　半角 2 ～ 39 文字以下 初期値：（空白）
プレ共有キー	通信相手先と共有する Pre-Shared Key 文字列を設定します。 範囲：　半角 64 文字以下 初期値：（空白）

項目	説明
カプセル化モード	IPsec の動作モードを設定します。 設定値： 使用しない、トンネルモード、トランスポートモード 初期値： 使用しない
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、IPsec 画面に戻ります。

Bonjour

ネットワーク — Bonjour 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
Bonjour	Bonjour 機能を有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — BONJOUR — 有効

項目	説明
Bonjour 名	プリンタの Bonjour 名を設定します。 範囲：　半角 63 文字以下 初期値：KONICA MINOLTA magicolor 4650（xx:xx:xx） xx:xx:xx には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
優先プロトコル	Bonjour で優先的に接続するプロトコルを指定します。 設定値：LPD、RAW ポート、IPP 初期値：RAW ポート
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

WSD

ネットワーク — WSD 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
WSD プリント	WSD プリント機能を使用するかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — WSD 印刷 — 有効
安全モード	WSD 通信を SSL で行うかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効 SSL/TLS 設定が有効な場合に表示されます。
デバイス名	デバイス名が表示されます。 初期値： KONICA MINOLTA magicolor 4650(xx:xx:xx) システム—マシン設定画面で設定されたデバイス名が表示されます。

項目	説明
デバイスの設置場所	デバイスの設置場所が表示されます。 初期値：（空白） システム — マシン設定画面で設定されたデバイスの設置場所が表示されます。
デバイス情報	デバイスの情報が表示されます。 初期値：（空白） システム — マシン設定画面で設定されたデバイスの情報が表示されます。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

NetWare

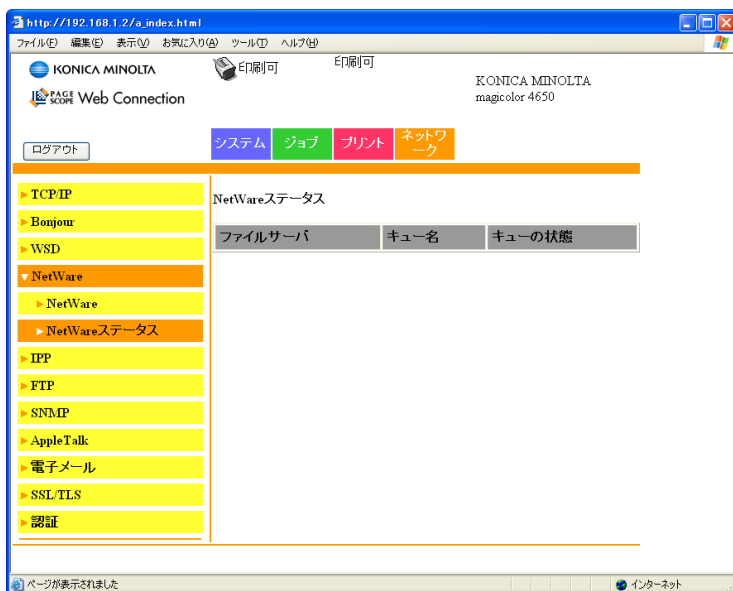
NetWare

ネットワーク — NetWare — NetWare 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
NetWare	NetWare 印刷	NetWare を有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — NETWARE — 有効
	フレームタイプ	フレームタイプを設定します。 設定値： 自動、Ethernet 802.2、Ethernet 802.3、Ethernet II、Ethernet SNAP 初期値： 自動
NetWare	モード	NetWare のモードを設定します。 設定値： 無効、PServer、Nprinter/Rprinter 初期値： 無効

項目		説明
PServer	プリントサーバ名	プリンタのサーバ名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： MC4650-xxxxxx xxxxxx には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
	プリントサーバパスワード	プリントサーバのパスワードを設定します。 範囲： 半角 31 文字以下 初期値：（空白）
	パスワードの再入力	確認のため、新しいパスワードを再入力します。 範囲： 半角 31 文字以下 初期値：（空白）
	プリントキュー取得間隔	キュースキャン間隔を設定します。 範囲： 1 ～ 65535（秒） 初期値： 1
	バインダリ / NDS	バインダリの設定を行います。 設定値： NDS、バインダリ /NDS、バインダリ 初期値： NDS
	優先ファイルサーバ	プリンタの優先ファイルサーバを設定します。 範囲： 半角 47 文字以下 初期値：（空白）
	優先 NDS コンテキスト名	プリンタの優先 NDS コンテキストを設定します。 範囲： 半角 191 文字以下 初期値：（空白）
	優先 NDS ツリー名	プリンタの優先 NDS ツリーを設定します。 範囲： 半角 191 文字以下 初期値：（空白）

項目		説明
Nprinter/ Rprinter	プリンタ名	プリンタ名を設定します。 範囲：　半角 63 文字以下 初期値：MC4650-xxxxxx xxxxxx には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
	プリンタ番号	プリンタ番号を設定します。 範囲：　0 ～ 255 初期値：255
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。

NetWare ステータス

ネットワーク — NetWare — NetWare ステータス画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
ファイルサーバ	NetWare のファイルサーバが表示されます。
キュー名	NetWare のキュー名が表示されます。
キューの状態	NetWare のキューの状態が表示されます。

IPP

ネットワーク — IPP 画面では、以下の項目を設定できます。IPP の詳細については、第 7 章 “ ネットワーク印刷 ” を参照してください。

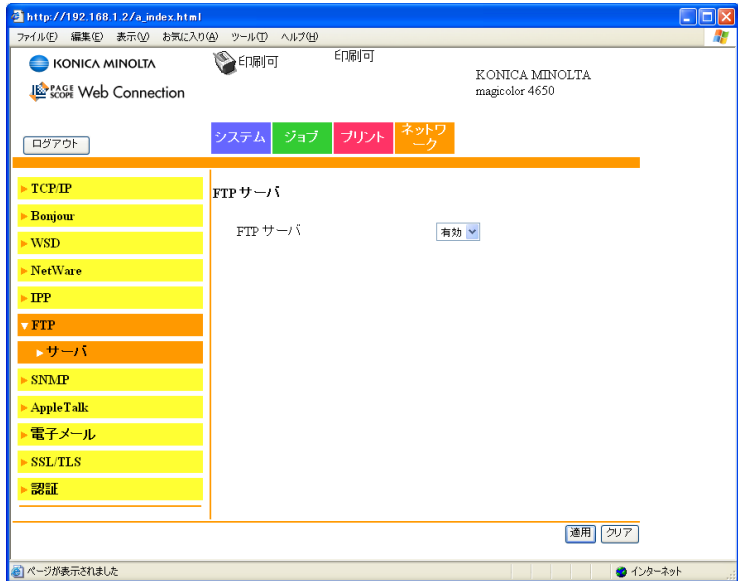
設定を有効にするためには、設定後にプリンタを再起動してください。

項目	説明
IPP 印刷	IPP を有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — IPP — 有効

項目	説明
IPP ジョブの受信	IPP ジョブの受信を有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
プリンタ名	プリンタ名が表示されます。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： KONICA MINOLTA magicolor 4650(xx:xx:xx) システム — マシン設定画面で設定します。
プリンタの場所	プリンタを設置してある場所が表示されます。 初期値：（空白） システム — マシン設定画面で設定します。
プリンタの情報	プリンタの情報が表示されます。 初期値：（空白） システム — マシン設定画面で設定します。
プリンタ URI	プリンタの URI が表示されます。 – http://IP アドレス /ipp – http://FQDN:/ipp – ipp://IP アドレス /ipp – ipp://FQDN:/ipp – https://IP アドレス /ipp – https://FQDN:/ipp "https://IPアドレス/ipp" および "https://FQDN:/ipp" は、SSL/TLS 設定が有効な場合にのみ表示されます。

項目		説明
サポートする操作	ジョブのプリント	この項目をチェックすると、ジョブがプリントできるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブの確認	この項目をチェックすると、プリントジョブを確認できるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブのキャンセル	この項目をチェックすると、ジョブをキャンセルできるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブ属性の取得	この項目をチェックすると、ジョブの属性を取得できるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブの取得	この項目をチェックすると、ジョブを取得できるようになります。 初期値：（チェック済み）
	プリンタ属性の取得	この項目をチェックすると、プリンタの属性を取得できるようになります。 初期値：（チェック済み）
IPP 認証		IPP 印刷時の認証方式を設定します。 設定値： なし、要求ユーザ名、ベーシック認証、ダイジェスト認証 初期値： 要求ユーザ名
ユーザ認証名		ベーシック認証、ダイジェスト認証で使用するユーザ名を設定します。 範囲： 半角 20 文字以下 初期値： user
パスワード		ベーシック認証、ダイジェスト認証で使用するパスワードを設定します。 範囲： 半角 20 文字以下 初期値： pass
領域		認証方式がベーシック認証またはダイジェスト認証の場合、領域を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： IPP
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。

FTP

サーバ

ネットワーク — FTP — サーバ画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
FTP サーバ	FTP サーバを有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — FTP — 有効
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

SNMP

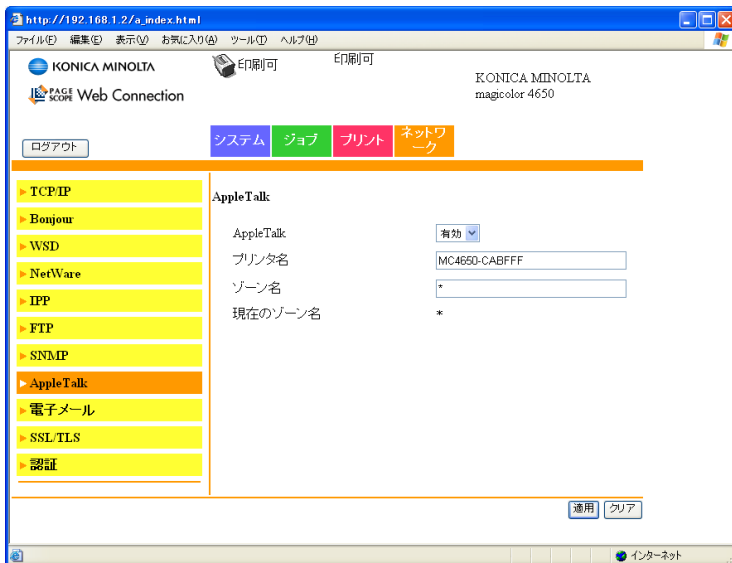
http://192.168.1.2/a_index.html
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
KONICA MINOLTA
PAGE SCOPE Web Connection
印刷可
印刷可
KONICA MINOLTA
magicolor 4650
ログアウト
システム
ジョブ
プリント
ネットワーク
TCP/IP
Bonjour
WSD
NetWare
IPP
FTP
SNMP
AppleTalk
電子メール
SSL/TLS
認証
SNMP
SNMP 有効
SNMP v1/v2c(IP) 有効
SNMP v3(IP) 有効
SNMP v1(IPX) 有効
UDPポート 161
SNMP v1/v2c(IP)
リードコミュニティ名 public
ライト 有効
ライトコミュニティ名 private
SNMP v3
コンテキスト名
開示 有効
開示ユーザ名 public
リードユーザ名 initial
ページが表示されました
インターネット

ネットワーク — SNMP 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
SNMP	SNMP	SNMP を有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — SNMP — 有効
	SNMP v1/v2c(IP)	SNMP v1/v2c(IP) を使用する場合は、「有効」を選択します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	SNMP v3(IP)	SNMP v3(IP) を使用する場合は、「有効」を選択します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	SNMP v1(IPX)	SNMP v1(IPX) を使用する場合は、「有効」を選択します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	UDP ポート	UDP ポート番号を設定します。 範囲： 1 ～ 65535 初期値： 161
SNMP v1/v2c/(IP)	リードコミュニティ名	読み取り時に使用されるコミュニティ名を設定します。 範囲： 半角 15 文字以下 初期値： public
	ライト	読み書きを有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	ライトコミュニティ名	読み書き時に使用されるコミュニティ名を設定します。 範囲： 半角 15 文字以下 初期値： private

項目		説明
SNMP v3	コンテキスト名	コンテキスト名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値：（空白）
	開示	検出用ユーザ名を有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	開示 ユーザ名	検出用ユーザ名を設定します。 範囲： 半角 32 文字以下 初期値： public
	リード ユーザ名	読み取り専用ユーザのユーザ名を設定します。 範囲： 半角 32 文字以下 初期値： initial 開示ユーザ名とは別の名前を設定してください。
	リードセキュリティレベル	読み取り専用ユーザのセキュリティレベルを設定します。 設定値： なし、認証パスワード、認証パスワード / プライバシーパスワード 初期値： 認証パスワード / プライバシーパスワード
	リード認証パスワード	読み取り専用ユーザの認証パスワードを設定します。 範囲： 半角 8 ～ 32 文字 初期値： AuthPassword
	リードプライバシーパスワード	プライバシ（暗号）に使用する読み取り専用ユーザのプライバシーパスワードを設定します。 範囲： 半角 8 ～ 32 文字 初期値： PrivPassword
	ライト ユーザ名	読み書き専用ユーザのユーザ名を設定します。 範囲： 半角 32 文字以下 初期値： restrict 開示ユーザ名とは別の名前を設定してください。

項目		説明
SNMP v3	ライトセキュリティレベル	読み書き専用ユーザのセキュリティレベルを設定します。 設定値： なし、認証パスワード、認証パスワード / プライバシーパスワード 初期値： 認証パスワード / プライバシーパスワード
	ライト認証パスワード	読み書き専用ユーザの認証パスワードを設定します。 範囲： 半角 8 ～ 32 文字 初期値： <Mac address>（コロンは含まない）
	ライトプライバシーパスワード	プライバシ（暗号化）に使用される読み書き専用ユーザのプライバシーパスワードを設定します。 範囲： 半角 8 ～ 32 文字 初期値： <Mac address>（コロンは含まない）
TRAP 設定	許可設定	TRAP 機能を使用するかどうかを設定します。 設定値： 許可、禁止 初期値： 許可
	認証失敗時の TRAP 設定	認証失敗時に TRAP 機能を使用するかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。

AppleTalk

ネットワーク — AppleTalk 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
AppleTalk	AppleTalk を有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — APPLETALK — 有効
プリンタ名	プリンタ名を設定します。 範囲： 半角 31 文字以下 初期値： MC4650-xxxxxx xxxxxx には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
ゾーン名	ゾーン名を設定します。 範囲： 半角 31 文字以下 初期値： *
現在のゾーン名	現在設定されているゾーン名が表示されます。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

電子メール

電子メールの送信

ネットワーク — 電子メール — 電子メールの送信画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
電子メールの送信	送信	電子メールの送信を有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — SMTP — 有効
	SMTP サーバアドレス	メール送信サーバのアドレスを設定します。 IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、またはホスト名を設定できます。 範囲： 半角 255 文字以下 初期値： 0.0.0.0
	ポート番号	メール送信サーバのポート番号を設定します。 範囲： 1 ～ 65535 初期値： 25
	接続タイムアウト	メール送信時の接続タイムアウト時間を設定します。 範囲： 30 ～ 300（秒） 初期値： 60
SMTP 認証	SMTP 認証	SMTP サーバ認証を有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効
	アカウント	SMTP 認証で使用されるアカウント名を設定します。 範囲： 半角 255 文字以下 初期値：（空白）
	パスワード	SMTP 認証で使用されるパスワードを設定します。 範囲： 半角 128 文字以下 初期値：（空白）
	領域	認証方式が「Digest-MD5」の場合、realm を設定します。 範囲： 半角 255 文字以下 初期値：（空白）
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。

項目	説明
* これらのアドレスを入力するときは、各 3 桁中の上位桁の 0 を入れずに入力してください。例えば、131.011.010.001 の場合は 131.11.10.1 として入力します。	

SSL/TLS

SSL/TLS 情報

ネットワーク — SSL/TLS — SSL/TSL 情報画面では、SSL/TLS の設定を行うことができます。

SSL/TLS は、デフォルトではインストールされていません。[設定] ボタンをクリックすると、証明書を自己作成して SSL の設定を行うことができます。

項目	説明
[設定] ボタン	SSL/TLS 設定画面が表示されます。

SSL/TLS 設定（証明書がインストールされていない場合）

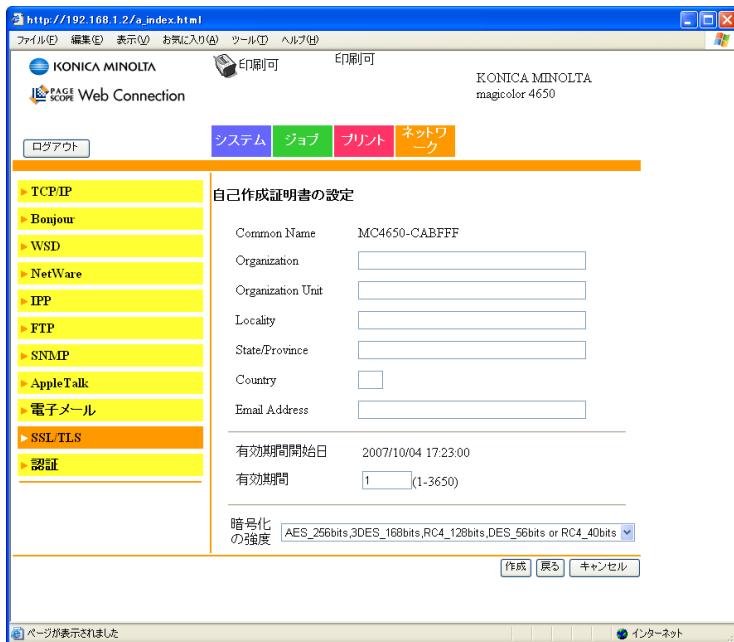
ネットワーク — SSL/TLS — SSL/TLS 設定画面では、次に表示する SSL/TLS の設定画面を選択します。

項目	説明
証明書の自己作成	証明書を自己作成します。
証明書の要求	証明書発行を認証局に要求するためのデータを作成します。
証明書のインストール	認証局が発行した証明書をインストールします。
[次へ] ボタン	選択した画面が表示されます。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

SSL/TLS 設定（証明書がインストールされている場合）

ネットワーク — SSL/TLS — SSL/TLS 設定画面では、次に表示する SSL/TLS の設定画面を選択します。

項目	説明
証明書の要求	証明書発行を認証局に要求するためのデータを作成します。
SSL/TLS 暗号化強度の設定	暗号化の強度を設定できます。また、SSL/TLS を無効に設定することもできます。
証明書の破棄	証明書を破棄できます。
SSL/TLS で通信するモード	SSL で通信するモードを設定します。
［次へ］ボタン	選択した画面が表示されます。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

自己作成証明書の設定

ネットワーク — SSL/TLS — 自己作成証明書の設定画面では、証明書を自己発行して、SSL の設定を行うことができます。

項目	説明
Common Name	SSL 証明書の作成に使用する、プリンタのコモンネームが表示されます。コモンネームは「プリンタのホスト名 .DNS サーバ名」で構成されています。DNS サーバが利用できない場合には、コモンネームにはプリンタのホスト名のみが使用されます。 この文字列は変更できません。
Organization	組織名または団体名を設定します。 範囲：　半角 63 文字以下 初期値：（空白）
Organization Unit	部署名を設定します。 範囲：　半角 63 文字以下 初期値：（空白）

項目	説明
Locality	市町村名を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
State/Province	州名または県名を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
Country	国名を、ISO03166 で規定されている国コードで設定します。 範囲：　半角 2 文字 初期値：（空白）
Email Address	電子メールのアドレスを指定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
有効期間開始日	現在時刻が表示されます。
有効期間	有効期間を設定します。 範囲：　1 ～ 3650（日） 初期値：1
暗号化の強度	暗号の強度を選択します。 設定値： – AES_256bits、3DES_168bits、RC4_128bits、DES_56bits、RC4_40bits – 3DES_168bits、RC4_128bits、DES_56bits、RC4_40bits – RC4_128bits、DES_56bits、RC4_40bits 初期値：AES_256bits、3DES_168bits、RC4_128bits、DES_56bits、RC4_40bits
［作成］ボタン	自己証明書を作成します。 証明書を作成するために数分かかります。
［戻る］ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

証明書の要求

ネットワーク — SSL/TLS — 証明書の要求画面では、以下の項目が設定できます。

項目	説明
Common Name	SSL 証明書の作成に使用する、プリンタのコモンネームが表示されます。コモンネームは「プリンタのホスト名 .DNS サーバ名」で構成されています。DNS サーバが利用できない場合には、コモンネームにはプリンタのホスト名のみが使用されます。 この文字列は変更できません。
Organization	組織名または団体名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値：（空白）
Organization Unit	部署名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値：（空白）
Locality	市町村名を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値：（空白）

項目	説明
State/Province	州名または県名を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
Country	国名を、ISO03166 で規定されている国コードで設定します。 範囲：　半角 2 文字 初期値：（空白）
Email Address	電子メールのアドレスを指定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
［次へ］ボタン	証明書発行のための要求データを作成します。
［戻る］ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

証明書の要求

ネットワーク — SSL/TLS — 証明書の要求画面では、認証局に提出する、証明書発行要求用のデータを表示します。

項目	説明
証明書の要求	認証機関に提出するためのデータを表示します。このデータは証明書署名要求（CSR、Certificate Signing Request）と呼ばれ、ユーザから認証機関に提出されることになります。
［保存］ボタン	証明書発行要求用データを、名前を付けて保存します。
［OK］ボタン	SSL/TLS 情報画面に戻ります。

証明書のインストール

ネットワーク — SSL/TLS — 証明書のインストール画面では、認証局から発行された証明書をインストールできます。

項目	説明
証明書のインストール	署名済みの証明書署名要求（CSR、Certificate Signing Request）をこのテキストエリアに貼り付けます。
［次へ］ボタン	暗号化の強度の設定画面が表示されます。
［戻る］ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

暗号化の強度の設定

このメニューは、証明書がインストールされている場合に表示されます。

ネットワーク — SSL/TLS — 暗号化の強度の設定画面では、暗号化の強度を設定できます。

項目	説明
暗号化の強度	暗号の強度を設定します。 設定値： – AES_256bits、3DES_168bits、RC4_128bits、DES_56bits、RC4_40bits – 3DES_168bits、RC4_128bits、DES_56bits、RC4_40bits – RC4_128bits、DES_56bits、RC4_40bits 初期値： AES_256bits、3DES_168bits、RC4_128bits、DES_56bits、RC4_40bits
［作成］ボタン	暗号化の強度を設定します。ネットワーク — SSL/TLS — 証明書のインストール画面から移動してきた場合には、証明書をインストールします。
［戻る］ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。

項目	説明
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

証明書の破棄

このメニューは、証明書がインストールされている場合に表示されます。

ネットワーク — SSL/TLS — 証明書の破棄画面では、インストールされている証明書を削除できます。

項目	説明
［OK］ボタン	確認画面が表示されます。確認画面で［OK］ボタンをクリックすると、証明書が削除されます。
［戻る］ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

SSL/TLS で通信するモード

このメニューは、証明書がインストールされている場合に表示されます。

ネットワーク — SSL/TLS — SSL/TLS で通信するモード画面では、SSL で通信するモードを設定できます。

項目	説明
SSL/TLS で通信するモード	SSL で通信するモードを選択します。 設定値： 無効、有効 初期値： 無効
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
［戻る］ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

認証

ユーザ認証

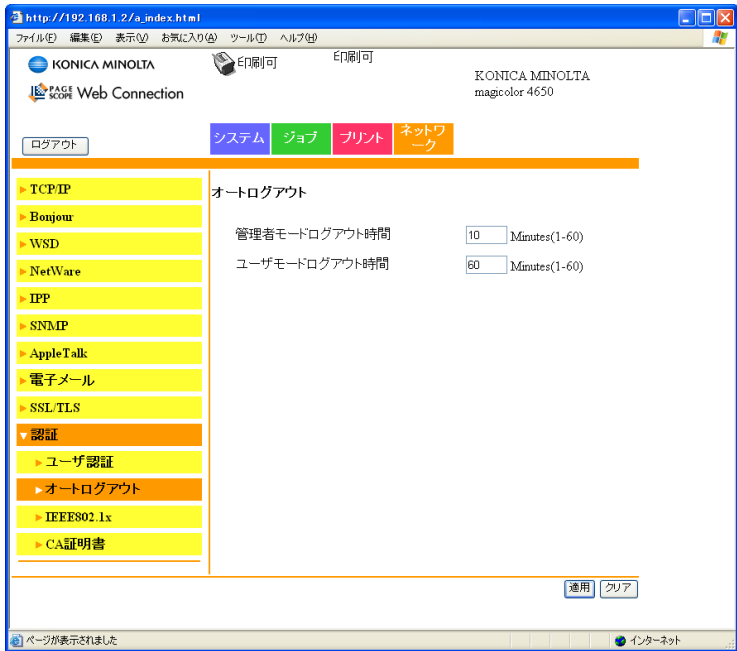
このメニューは、オプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュが装着されている場合に表示されます。

ネットワーク — 認証 — ユーザ認証画面では、以下の項目を設定できます。

ユーザ認証画面で、「ユーザ認証」または「部門認証」を「オン」に、「パブリック許可」を「制限」に設定した場合、認証設定可能なホスト（Windows 用プリンタドライバ、または PageScope Direct Print）以外からの印刷はできなくなります。また、リソース（フォント、カラープロファイル、フォーム）のダウンロード、ファームウェアのアップデートも行うことができなくなります。

項目	説明
ユーザ認証	ユーザ認証を行うかどうかを設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ
パブリック許可	ユーザ認証有効時に、パブリックユーザのログインを許可するかどうかを設定します。 設定値： 許可、制限 初期値： 許可

項目	説明
部門認証	部門認証を行うかどうか設定します。 設定値： オン、オフ 初期値： オフ
部門認証方法	部門認証の認証方法を設定します。 設定値： アカウント名とパスワード、パスワードのみ 初期値： アカウント名とパスワード 部門認証方法を「アカウント名とパスワード」から「パスワードのみ」に変更した場合、登録してある部門情報はクリアされます。
ユーザ認証 / 部門認証連動	ユーザ認証と部門認証を連動させるかどうかを設定します。 設定値： 連動する、連動しない 初期値： 連動する
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

オートログアウト

ネットワーク — 認証 — オートログアウト画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
管理者モードログアウト時間	管理者モードのログインタイムアウトを設定します。 範囲： 1 — 60（Minutes） 初期値： 10
ユーザモードログアウト時間	ユーザモードのログインタイムアウトを設定します。 範囲： 1 — 60（Minutes） 初期値： 60
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

IEEE802.1x

ネットワーク — 認証 — IEEE802.1x 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
IEEE802.1x	IEEE802.1x を使用するかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — IEEE802.1x — 有効
EAP タイプ	IEEE802.1x で使用する認証方式を指定します。 設定値： なし、EAP-MD5、EAP-TLS、EAP-TTLS、PEAP、LEAP、サーバの規格に従う 初期値： なし

項目	説明
ユーザ ID	EAP タイプを「EAP-MD5」、「EAP-TLS」、「EAP-TTLS」、「PEAP」、「LEAP」または「サーバの規格に従う」に設定した場合、ユーザ ID を設定します。 範囲： 半角 128 文字以下 初期値：（空白）
パスワード	EAP タイプを「EAP-MD5」、「EAP-TLS」、「EAP-TTLS」、「PEAP」、「LEAP」または「サーバの規格に従う」に設定した場合、パスワードを設定します。 範囲： 半角 128 文字以下 初期値：（空白）
TTLS 匿名	EAP － TTLS 一次認証で使用するログイン名を設定します。EAP タイプを「EAP-TTLS」または「サーバの規格に従う」に設定した場合に設定します。 範囲： 半角 128 文字以下 初期値： anonymous EAP タイプが「サーバの規格に従う」で実際の認証方式が EAP-MD5 の場合、ユーザ ID と同じ値を入力してください。
TTLS 認証タイプ	EAP － TTLS の phase2 認証手順を指定します。EAP タイプを「EAP-TTLS」または「サーバの規格に従う」に設定した場合に設定します。 設定値： PAP、MS-CHAP、MS-CHAPv2 初期値： MS-CHAPv2
サーバ証明書検証	サーバ証明書の検証を行うかどうかを設定します。EAP タイプを「EAP-TLS」、「EAP-TTLS」または「PEAP」に設定した場合に設定します。 設定値： 有効期間、CA チェイン、サーバ ID 初期値： 有効期間
クライアント証明書送信	サーバからクライアント証明書を要求された場合に、クライアント証明書を送付するかどうかを設定します。EAP タイプを「EAP-TTLS」または「PEAP」に設定した場合に設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効

項目	説明
クライアント証明書	クライアント証明書がインストールされているかどうかが表示されます。 証明書のインストールはネットワーク — SSL/TLS 画面で行います。
CA 証明書	サーバ証明書の CA 信頼性検証に使用される CA 証明書がインストールされているかどうかが表示されます。 証明書のインストールはネットワーク — 認証 — CA 証明書画面で行います。
サーバ ID	サーバ証明書の CN アトリビュート値と後方一致で検証させるための文字列を設定します。EAP タイプを「EAP-TLS」、「EAP-TTLS」または「PEAP」に設定した場合に設定します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値：（空白）
暗号化の強度	EAP-TLS/TTLS/PEAP での TLS パケットの暗号化強度を設定します。 設定値： 下部、中間、上部 初期値： 下部
ネットワーク停止までの時間	認証が成功しない場合の、認証開始からネットワーク停止までの猶予時間を設定します。「0」に設定すると、認証が成功しない場合でも、ネットワークは停止しません。 範囲： 0、60 ～ 255（秒） 初期値： 0
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

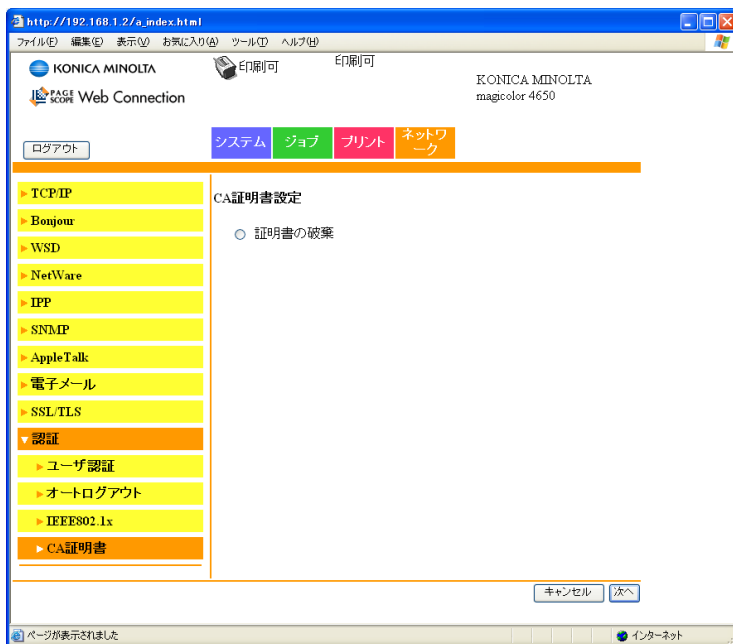
CA 証明書

CA 証明書情報

ネットワーク — 認証 — CA 証明書 — CA 証明書情報画面では、CA 証明書の情報を確認することができます。

初期状態では、CA 証明書はインストールされていません。証明書をインストールする場合は、[設定] ボタンをクリックしてください。

項目	説明
[設定] ボタン	CA 証明書設定画面が表示されます。

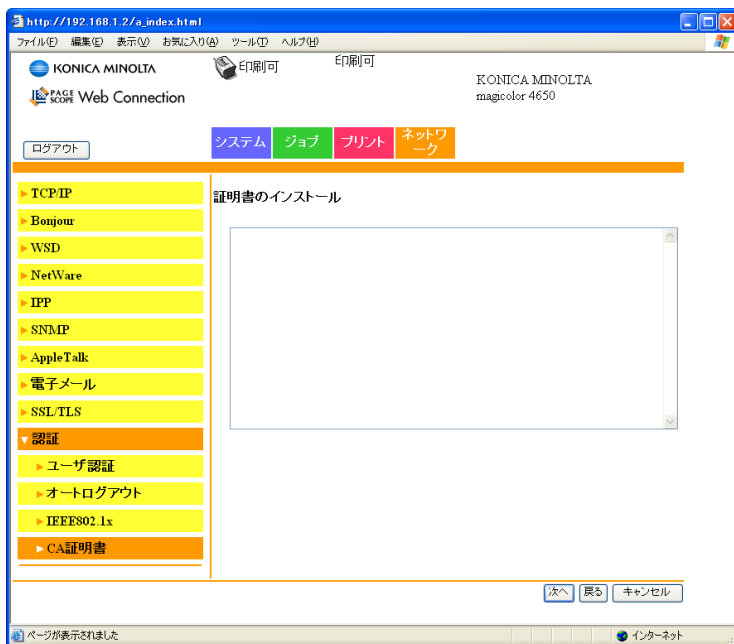
CA 証明書設定（証明書がインストールされている場合）

ネットワーク — 認証 — CA 証明書 — CA 証明書設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
証明書の破棄	証明書を破棄します。
[次へ] ボタン	選択した設定画面が表示されます。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、証明書情報画面に戻ります。

CA 証明書設定（証明書がインストールされていない場合）

ネットワーク — 認証 — CA 証明書 — CA 証明書設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
証明書のインストール	認証局で発行された証明書をインストールします。
［次へ］ボタン	選択した設定画面が表示されます。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、証明書情報画面に戻ります。

証明書のインストール

ネットワーク — 認証 — CA 証明書 — 証明書のインストール画面では、認証局で発行された証明書をインストールできます。

項目	説明
証明書のインストール	認証局から送付されてきたテキスト形式の CSR（証明書署名要求）を画面に貼り付けてインストールします。
［次へ］ボタン	証明書が有効な場合、証明書情報画面に戻ります。証明書が無効な場合、証明書エラー画面が表示されます。
［戻る］ボタン	CA 証明書設定画面に戻ります。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、CA 証明書情報画面に戻ります。

証明書の破棄

ネットワーク — 認証 — CA 証明書 — 証明書の破棄画面では、インストールされた証明書を破棄することができます。

項目	説明
［OK］ボタン	確認画面が表示されます。確認画面で［OK］をクリックすると、証明書が破棄されます。
［戻る］ボタン	CA 証明書設定画面に戻ります。
［キャンセル］ボタン	CA 証明書情報画面に戻ります。

索引

A

AppleTalk 132, 308
ARP/PING 117

B

BONJOUR 118
Bonjour 132, 292
BOOTP 117, 133

C

CUPS 86, 88

D

DDNS 119, 133
DHCP 117, 127, 133

F

FTP 118, 133, 303

H

HTTP 118, 134

I

IEEE802.1X 124
IEEE802.1x 134
IPP 119, 134, 300
　印刷 37, 137, 141
IPsec 134
IPv6 134
IP アドレス 116, 127
　手動設定 128
IP アドレスフィルタ 121

L

Linux
PPD ファイルのインストール...... 85
印刷設定 94
動作環境 84
トラブルシューティング 100
プリンタドライバの設定 88
プリンタの追加 86
プリントジョブの確認.................. 99
文書の印刷.................................... 94
LPD/LPR...................................... 135
印刷 37, 94

M

Mac OS X
オプション設定 41
カラープロファイルの設定 62
動作環境 24
トラブルシューティング 68
プリンタ設定ユーティリティの
設定 30
プリンタドライバの
インストール 25
プリント画面 46
プリントセンターの設定 30
ページ設定画面 43

N

NetWare........................ 102, 123, 296

O

OpenOffice............................... 85, 95

P

PageScope Web Connection
AppleTalk...................................... 308
Bonjour 292
CA 証明書情報.............................. 329
CA 証明書設定.............................. 330
DNS 設定...................................... 281
FTP サーバ.................................... 303
IEEE802.1x................................... 326
IKE 設定....................................... 288
IPP 300
IPsec 286
IPsec Peer 設定..........................291
IPsec SA 設定 289
IPv4 設定 276
IPv6 設定 278
IP アドレスフィルタリング 283
NetWare 296
NetWare ステータス 299
PCL 設定 190, 255
PCL フォント 200
PS 設定 191, 257
PS フォント 201, 270
RAW ポート設定 280
SSL/TLS 情報..............................311
SSL/TLS 設定..............................312
SSL/TLS で通信するモード 322
WSD...294
XPS 設定............................192, 259
アカウント登録..................226, 227
暗号化の強度の設定....................320
印刷品質設定......................193, 260
インターフェース情報 174, 212
インポート / エクスポート..........219
ウィンドウ 161
オートログアウト 325
オンラインヘルプ
....179, 217
概要 169, 207
カウンタ 178, 216
カラープロファイル............203, 272
管理者パスワード 232
管理者モード...............................167
給紙トレイ
............170, 171, 187, 208, 209, 251
時間補正設定...............................230
自己作成証明書の設定
(SSL/TLS) 314
状態通知設定...............................240
証明書のインストール 319, 332
証明書の破棄......................321, 333
証明書の要求 (SSL/TLS)...........316
消耗品 177, 215
ジョブ 244
ジョブログ 219
処理済ジョブリスト............245, 246
処理中ジョブリスト............182, 244

ステータス表示 162
ストレージ 173, 211
操作方法 161
デバイス情報...............................169
デフォルト設定 221
電子メールの送信 309
動作環境 157
登録情報 181
トレイマッピング設定 189, 254
認証 221, 323
排紙トレイ 172, 210
パスワード変更 180
パブリックユーザモード............164
表示言語 156
フォーム.............................202, 271
部門認証モード 166
プリンタステータスの表示.........168
プリンタ設定...............................206
マシン設定 234
ユーザ登録 222, 223
ユーザ情報 220
ユーザ認証 180, 323
ユーザ認証モード 165
レジスタユーザモード 165
レポート印刷...............................204
ログイン.....................................163
PostScript
エラー 53

R

RAW ポート..................................119

S

SLP 120, 135
SMTP 120, 136
SNMP 120, 136, 304
SSL/TLS 311

T

TCP/IP 116, 274

W

Web ページ（プリンタ）................158
ブラウザ 158
プリンタ名 158
WSD 印刷 136

あ

アンインストール............................79

い

イーサネット接続..........................127
色分解...54
インストール
PPD ファイル 85
プリンタドライバ 25, 72

か

管理者モード 167

く

グレースケール 54

け

ゲートウェイ 117, 127
手動設定 128

さ

サブネットマスク 116, 127
手動設定 128

す

ステータス 168

せ

設定
ネットワーク 114
プリンタ 206

た

ダウンロードマネージャー 62

て

デフォルトゲートウェイ 117

と

動作環境
Linux 84
Mac OS X 24
トラブルシューティング
Linux 100
Mac OS X 68

ね

ネットワーク印刷 132
ネットワーク接続 126
DHCP 127
アドレス設定 128
イーサネット接続...................... 127
概念図 126
接続方法 127
ネットワーク設定 114
ネットワークメニュー 114
DHCP 117
DNS 設定 281
IPsec.. 286
IPv4 設定 276
IPv6 設定 278
IP アドレス 116
RAW ポート設定 280
ゲートウェイ 117
サブネットマスク 116
設定項目 116
設定メニュー 114
表示 115

は

パブリックユーザモード........ 164, 165

ふ

部門認証モード..............................166
プリンタ設定ユーティリティ 30
AppleTalk 35
Bonjour...32
IP プリント設定 37
USB 接続......................................30
ネットワーク接続 32
プリンタドライバの設定 80
プリンタ名 158
プリント 185
プリント画面（Mac OS X）..............46
ColorSync メニュー 52
一覧メニュー................................61
印刷部数と印刷ページメニュー....48
エラー処理メニュー......................53
カラーオプションメニュー 54
カラー詳細設定
メニュー.....................55, 56, 57, 59
給紙メニュー................................53
共通のボタン................................47
スケジューラメニュー 50
表紙メニュー................................52
プリンタの機能 60
用紙処理メニュー 51
レイアウトメニュー......................49
サプライのレベル 61
プリントジョブ
確認 99
プリントセンター 30
プロトコル（ネットワーク）
BOOTP.......................................133
DHCP 133
FTP 133
HTTP..134
IPP 134
IPv6 134
LPD/LPR 135
SLP 135
SNMP...136

へ

ページ設定画面.................................43
　カスタム用紙サイズ
　メニュー..45
　ページ属性メニュー......................44

ほ

ポート 9100...................................135
　印刷...37
ホストテーブル...............................158

ゆ

ユーザ認証モード...........................165

り

両面印刷..49

ろ

ログイン..163